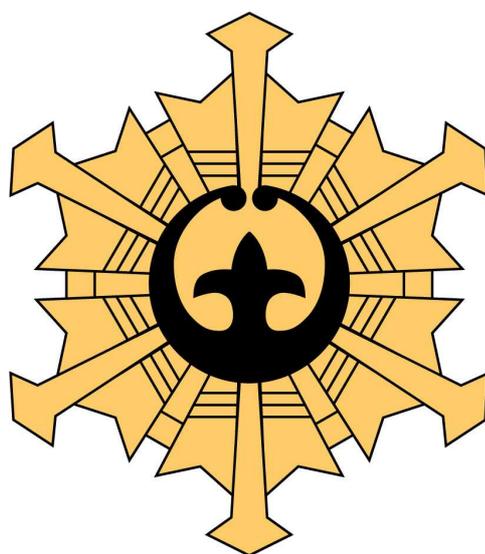


消 防 年 報

第 5 2 号

平成 1 8 年度版 (2 0 0 6 年)



土 浦 市 消 防 本 部

(平成 1 9 年刊行)

編 集 に あ た っ て

- 1 . 本書は、平成18年中における土浦市消防業務の概要と、消防力の実態について収録し、消防事情を紹介するとともに、将来の参考に資するため編集した。
- 2 . 統計、予防編、警防編、救急救助編は、平成18年12月31日現在、その他は、平成19年4月1日現在とした。
- 3 . 気象は、消防本部の測定による。

平成19年4月

土 浦 市 消 防 本 部

わがまち土浦

土浦市は、東京から常磐線で僅か1時間余り、首都圏60km圏域に位置し、北には万葉集にも歌われた関東平野に屹立する紫峰筑波山を仰ぎ、東にわが国2番目の広さを持つ霞ヶ浦を臨む水郷国定公園の玄関口である。

年間を通して凌ぎやすい気候風土に恵まれ、過去においての災害による大被害は、地形の関係上水害の色が濃く、霞ヶ浦に注ぐ桜川のデルタを中心として発達した人口14万3千人余の商工業都市である。

朝は藍、昼は緑、そして夕に紫と山肌の色を変える筑波山のごとく、平安末期にその母胎が造られたという当市は、時代の変遷とともに江戸時代以降、常に県南の中心的役割を果たし、数えきれないほどの歴史、遺産が今も息づいて語りかけている。

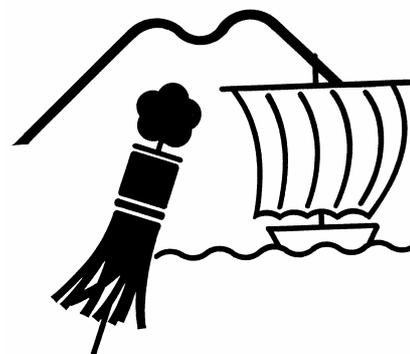
江戸時代、陸前浜街道の宿場があり、土浦藩主土屋氏の城下町として、また霞ヶ浦西岸の地の利を得て農産物の集散地として政治、経済、文化が繁栄した。当市に消防組織といえる火防人足制度が誕生したのもこの時代である。

明治28年には、県北の常磐炭鉱の石炭が京浜工業地帯のエネルギーとして注目をうけ、常磐線（日本鉄道株式会社の海岸線）が敷設され、土浦地方発展に大きな影響をもたらした。

戦時中は、隣接阿見町に7つボタンで有名な霞ヶ浦航空隊（予科練）が置かれ、軍都土浦として全国に名を馳せた。

国・地方を通じる財政の著しい悪化など市町村行政を取り巻く情勢が大きく変化している中であって、基礎的地方公共団体である市町村の行政サービスを維持し、向上させ、また、行政としての規模の拡大や効率化を図るという観点から、平成18年2月20日新治村と合併し、「新しい土浦」のまちづくりがスタートした。

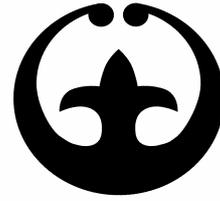
係る中、第6次総合計画に基づき、21世紀に飛翔する本市の将来都市像を「生き生きと輝く人と環境にやさしいまち土浦」と定め、活力に満ちた個性的なまちづくりをめざしている。



位置及び地勢



(1) 市章



(説明)「土」という字を巧みに図案化したもので、霞ヶ浦のさざ波と、桜川にうつる桜の花弁で、優雅な美を描き、外輪の円は平和を意味し、市民の協和と伸びゆく市勢を端的に象徴したものである。

(2) 位置

東経 140° 12′
北緯 36° 04′
海拔 17.50m

(3) 面積

123.54km²

人口と世帯数 (平成19年4月1日現在)

1世帯当たりの人口 2.6人
1km²当たりの人口 1261人
1km²当たりの世帯数 478世帯

年度	15	16	17	18	19
区分					
人口	134,881	134,928	134,741	143,262	143,546
世帯数	50,531	51,163	51,453	53,633	54,435

目 次

総務編

消防組織

1. 消防組織図	1
2. 消防本部及び消防署事務分掌	2
(1) 消防本部	2
(2) 消防署	4
3. 消防力の基準と現有	5
(1) 人 員	5
(2) 署 所	5
(3) 消防車両	5
(4) 消防水利	5
4. 消防職員	
(1) 消防職員の定員及び実員	6
(2) 消防職員の配置状況	6
(3) 消防現勢	7
(4) 消防職員勤続年数調	7
(5) 消防職員年齢調	7
(6) 消防職員諸手当	8
(7) 消防職員教育状況	9
(8) 消防職員教育計画	10
(9) 消防職員特殊技能資格取得状況	11

消防予算

1. 市予算と消防予算	12
(当初予算)	
2. 市予算と消防予算の比率	13
(当初予算)	
3. 消防予算の内訳	13
(当初予算)	
4. 消防費決算状況	14

消防施設

1. 消防庁舎	
(1) 消防本部・土浦消防署	15
(2) 荒川沖消防署	16
(3) 神立消防署	16
(4) 土浦消防署南分署	16
(5) 土浦消防署並木出張所	17
(6) 新治消防署	17
2. 消防本部(署)配置車両	18
3. 消防車両使用経過年数	20
4. 消防本部・消防団ホース保有状況	21
5. 消防機器装備状況	22
6. 消防車両使用状況	24
7. 水防用資材器具備蓄一覧表	27

予防編

1. 建築同意件数累計比較	28
2. 防火管理者関係	28
3. 建築同意事務処理状況	29
4. 建築同意事務処理面積	30
5. 防火対象物及び中高層建築物 (150㎡以上)	31
6. 防火対象物使用開始検査調 (特殊建築物)	32
7. 消防用設備等着工届出書の提出 及び検査済調	33
8. 火災予防条例による届出状況	34
9. 火災予防広報活動状況	34
10. 立入検査執行状況	
(1) 消防法施行令別表第一に掲げる 防火対象物立入検査状況	35
(2) 一般対象物立入検査状況	36
11. 防火対象物定期点検報告等	36
12. 危険物製造所等の現況 (許可状況)	37
13. 危険物製造所等の許可状況	38
14. 危険物製造所等許可 検査・届出状況	39
15. 危険物製造所等倍数別調	40
16. 危険物製造所等立入検査指導調	41
17. 危険物製造所等の類・品名別 貯蔵取扱量調	42
18. 危険物関係手数料月別 納付状況調	43
19. 幼少年消防クラブ 婦人防火クラブ結成状況	44

警防編

1. 平成17年中火災発生状況	46
(1) 火災種別出火件数	47
(2) 火災原因別出火件数	47
(3) 時間帯別出火件数	48
(4) 過去5ヵ年の推移	48
2. 火災	
(1) 当市と全国・県との火災概況比較	50

目 次

(2) 月別火災損害額	5 1	9 . 各署別収容時間別搬送人員	8 4
(3) 覚知別火災損害額	5 2	1 0 . 時間別事故種別出場件数	8 5
(4) 月別・覚知別火災件数	5 2	1 1 . 曜日別事故種別出場件数	8 6
(5) 月別・死者数	5 2	1 2 . 月別事故種別出場件数	8 7
(6) 月別・原因別火災件数	5 3	1 3 . 医療機関手配状況	8 8
(7) 時間別・原因別火災件数	5 4	1 4 . 救急隊の行った応急処置状況	8 9
(8) 町内別火災発生件数	5 5	1 5 . 高齢者搬送状況の推移	9 0
(9) 最近 5 ヶ年の出火状況比較	5 6	1 6 . 病医院別収容件数及び搬送人員	9 1
(ア) 出火率	5 6	1 7 . 心肺蘇生処置対象者状況	
(イ) 月別火災件数	5 6	(1) 年齢別事故種別搬送人員	9 2
(ウ) 時間別火災件数	5 6	(2) 心肺停止傷病者 (CPA) の救命効果	9 3
(エ) 火災種別損害額	5 7	1 8 . 救急講習実施状況	
(オ) 建物火災損害額	5 7	(1) 講習別実施状況	9 4
(カ) 全火災に対する建物火災の占める割合等	5 7	(2) 受講団体別実施状況	9 5
(キ) 火災原因別出火件数	5 8	1 9 . 当市と全国の救急活動概要比較	9 6
(1 0) 損害額 5 0 0 万円以上の火災	5 9		
(1 1) 気象別火災発生状況	6 0		
(1 2) 原因と主な経過	6 1		
2 . 消防団			
(1) 消防団組織図	6 2		
(2) 消防団車庫及び担当区域	6 3		
(3) 消防団配置車両	6 5		
(4) 消防団員の定員及び実員	6 7		
(5) 消防団員報酬手当	6 7		
(6) 消防団員配置状況	6 8		
(7) 消防団員勤続年数調	7 0		
(8) 消防団員年齢調	7 0		
(9) 消防団員職業構成別調	7 1		
(1 0) 消防団員就業形態別調	7 1		
3 . 茨城県広域消防相互応援協定	7 2		
4 . 自主防災組織結成状況	7 4		

救急救助編

救 急

1 . 平成 1 8 年中救急発生概要	7 8
2 . 救急出場件数の推移	7 8
3 . 事故種別救急活動状況	7 9
4 . 事故種別所属別出場件数	8 0
5 . 事故種別年齢別搬送人員	8 1
6 . 程度別年齢別搬送人員	8 2
7 . 急病にかかる年齢別 疾病分類別搬送人員	8 3
8 . 各署別現場到着所要時間	8 4

救 助

1 . 救助出動件数の推移	9 7
2 . 事故種別救助出動状況	9 7
3 . 各署別救助出動件数	9 7
4 . 事故種別出動人員活動人員	9 8
5 . 事故種別発生場所別 出動活動件数	9 9
6 . 事故種別発生場所別救助人員	1 0 0

通信指令編

1 . 通信系統図	1 0 1
2 . 通信施設	1 0 2
3 . 1 1 9 番通報件数	1 0 3
4 . 過去 5 年間の 1 1 9 番件数	1 0 3
5 . 土浦市の気象	1 0 4
6 . 警報発令数	1 0 5

総務編

消防組織

市民の安心、安全を担う消防は、安らぎのある地球社会の実現を目指し、1本部6署所、職員176名、団員563名の体制をもって各種災害に取り組んでいるところである。

急速に進展する高度情報化、救急需要の増加、災害の複雑化・大規模化に適切に対応するべく、施設を整備強化すると共に、継続かつ基本目標である人員、車両及び水利の確保整備に努めている。

また、量的充実を望めない今日、職団員の教養に力を注ぎ、質的充実をめざしているところである。

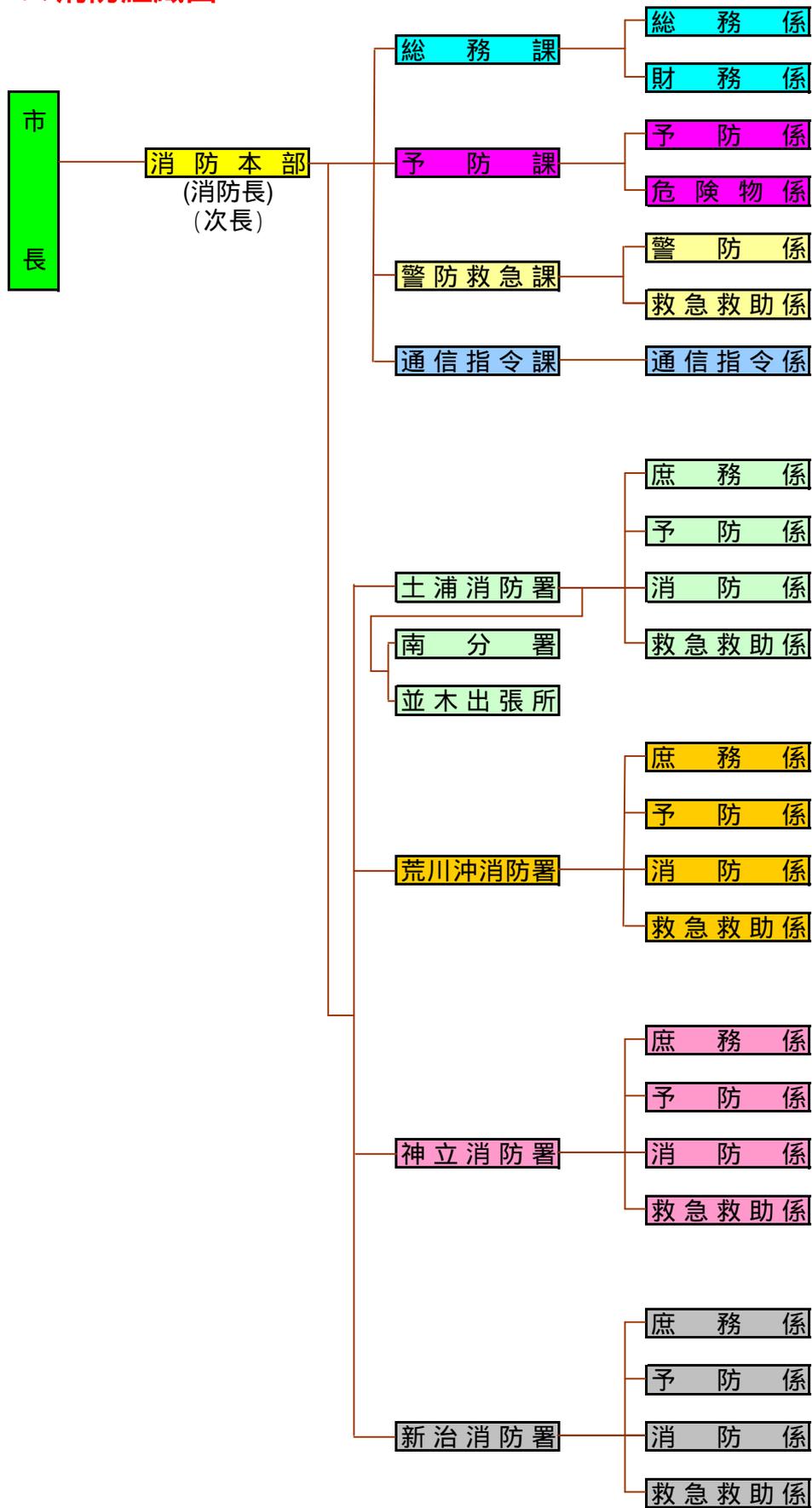
消防予算

当市の消防予算は、市一般会計予算に対し4%以上確保することを前提に、10万都市消防としての体制づくりに努めてきたところである。新たな世紀、21世紀がスタートした今、「第6次土浦市総合計画」が定めた将来像「生き生きと輝く、人と環境にやさしいまち、土浦」を念頭におき、近年における都市構造や市民生活様式の変化に対応できる消防力の整備を、財政硬直化にあっても進展させているものである。

消防施設

消防施設は、逐年整備強化を図り、現在、化学車、梯子車、救助工作車をはじめとする消防車両等29台、高規格救急車6台を配置、消防団においては消防ポンプ車24台、小型動力ポンプ積載車14台を配置し、これらの車両を更新整備すると共に、時代の要請に応じた車両及び各種器材の導入を推し進めている。

1. 消防組織図



2. 消防本部及び消防署事務分掌

(1) 消防本部

課名	係名	事務分掌
総務課	総務係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 消防事務の企画及び総合調整に関すること。 2. 組織及び制度に関すること。 3. 公印の管守に関すること。 4. 文書の收受, 発送及び保存に関すること。 5. 消防関係例規の制定及び改廃に関すること。 6. 職員の任免, 賞罰, 服務その他身分に関すること。 7. 職員の給与, 勤務時間その他の勤務条件の決定に関すること。 8. 職員の定数及び配置に関すること。 9. 職員の昇格及び昇給に関すること。 10. 職員の勤務成績及び評価に関すること。 11. 職員の福利厚生及び健康管理に関すること。 12. 職員の研修に関すること。 13. 職員の公務災害補償に関すること。 14. 渉外事務に関すること。 15. 消防統計に関すること。 16. 消防広報に関すること。 17. 各種証明に関すること。 18. 各種消防長会に関すること。 19. 本部内各課及び各消防署との連絡調整に関すること。 20. その他各課の主管に属しない事項に関すること。
	財務係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 予算及び決算に関すること。 2. 物品の購入, 保管及び出納に関すること。 3. 職員の給与品及び貸与品に関すること。 4. 旅行命令に関すること。 5. 消防施設の整備及び管理に関すること。 6. 消防用財産に関すること。 7. 都市計画法に基づく開発行為の指導に関すること。
予防課	予防係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 火災予防及び広報に関すること。 2. 建築物の確認, 許可及び認可の同意に関すること。 3. 消防用設備等の設置及び指導に関すること。 4. 建築物等の防火に関すること。 5. 予防査察に関すること。 6. 防火管理の指導に関すること。 7. 各種消防クラブの育成指導に関すること。 8. 防火協会に関すること。
	危険物係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 危険物の規制に関すること。 2. 危険物による火災予防に関すること。 3. 高圧ガス等に係る火災予防に関すること。 4. 危険物安全協会に関すること。

課 名	係 名	事 務 分 掌
警防救急課	警 防 係	1 . 火災,水害その他の災害の警戒防御及び調査に関する事。 2 . 消防技術の研究,訓練及び指導に関する事。 3 . 消防機械器具の研究及び技術指導に関する事。 4 . 消防計画に関する事。 5 . 消防の行事に関する事。 6 . 消防相互応援協定に関する事。 7 . 自主防災組織の育成指導に関する事。 8 . 消防団の組織運営に関する事。 9 . 消防団員の任免,表彰及び報酬等に関する事。 10 . 消防団員の公務災害補償に関する事。 11 . 消防団員の福利厚生及び健康管理に関する事。 12 . 消防団員の教養訓練に関する事。 13 . 消防協会に関する事。
	救急救助係	1 . 救急救助技術の研究及び指導に関する事。 2 . 救急隊員及び救助隊員の教養訓練に関する事。 3 . 救助隊に関する事。 4 . 救急救助統計に関する事。 5 . 応急手当の普及啓発に関する事。 6 . 救急救助資機材の管理に関する事。 7 . 患者等搬送事業の育成指導に関する事。
通信指令課	通信指令係	1 . 火災,救急その他災害出動指令及び通信統制に関する事。 2 . 通信機器の運用及び維持管理に関する事。 3 . 火災,その他の災害及び救急情報の収集に関する事。 4 . 気象情報の収集及び伝達に関する事。 5 . 火災警報の発令に関する事。

(2)消 防 署

係 名	事 務 分 掌
庶務係	<ol style="list-style-type: none">1 . 署員の配置及び休暇等に関すること。2 . 文書の收受,発送及び保管に関すること。3 . 公印の管守に関すること。4 . 消防統計に関すること。5 . 庁用備品等の維持管理に関すること。6 . その他各係に属しない事項に関すること。
予防係	<ol style="list-style-type: none">1 . 火災予防に関すること。2 . 火災予防思想の普及に関すること。3 . 建築物の確認,許可及び認可の同意に関すること。4 . 危険物の規制に関すること。5 . 高圧ガス等による火災予防に関すること。6 . 消防用設備等の設置及び指導に関すること。7 . 予防査察に関すること。8 . 防火管理に関すること。
消防係	<ol style="list-style-type: none">1 . 火災,水害その他の災害の警戒防御に関すること。2 . 火災の原因及び損害の調査に関すること。3 . 火災証明に関すること。4 . 地理水利に関すること。5 . 署員の訓練に関すること。7 . 消防機械器具の維持管理,運用及び技術に関すること。8 . 機関員の技術管理に関すること。
救急救助係	<ol style="list-style-type: none">1 . 救急救助事務に関すること。2 . 救急隊員及び救助隊員の教養訓練に関すること。3 . 応急手当の普及啓発に関すること。4 . 救急救助資機材の管理に関すること。5 . 救急救助技術の指導に関すること。

3. 消防力の整備指針と現有

(1) 人 員

区分 基準 現有別	計	消防長	消 防 隊 員	救 急 隊 員	救 助 隊 員	予 防 要 員	庶 務 要 員	通信員	充足率
基 準	285	1	178	54	15	10	14	13	62%
現 有	176	1	117	18	10	4	14	12	

(2) 署 所

区分 基準 現有別	消 防 本 部	消 防 署・所	充 足 率
基 準	1	6	100%
現 有	1	6	

(3) 消防車両

区分 基準 現有別	計	指揮車	ポンプ 自動車	化 学 消防車	梯 子 自動車	救 助 工作車	救 急 自動車	小 型 消防艇
基 準	25	4	10	1	2	1	6	1
現 有	25	4	10	1	2	1	6	1
充 足 率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

(4) 消防水利(消防水利の基準に基づく水利)

区分 基準 現有別	計	消 火 栓	防火水槽	そ の 他	充足率
基 準	1,591	885	676	30	84.4%
現 有	1,343	788	525	30	

4. 消防職員

(1) 消防職員の定員及び実員

区分	階級	計
定員		185
実員		176

(2) 消防職員の配置状況

区分		階級	計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士		
総計			176 (18)	1	2	16	33 (1)	60 (8)	39 (3)	12 (4)	13 (2)	
消防本部	小計		51 (18)	1	1	5	12 (1)	6 (8)	4 (3)	1 (4)	3 (2)	
	消防長		1	1								
	次長		1		1							
	総務課		14 (3)			1	3	1 (1)	2	1 (1)	3 (1)	
	予防課		12 (8)			1	2	1 (1)	(3)	(3)	(1)	
	警防救急課		12 (7)			1	4 (1)	(6)				
	通信指令課		11			2	3	4	2			
消防署	小計		143		1	11	21	54	35	11	10	
	土浦署	署長	1		1							
		署員	59			4	4	23	16	6	6	
	南分署	分署長	1			1						
		署員	13				2	9	2			
	並出張木所	所長	1				1					
		所員	7					4	3			
	荒川沖署	署長	1			1						
		署員	20			1	5	6	4	2	2	
	神立署	署長	1			1						
		署員	20			1	5	7	5	1	1	
	新治署	署長	1			1						
		署員	18			1	4	5	5	2	1	

()は兼任者

(3)消防現勢

摘要	消防職員			消防自動車			救急自動車		
	176名			14台			6台		
現況	176名			14台			6台		
細別	消防職員一人当たり			消防自動車一台当たり			救急自動車一台当たり		
値	面積・km ²	人口・人	世帯	面積・km ²	人口・人	世帯	面積・km ²	人口・人	世帯
	0.6	816	309	8.1	10,253	3,888	19	23,924	9,073

(4)消防職員勤続年数調

階級	年数	計	3年	3年	5年	10年	15年	20年	25年	30年	35年	40年
			未満	4年	9年	14年	19年	24年	29年	34年	39年	以上
計		176	11	7	11	13	11	30	26	36	26	5
消防正監		1									1	
消防監		2								1		1
消防司令長		16								5	10	1
消防司令		33						2	5	13	11	2
消防司令補		60						24	16	16	4	
消防士長		39			7	11	10	4	5	1		1
消防副士長		12		5	4	2	1					
消防士		13	11	2								

(5)消防職員年齢調

階級	年齢	計	20歳	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳
			未満	24歳	29歳	34歳	39歳	44歳	49歳	54歳	59歳	以上
計		176		11	16	20	6	26	30	39	28	
消防正監		1									1	
消防監		2									2	
消防司令長		16								3	13	
消防司令		33						2	3	18	10	
消防司令補		60					1	18	22	18	1	
消防士長		39			4	18	5	6	5		1	
消防副士長		12		1	9	2						
消防士		13		10	3							

(7) 消防職員教育状況(平成18年度)

種 別		回数・人員・階級	実 施 回 数	受 講 人 員	消防司 令以上	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消 防 士
消防大学校	危 険 物 科		1	1		1			
	警 防 科		1	1		1			
消 防 専科教育	救 急 科		1	3			2		1
	救 助 科		1	1			1		
	危 険 物 科		1	1			1		
	特 殊 災 害 科		1	1		1			
幹部教育	初 級 幹 部 科		1	1	1				
消 防 特別教育	潜 水 講 習 会		1	1				1	
	気 管 挿 管 講 習 会		1	4		4			
	操 法 指 導 者 研 修 会 (小 型)		1	1		1			
	操 法 指 導 者 研 修 会 (ポ ン プ)		1	1		1			
校 各 種 研 修 等	消 防 防 災 事 務 担 当 者 研 修		1	2		1	1		
	茨城県南消防長連絡会総務・予防研究会		1	4	1	1	1		1
	消 防 職 員 IT 研 修 会		1	1			1		
	日本救急医学会関東地方会救急隊員学術研究会		1	3		2	1		
	救 急 救 命 士 セ ミ ナ ー		1	7	4	2	1		
	薬 剤 投 与 追 加 講 習		2	2	2				
	全 国 救 急 隊 員 シ ン ポ ジ ウ ム		1	2	1	1			
	茨 城 県 救 急 医 学 会		1	8	2	5	1		
	小 型 移 動 ク レ ーン 運 転 技 能 講 習 会		1	1			1		
足 場 組 立 作 業 主 任 者 技 能 講 習 会		1	1			1			

(8)消防職員教育計画(平成19年度)

種 別		期 間	予 定 人 員
消防大学校	総合教育幹部科	35	1
消 防 学 校	初任教育	初 任 科	115
	専科教育	特 殊 災 害 科	7
		予 防 査 察 科	10
		火 災 調 査 科	10
		救 急 科	38
		救 助 科	22
	幹部教育	中 級 幹 部 科	7
	特別教育	新 任 消 防 長 教 育 訓 練	5
		潜 水 講 習 会	5
		操 法 指 導 者 研 修 会 (ポ ン プ)	1
操 法 指 導 者 研 修 会 (小 型)		1	
気 管 挿 管 講 習 会		10	
校 各 種 研 修	全 国 消 防 長 会 危 険 物 委 員 会	1	
	全 国 消 防 長 会 関 東 支 部 総 会	1	
	茨 城 県 消 防 長 定 例 総 会	2	
	薬 剤 投 与 追 加 講 習	35	
	潜 水 士 免 許 試 験 準 備 講 習 会	2	
	消 防 ・ 救 急 緊 急 自 動 車 運 転 技 能 者 4 日 課 程	4	
	特 殊 無 線 技 士 (第 3 級 陸 上) 免 許 取 得	1	
	安 全 運 転 管 理 者 講 習 会	1	
	特 別 産 業 廃 棄 物 管 理 責 任 者 講 習	1	
	全 国 消 防 長 会 関 東 支 部 予 防 広 報 講 習 会	1	
	日 本 救 急 医 学 会 関 東 地 方 会 救 急 隊 員 学 術 研 究 会	1	
	A H A - B L S ヘ ル ス ケ ア - プ ロ バ イ ダ ー	1	
	玉 掛 技 能 講 習	1	
	茨 城 県 消 防 協 会 県 南 北 部 連 絡 会 総 会	1	
茨 城 県 県 南 北 部 連 絡 会 合 同 会 議	1		
等	救 急 救 命 士 資 格 取 得 研 修	119	

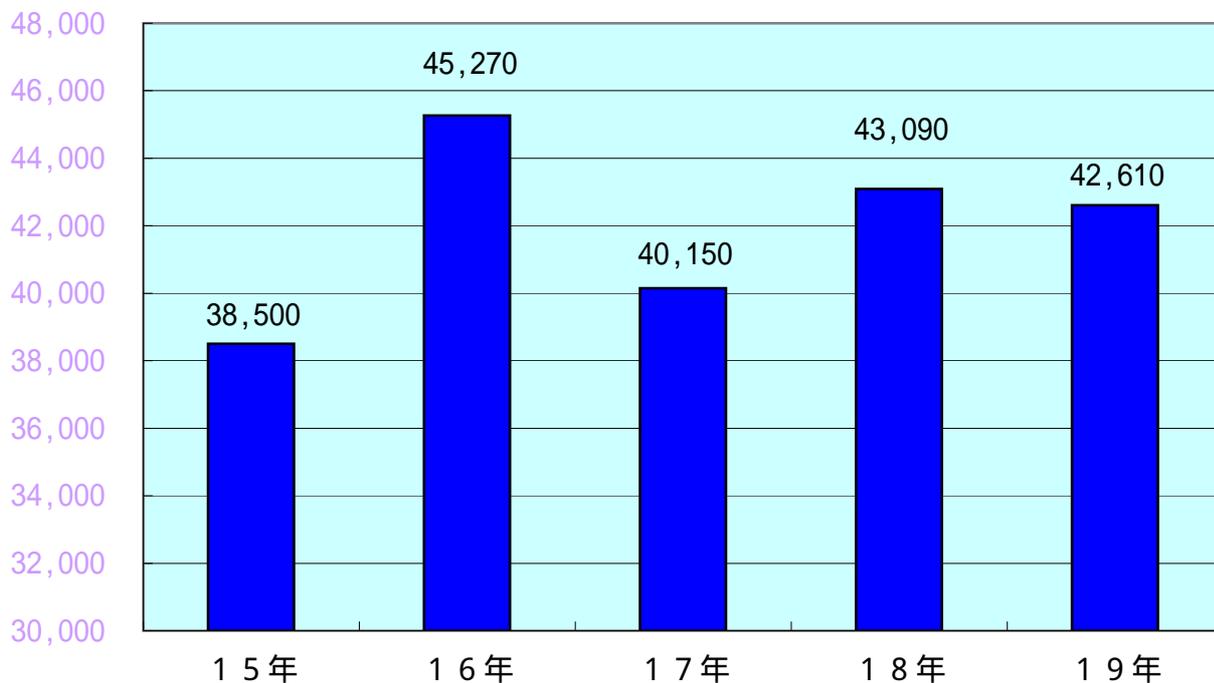
(9) 消防職員特殊技能資格取得状況調

種 別	階 級	計	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防
			正 監	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士
自 動 車 整 備 士		3				1	1			1
特 殊 無 線 技 士		93			4	8	31	31	11	8
2 級 ボ イ ラ - 技 士		1							1	
電 気 工 事 士		3					1	1	1	
救 急 救 命 士		19				4	14			1
救 急 有 資 格 者		113			5	13	49	37	8	1
ガ ス 溶 接 士		30				6	15	6	2	1
ア - ク 溶 接 士		3				1	1	1		
危険物取扱者	甲 種	1				1				
	乙 種	53		1	8	10	11	6	6	11
消 防 設 備 士	甲 種	1							1	
	乙 種	5					4		1	
小型船舶操縦士(2級5t限定)		16			1	4	5	5	1	
衛 生 管 理 者		4			2	1		1		
潜 水 士		21			1	1	9	8	1	1
足 場 組 立 等 作 業 主 任 者		12				1	8	3		
玉 掛 け 技 能 講 習 修 了 者		28				3	14	9	2	
小型移動式クレーン運転技能講習修了者		29				3	14	11	1	
大 型 第 一 種 自 動 車 免 許		151			8	28	54	37	12	12
大 型 第 二 種 自 動 車 免 許		4					3	1		
大 型 特 殊 自 動 車 免 許		2					1		1	
特定化学物質等作業主任者		4				1	3			
チェーンソー取扱者		1			1					
酸素欠乏危険作業主任者		3					2	1		

1. 市予算と消防予算

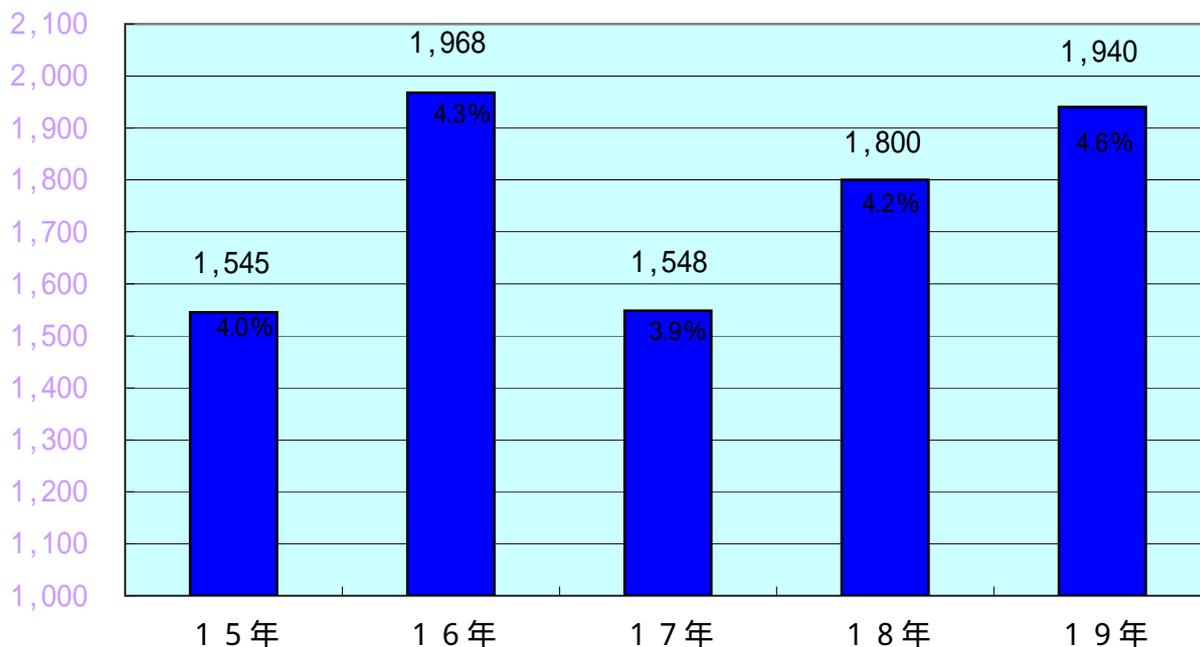
市予算

(単位：百万円)



消防予算

(単位：百万円)



- 平成19年度
- ・ 市予算と消防予算の比率 3.9%
 - ・ 消防予算の市民一人当りの額 12,567円
 - ・ 消防予算の一世帯当りの額 33,568円
 - ・ 消防予算の消防職員一人当りの額 10,057,715円

2. 市予算と消防予算の比率(当初予算)

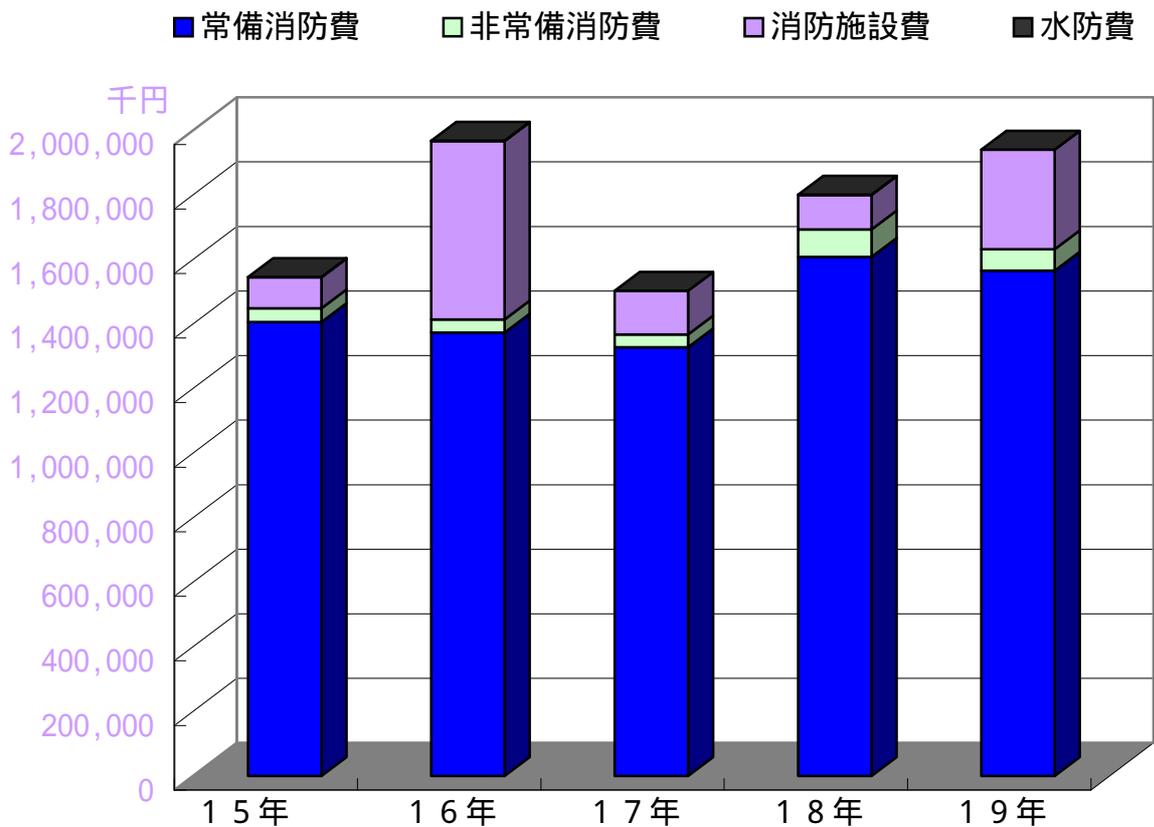
(単位：千円)

年度 区分	15年	16年	17年	18年	19年
市予算額	38,500,000	45,270,000	40,150,000	43,090,000	42,610,000
消防予算	1,545,414	1,967,687	1,548,325	1,800,331	1,940,299
比率	4.0	4.3	3.9	4.2	4.6

3. 消防予算の内訳(当初予算)

(単位：円)

年度 区分	15年	16年	17年	18年	19年
消防予算	1,545,414,000	1,967,687,000	1,548,325,000	1,800,331,000	1,940,299,000
常備消防	1,406,179,000	1,373,890,000	1,327,761,000	1,608,044,000	1,564,967,000
非常備消	42,085,000	40,057,000	39,354,000	84,410,000	66,883,000
消防施設	96,273,000	552,899,000	135,375,000	107,158,000	307,774,000
水防費	877,000	841,000	835,000	719,000	675,000

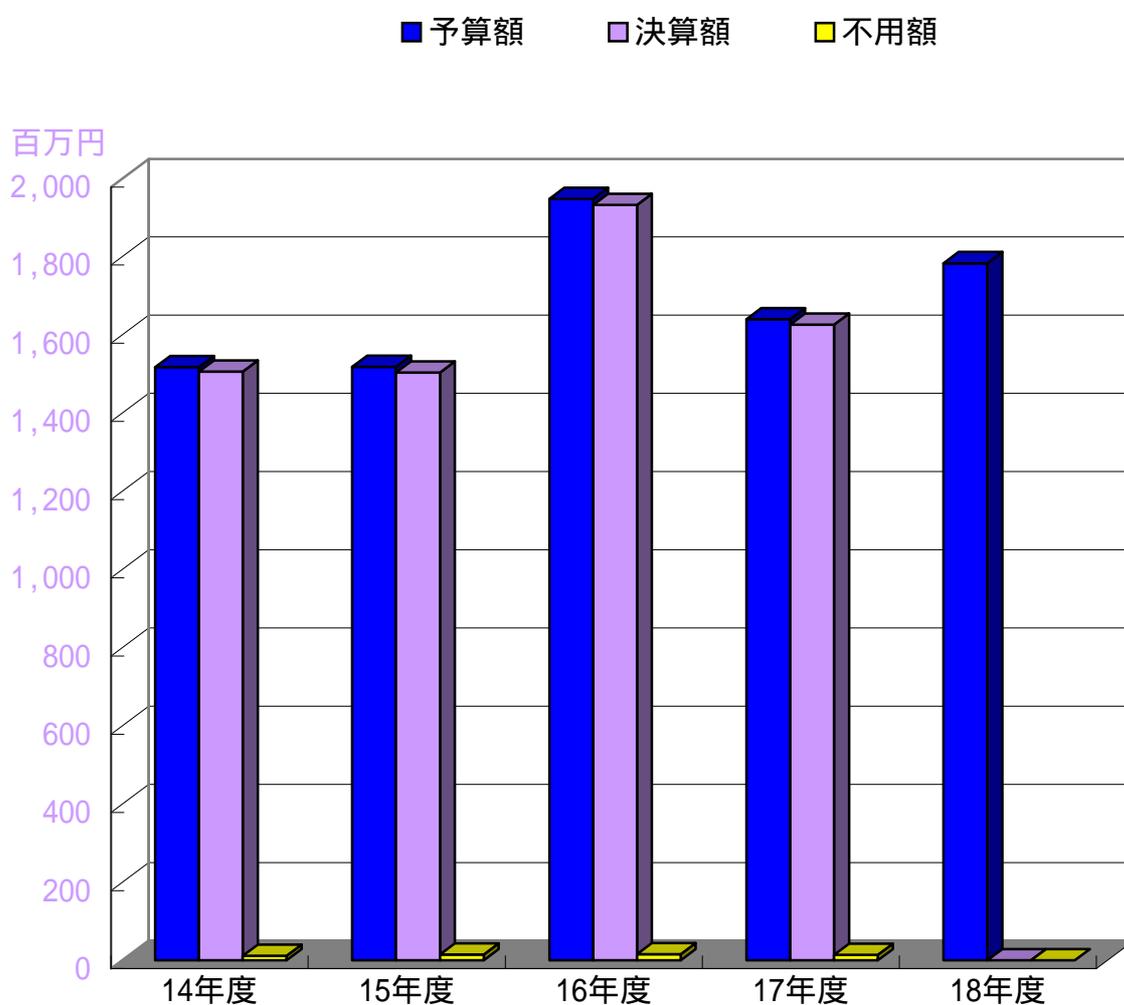


消防予算の内訳

4. 消防費決算状況

(単位：円)

年度 区分	14	15	16	17	18
予 算 額	1,517,150,000	1,518,194,000	1,947,715,000	1,639,854,000	1,783,105,000
決 算 額	1,505,969,351	1,503,419,303	1,932,372,491	1,626,155,578	-
不 用 額	11,180,649	14,774,697	15,342,509	13,698,422	-



消防費決算状況

1. 消防庁舎

(1) 消防本部・土浦消防署・通信指令棟

用途	面積 (㎡)	用途	面積 (㎡)	管轄区域
消防長室	55.79	湯沸室・暗室	10.29	消防本部 市内一円 土浦消防署 中央1,2丁目, 城北町, 大手町, 文京町, 立田町, 東崎町, 川口1,2丁目, 大和町, 有明町, 蓮河原町, 蓮河原新町, 滝田1,2丁目, 桜町1,2,3,4丁目, 港町1,2,3丁目, 大町, 千束町, 生田町, 田中1,2,3, 田中町, 虫掛, 下高津1,2,3,4丁目, 中高津1,2,3丁目, 上高津, 上高津新町, 天川1,2丁目, 国分町, 富士崎1,2丁目, 小松1,2,3丁目, 小松ヶ丘町, 千鳥ヶ丘町, 穴塚, 矢作, 飯田, 佐野子, 粕毛, 永国, 永国東町, 永国台, 小岩田, 小岩田東1,2丁目, 小岩田西1,2丁目, 桜ヶ丘町, 大岩田, 霞ヶ岡町, 真鍋1,2,3,4,5,6丁目, 東真鍋町, 西真鍋町, 真鍋新町, 殿里, 木田余, 木田余西台, 木田余東台1,2,3,4,5丁目, 湖北1,2丁目, 並木1,2,3,4,5丁目, 東並木町, 西並木町, 都和1,2,3,4丁目, 常名
事務室	245.20	本部休憩室	17.14	
待機室	74.73	炊事室	15.60	
車庫・工作室	289.98	浴室	5.40	
仮眠室	77.42	受付	13.77	
会議室	77.42	ボイラー室	19.06	
団幹部室	30.66	塔屋延面積	46.19	
洗面所・便所	23.81	その他	185.17	
1. 敷地面積 1,415.66㎡		3. 延面積 1,187.63㎡		
2. 建面積 641.97㎡		4. 構造 鉄筋コンクリート造2階建(一部3階)		
通信指令室	57.53	通信機械室	36.00	通信指令棟
事務スペース	33.73	車庫	150.00	
仮眠室	24.80	便所	14.28	
その他	57.64			
1. 敷地面積 (同上)		3. 延面積 373.98㎡		
2. 建面積 212.31㎡		4. 構造 鉄筋コンクリート造2階建(一部鉄骨造)		

(2) 荒川沖消防署

用途	面積 (m ²)	用途	面積 (m ²)	管轄区域
事務室	88.0	待機室	48.0	中, 中村東1, 2, 3丁目, 中村南1, 2, 3, 4, 5, 6丁目, 中村西根, 西根南1, 2, 3丁目, 西根西1丁目, 卸町1, 2丁目, 右朧, 摩利山新田, 烏山1, 2, 3, 4, 5丁目, 中荒川沖町, 荒川沖東1, 2, 3丁目, 荒川沖西1, 2丁目, 荒川沖, 荒川本郷, 沖新田, 北荒川沖町, 乙戸, 乙戸南1, 2, 3丁目
仮眠室	38.5	炊事室	12.0	
会議室	42.0	ボイラー室	12.0	
車庫	176.0	通信受付室	18.0	
洗面所・便所	20.0	浴室	8.0	
物置	12.0	その他	65.85	
1. 敷地面積	3,039.48 m ²	3. 延面積	557.78m ²	鉄筋コンクリート2階建
2. 建面積	398.43 m ²	4. 構造		

(3) 神立消防署

用途	面積 (m ²)	用途	面積 (m ²)	管轄区域
会議室	27.312	通信受付室	14.25	今泉, 粟野町, 紫ヶ丘, 小山崎, 中貫, 中都町1, 2, 3, 4丁目, 笠師町, 板谷1, 2, 3, 4, 5, 6, 7丁目, 東都和, 若松町, 東若松町, 東中貫町, 神立中央1, 2, 3, 4, 5丁目, 北神立町, 中神立町, 神立町, 神立東1, 2丁目, 白鳥町, 菅谷町, 手野町, 田村町, 沖宿町, おおつ野1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8丁目
待機室	15.94	物置	5.8	
仮眠室	38.203	便所	18.5	
事務室	49.625	資料室	14.25	
車庫	135.831	湯沸室	4.0	
浴室	4.25	ボイラー室	13.953	
脱衣所	3.375	階段	24.0	
炊事室	7.876	廊下	45.022	
ロッカー室	7.25	塔屋	9.12	
洗面所 スベリ棒	3.375	訓練塔	高さ 7.95m 41.22	
1. 敷地面積	2,881.98m ²	3. 延面積	441.93m ²	
2. 建面積	318.90m ²	4. 構造		

(4) 土浦消防署南分署

用途	面積 (m ²)	用途	面積 (m ²)	担当区域
事務室	44.0	機械室	8.0	蓮河原町, 蓮河原新町, 港町1, 2, 3丁目, 下高津1, 2丁目, 中高津1, 2, 3丁目, 中高津町, 天川1, 2丁目, 国分町, 富士崎1, 2丁目, 小松ヶ丘町, 千鳥ヶ丘町, 永国町, 大岩田1, 2区, 小岩田東1, 2丁目, 小岩田西1, 2丁目, 桜ヶ丘町, 霞ヶ岡町, 小松1, 2, 3丁目, 右朧1, 5区, 大岩田団地, 永国東町, 滝田1, 2丁目
待機室	30.25	便所	8.0	
会議室	33.0	浴室	8.0	
仮眠室	40.0	書庫	4.5	
車庫	110.75	倉庫	4.5	
通信受付室	10.0	その他	19.0	
1. 敷地面積	708.02m ²	3. 構造	鉄骨平屋建	
2. 建面積	320.59m ²			

(5) 土浦消防署並木出張所

用途	面積 (㎡)	用途	面積 (㎡)	担当区域
事務室	26.74	便所	6.84	常磐自動車道，並木1, 2, 3, 4, 5丁目， 東並木町，西並木町，都和1, 2, 3, 4丁目， 常名町
待機室	23.95	倉庫	5.46	
仮眠室	27.30	機械室	5.46	
車庫	55.96	廊下	8.19	
浴室	5.09	玄関	3.86	
敷地面積	1,477.00㎡	3. 構造	鉄骨平屋建	
2. 建面積	156.89㎡			

(6) 新治消防署

用途	面積 (㎡)	用途	面積 (㎡)	担当区域
事務室	71.54	浴室	3.15	東城寺，小野，小野沢辺東城寺入会地， 大志戸，本郷，永井，永井本郷入会地， 小高，沢辺，田宮，大畑，田土部，下大島， 高岡，藤沢新田，藤沢，上坂田，下坂田
会議室	26.39	脱衣室	2.25	
仮眠室	33.58	洗面室	5.40	
通信室	12.00	便所	7.46	
倉庫	6.75	車庫	108.00	
書庫	6.75	玄関	5.03	
食堂・待機室	28.50	塔屋	5.60	
湯沸室	6.00	廊下・その他	22.71	
機械室	9.00			
敷地面積	3,420.48㎡	3. 構造	鉄骨平屋建	
2. 建面積	385.30㎡			

2. 消防本部(署)配置車両

所属	種別	社名	車名	性能	規格 (m)			総重量 (kg)	燃料	総排気量 (cc)	無線機有無
					長さ	巾	高さ				
消防本部	指令車	トヨタ	クラウン		4.86	1.72	1.64	1,865	ガソリン	2,490	有 土浦指令1
	連絡車	スズキ	スイフト		3.61	1.60	1.54	1,185	"	1,320	有 土浦連絡1
	連絡車	ニッサン	ADバン		4.17	1.66	1.49	1,470	"	1,290	無
	連絡車	ニッサン	"		4.37	1.69	1.47	1,620	"	1,290	"
	連絡車	ホンダ	ステップワゴン		4.67	1.69	1.84	1,950	"	1,990	"
	連絡車	トヨタ	ハイエース		4.90	1.69	1.96	2,270	"	2,430	"
	資材搬送車	三菱	ミニキャブ	350kg	3.39	1.47	1.78	1,170	"	650	有 土浦搬送2
土浦	水槽付ポンプ車	三菱	日本機械工業	A2 (2000)	6.68	2.28	3.00	10,650	軽油	7,540	有 土浦1
		ニッサン	G M いちはら	A2 (8000)	9.28	2.48	3.12	21,150	"	21,200	有 土浦2
	普通ポンプ車	いすゞ	G M いちはら	A2	5.40	1.88	2.65	4,465	"	4,570	有 土浦3
はしご車	日野	"	A2 (18m)	8.59	2.49	3.40	12,640	"	7,960	有 土浦梯子1	
	三菱	森田	A2 (35m)	9.67	2.49	3.45	19,130	"	14,880	有 土浦梯子2	
救助工作車	日野	"	照明 10kW クレーン4.3t ウインチ5.0t	7.62	2.30	3.13	9,360	"	7,410	有 土浦救助1 救急土浦7	
救急車	トヨタ	トヨタテクノクラフト	高規格 (4WD)	5.62	1.80	2.56	3,095	ガソリン	3,370	有 救急土浦1	
指令車	三菱	パジェロ	4WD	4.77	1.89	2.04	2,475	"	2,970	有 土浦指令2	
査察広報車	いすゞ	ミュージアード	災害対応型 (4WD)	4.83	1.76	1.86	2,235	軽油	3,050	有 土浦広報1	
資材搬送車	いすゞ	エルフ	3トン	6.08	2.01	2.91	5,895	"	3,260	有 土浦搬送1	
小型消防艇	森田	森田	ジェットポンプ	5.60	2.32	2.37	830	ガソリン	1,165×2	有 救急土浦11	
水槽付ポンプ車(予)	三菱	G M いちはら	A2 (2000)	6.70	2.20	2.75	7,985	軽油	7,540	有 土浦6	
救急車(予)	トヨタ	トヨタテクノクラフト	高規格	5.34	1.81	2.49	2,860	ガソリン	3,960	有 救急土浦8	

所 属	種 別	社 名 年 式	車 両 製 作 所	性 能	規 格 (m)			総重量 (kg)	燃 料	総排気量 (c c)	無線機 有 無
					長 さ	巾	高 さ				
南 分 署	水 槽 付 ポンプ車	日 野 6年	G M いちはら	A 2 (2000)	6.92	2.24	2.80	8,815	軽油	7,410	有 土浦4
	災 害 型 対 応 救 急 車	ト ヨ タ 9年	トヨタテクノクラフト	高規格 (4WD)	5.34	1.81	2.54	3,120	ガソリン	3,960	有 救急土浦2
	査 察 車 広 報 車	マ ツ ダ 9年	ファミリア		4.17	1.66	1.65	1,490	"	1,490	有 土浦広報2
	救 急 車 指 導 車	ト ヨ タ 62年	コースター		6.86	2.01	2.88	4,425	軽油	3,980	無
並 木 出 張 所	水 槽 付 ポンプ車	ニッサン 11年	G M いちはら	A 2 (2000)	6.70	2.20	2.75	8,750	"	9,200	有 土浦5
	救 急 車	ト ヨ タ 10年	トヨタテクノクラフト	高規格	5.56	1.78	2.49	2,875	ガソリン	3,370	有 救急土浦3
	査 察 車 広 報 車	ト ヨ タ 6年	クラウン		4.69	1.69	1.70	1,480	"	1,980	無
荒 川 沖 消 防 署	水 槽 付 ポンプ車	いすゞ 18年	日本機械 工業	A 2 (2000)	7.45	2.28	3.00	10,580	軽油	7,160	有 土浦南1
	普 通 ポンプ車	ニッサン 12年	G M いちはら	A 2	5.60	1.88	2.70	5,005	"	4,570	有 土浦南2
	救 急 車	ト ヨ タ 17年	トヨタテクノクラフト	高規格	5.60	1.80	5.52	3,015	ガソリン	3,370	有 救急土浦4
	査 察 車 広 報 車	三 菱 13年	リベロ		4.30	1.68	1.56	1,345	"	1,460	有 土浦南 広報1
	マイクロ バス	三 菱 2年	ローザ	26人乗	6.20	1.99	2.68	4,600	軽油	3,560	無
神 立 消 防 署	水 槽 付 ポンプ車	三 菱 9年	G M いちはら	A 2 (2000)	6.70	2.20	2.80	8,445	"	8,200	有 土浦北1
	普 通 ポンプ車	日 野 14年	"	A 2	5.55	1.88	2.85	4,995	"	4,899	有 土浦北2
	化 学 車	ニッサン 60年	森 田	A 2 (型)	8.76	2.48	3.05	14,655	"	11,670	有 土浦北 化学1
	救 急 車	ト ヨ タ 18年	トヨタテクノクラフト	高規格	5.63	1.80	2.55	3,125	ガソリン	3,370	有 救急土浦5
	査 察 車 広 報 車	ニッサン 元年	サニー		4.11	1.62	1.63	1,405	"	1,270	有 土浦北 広報1
新 治 消 防 署	水 槽 付 ポンプ車	日 野 3年	森 田	A 2 (2000)	6.87	2.26	2.82	8,805	軽油	7,410	有 土浦西1
	普 通 ポンプ車 (予)	いすゞ 元年	G M いちはら	A 2	5.12	1.88	2.65	3,630	"	3,630	有 土浦西2
	救 急 車	ト ヨ タ 14年	トヨタテクノクラフト	高規格	5.62	1.80	2.50	3,015	ガソリン	3,370	有 救急土浦6
	査 察 車 広 報 車	ト ヨ タ 9年	加デイ		4.52	1.69	1.62	1,515	"	1,760	有 土浦西 広報1

3. 消防車両使用経過年数

種別	年数	合計	年数										
			1年未満	1年～2年	2年～3年	3年～4年	4年～5年	5年～6年	6年～7年	7年～8年	8年～9年	9年～10年	10年以上
合計		78	2	5	4	1	4	4	2	4	1	5	46
本部	資材搬送車	1						1					
	指令車	1											1
	連絡車	5		1	1		1					1	1
土浦消防署 並南木出張所 含む	水槽付ポンプ車	5	1						1			1	2
	普通ポンプ車	1											1
	救助工作車	1											1
	はしご車	2							1				1
	高規格救急車	4								1		1	2
	査察広報車	4					1					1	2
	資材搬送車	1											1
	救急指導車	1											1
	荒川沖消防署	水槽付ポンプ車	1		1								
普通ポンプ車		1								1			
高規格救急車		1			1								
マイクロバス		1											1
査察広報車		1						1					
神立消防署	化学車	1											1
	水槽付ポンプ車	1										1	
	普通ポンプ車	1					1						
	高規格救急車	1		1									
	査察広報車	1											1
新治消防署	水槽付ポンプ車	1											1
	普通ポンプ車	1											1
	高規格救急車	1					1						
	査察広報車	1											1
消防団	普通ポンプ車	38	1	2	2	1		1	1	2		1	27
	小型動力ポンプ積載車	15											15

4. 消防本部・消防団ホース保有状況

サイズ 所属	50mm	65mm
土浦消防署	88	144
南分署	33	65
並木出張所	25	28
荒川沖消防署	44	103
神立消防署	57	131
新治消防署	45	110

第1分団	65 mm	20
第2分団	"	20
第3分団	"	20
第4分団	"	20
第5分団	"	20
第6分団	"	20
第1-1分団	"	20
第1-2分団	"	20
第1-3分団	"	20
第1-4分団	"	20
第1-5分団	"	20
第1-6分団	"	20
第1-7分団	"	20
第2-1分団	"	20
第2-2分団	"	20
第2-3分団	"	20
第2-4分団	"	20
第2-6分団	"	20
第2-7分団	"	20
第2-8分団	"	20

第1分団1部	65 mm	24
第1分団2部	"	10
第1分団3部	"	18
第1分団4部	"	27
第1分団5部	"	15
第1分団6部	"	7
第2分団1部	"	11
第2分団2部	"	10
第2分団3部	"	11
第2分団4部	"	10
第2分団5部	"	12
第3分団1部	"	10
第3分団2部	"	10
第3分団3部	"	10
第3分団4部	"	20
第3分団5部	"	11
第3分団6部	"	11
第3分団7部	"	10

5. 消防機器装備状況

種類		区分	数	規 格	配 置	
作業 破壊 機具	耐電衣		6着	ヨツギ	土浦署, 荒川沖署, 神立署	
	耐熱服		6着	東消式	神立署	
	ガス溶断器		4基	簡易小型	土浦署, 荒川沖署, 神立署	
	携帯用投光器		11基	300W2灯式又は150W2灯式	土浦署, 荒川沖署, 神立署, 南分署, 並木出張所	
保 安 器 具	空気呼吸器		70器	ライフゼム式	土浦署, 荒川沖署, 神立署, 新治署, 南分署, 並木出張所	
	空気充填機		2式	東亜潜水機株式会社PHC	土浦署, 荒川沖署	
	可燃性ガス測定器		7器	理研計器	土浦署, 荒川沖署, 神立署, 新治署, 南分署, 並木出張所	
	有毒ガス測定器		1器	理研計器	土浦署	
	ガス感知器		1器	日本ドレーゲル	土浦署	
	送排風機		2機		土浦署, 荒川沖署	
	救命胴衣		99着	ガボックス製	土浦署, 荒川沖署, 神立署, 新治署	
	簡易呼吸器		3器	日本ダイビングサービス	土浦署	
	酸素濃度測定器		6器	理研計器	土浦署, 荒川沖署, 神立署, 南分署, 並木出張所	
	放射線測定器		1器	理研計器RD - 2E	土浦署	
	放射線防護服		2着	ドレーゲル	土浦署	
	防毒衣		6着	重松製作所	土浦署	
	救 急 ・ 救 助 器 具	人工呼吸器		7器	デマンドタイプ	土浦署, 荒川沖署, 神立署, 新治署, 南分署, 並木出張所
		救命索発射銃		5丁	射程60m 90m	土浦署
緩降機			2器	20m 35m	土浦署	
救助用バスケット			3器	吊下げ式	土浦署	
救命用舟艇			5艇	ゴムポート 1 救助艇 1 小型消防艇 1 アルミポート 2 船外機 2	土浦署	
救助袋			1張	30m (ET式)	土浦署	
救助幕			1張	直径3m 直径3.5m	土浦署	
ハイドリックパワー			3式	油圧式10 t	土浦署	
エンジンカッター			7機	パートナー 90cc	土浦署, 荒川沖署, 神立署, 新治署, 南分署, 並木出張所	
チェーンソー			11機	パートナー 50cc	土浦署, 荒川沖署, 神立署, 新治署, 南分署, 並木出張所	
エアソー			4式	アトラスコプエエアソー	土浦署, 荒川沖署, 神立署	
ロープ登はん器			2器	藤井ロープ登器	土浦署	
チルホール			7式	パーフェクト	土浦署, 荒川沖署, 神立署, 新治署	
救助訓練用ネット		3式	4 m × 20m	荒川沖署, 神立署, 新治署		
油圧式張力計		2器	3 t	土浦署, 新治署		
縛帯		7式	落下傘式	土浦署, 荒川沖署, 神立署		

種類		区分	数	規 格	配 置
救急・救助器具	排 煙 機		1式	100V	土浦署
	バスケットストレッチャー		1器		土浦署
	鉄 筋 カ ッ タ ー		7機	16mm	土浦署, 荒川沖署, 神立署, 南分署
	リ フ ト バ ッ ク		1式	エアージャッキ8t, 20t, 40t	土浦署
	油 圧 式 救 助 器 具		4式	ホルマトロ, スプレッター, カッター エンジンポンプ	土浦署, 荒川沖署, 神立署, 新治署
	削 岩 機		3機	マルゼン	土浦署, 荒川沖署, 神立署
	潜 水 器 具 一 式		6式	日本ダイビング	土浦署
	ハ ン マ ド リ ル		1機	日立DH35	土浦署
酸 素 呼 吸 器		5式	重松製作所10号	土浦署	
消火器具及び消火薬剤	器 具	エアーホームノズル	19機		土浦署, 荒川沖署, 神立署, 新治署, 南分署, 並木出張所
		可般式小型消防ポンプ	6機	トーハツ	土浦署, 荒川沖署, 神立署, 新治署, 南分署
		ジェットシューター	15基		土浦署, 神立署, 新治署
		可般式消火器具	1基	インパルス	土浦署
	薬 劑	粉 末 消 火 劑		A・B・C 278kg	本部, 土浦署, 荒川沖署, 神立署, 新治署
		泡 消 火 劑		スーパーフォーム3% 3,000㍓	土浦署, 南分署, 並木出張所, 荒川沖署 2,000㍓ 200㍓ 200㍓ 600㍓
				メガフォーム 2,000㍓	土浦署, 南分署, 並木出張所, 荒川沖署, 神立署, 新治署 600㍓ 200㍓ 200㍓ 400㍓ 400㍓ 200㍓
	蛋白泡消火剤	1,600㍓		神立署	

6. 消防車両使用状況

所属	車種	種別	管内		管外		演習	その他	救急	総計	ポンプ、梯子使用状況	
			火掛	否	火掛	否					時間	度数
消防本部	指令車 指令1	度数		1				108		109		
		秆数		4				5,269		5,273		
		燃料		1.0				713.9		714.9		
	連絡車 連絡1	度数						839		839		
		秆数						10,261		10,261		
		燃料						990.2		990.2		
	連絡車 ADバン	度数						318		318		
		秆数						3,867		3,867		
		燃料						527.2		527.2		
	連絡車 ニッサンバン	度数						534		534		
		秆数						7,528		7,528		
		燃料						729.9		729.9		
	連絡車 ステップワゴン	度数						521		521		
		秆数						7,253		7,253		
		燃料						964.3		964.3		
	連絡車 ハイエース	度数						185		185		
		秆数						2,504		2,504		
		燃料						444.6		444.6		
資材搬送車 搬送2	度数						160		160			
	秆数						2,298		2,298			
	燃料						220		219.7			
土浦消防署	水槽付 ポンプ車 2,000 土浦1	度数	11	27			48	230		316	14:15	41
		秆数	81	188			628	2,388		3,285		
		燃料	49.0	49.5			171.5	669.5		939.5		
	水槽付 ポンプ車 8,000 土浦2	度数	9	24			79	91		203	9:50	28
		秆数	83	208			1,269	1,185		2,745		
		燃料	104.0	98.0			672.0	684.5		1,558.5		
	ポンプ車 土浦3	度数	5	27			47	749		828	17:05	36
		秆数	24	187			589	8,460		9,260		
		燃料	22.0	39.5			104.5	1647.0		1,813.0		
	救助工作車 土浦救助1	度数	27				41	207		275	ウィンチ 3:30 照明 12:15 クレーン 2:15	19 29 9
		秆数	276				475	1,916		2,667		
		燃料	98.5				150.0	563.5		812.0		
梯子車 土浦梯子1	度数		2			79	63		144	梯子 91:56	76	
	秆数		9			780	396		1,185			
	燃料		3.0			353.5	260.5		617.0			
梯子車 土浦梯子2	度数		3			34	22		59	梯子 36:54	36	
	秆数		18			335	148		501			
	燃料		7.0			265.0	151.2		423.2			
救急車 高規格 救急1	度数					3	123	1,842	1,968			
	秆数					20	727	16,783	17,530			
	燃料					9.0	263.0	5320.0	5,592.0			

所属	車種	種別	管内		管外		演習	その他	救急	総計	ポンプ、梯子使用状況	
			火掛	否	火掛	否					時間	度数
土浦消防署	資材搬送車 土浦 7	度数		1			3	19		23		
		秆数		11			14	169		194		
		燃料		2.0			4.0	40.0		46.0		
	広報車 災害対応型 指令 2	度数	1				4	96		101		
		秆数	7				40	5,427		5,474		
		燃料	1.0				7.0	705.5		713.5		
	広報車 広報 1	度数		1				65		66		
		秆数		7				3,414		3,421		
		燃料		2.0				278.8		280.8		
	水槽付ポンプ車 予備車 2,000 土浦 6	度数		2			4	37		43	1:40	4
		秆数		21			86	365		472		
		燃料		5.0			21.0	116.0		142.0		
救急車 予備車 救急 7	度数						59	73	132			
	秆数						425	773	1,198			
	燃料						171.3	254.1	425.4			
小型 消防艇 救急 8	度数					7	3		10			
	時間					5:48	3:00		8:48			
	燃料					74.5	56.0		130.5			
土浦消防署南分署	水槽付 ポンプ車 2,000 土浦 4	度数	7	7			17	124		155	7:25	20
		秆数	35	64			181	1,088		1,368		
		燃料	37.0	19.0			39.5	488.5		584.0		
	救急車 災害対応型 高規格 救急 2	度数					8	150	1,457	1,615		
		秆数					110	1,273	17,987	19,370		
		燃料					31.0	398.5	5650.5	6,080.0		
	広報車 広報 2	度数					5	89		94		
		秆数					21	1,413		1,434		
		燃料					4.0	181.9		185.9		
	救急 指導車	度数					7	6		13		
		秆数					59	55		114		
		燃料					27.0	53.5		80.5		
土浦消防署並木出張所	水槽付 ポンプ車 2,000 土浦 5	度数	5	15			3	108		131	2:55	13
		秆数	38	111			34	1,509		1,692		
		燃料	11.5	36.0			10.5	514.5		572.5		
	救急車 高規格 救急 3	度数					1	180	929	1,110		
		秆数					5	2,001	12,192	14,198		
		燃料					1.0	482.5	3067.0	3,550.5		
	広報車 広報 3	度数					1	56		57		
		秆数					18	485		503		
		燃料					3.0	102.8		105.8		

所属	車種	種別	管内		管外		演習	その他	救急	総計	ポンプ、梯子使用状況	
			火掛	否	火掛	否					時間	度数
荒川 沖 消防署	水槽付 ポンプ車 2,000 土浦南1	度数	2	4			17	201		224	5:55	20
		秆数	15	25			176	2,500		2,716		
		燃料	9.0	7.5			66.5	872.5		955.5		
	ポンプ車 土浦南2	度数	2	7			8	327		344	5:20	15
		秆数	12	44			32	5,170		5,258		
		燃料	14.0	11.0			16.0	1171.5		1,212.5		
	救急車 高規格 救急4	度数					3	193	1,163	1,359		
		秆数					57	932	16,227	17,216		
		燃料					15.0	354.0	4463.5	4,832.5		
	広報車 南広報1	度数					3	220		223		
		秆数					46	3,468		3,514		
		燃料					4.0	377.6		381.6		
マイクロバス	度数						29		29			
	秆数						1,760		1,760			
	燃料						279.5		279.5			
神 立 消 防 署	水槽付 ポンプ車 2,000 土浦北1	度数	10	3			3	226		242	9:50	26
		秆数	238	35			41	2,715		3,029		
		燃料	62.0	9.0			10.0	844.5		925.5		
	ポンプ車 土浦北2	度数	5	10			7	328		350	5:20	10
		秆数	46	90			88	5,751		5,975		
		燃料	37.0	34.0			18.0	1345.0		1,434.0		
	化学車 北化学1	度数					4	26		30	3:50	7
		秆数					50	130		180		
		燃料					8.9	320.5		329.4		
	救急車 高規格 救急5	度数					1	149	928	1,078		
		秆数					14	1,651	12,366	14,031		
		燃料					3.0	489.0	3359.0	3,851.0		
広報車 北広報1	度数					7	110		117			
	秆数					83	2,547		2,630			
	燃料					12.1	297.1		309.2			
新 治 消 防 署	水槽付 ポンプ車 2,000 土浦西1	度数	6	4			10	279		299	3:55	14
		秆数	62	32			22	3,786		3,902		
		燃料	16.5	7.7			16.0	927.9		968.1		
	ポンプ車 土浦西2	度数	3	6			4	84		97	4:00	15
		秆数	29	64			8	1,369		1,470		
		燃料	9.5	6.6			5.1	266.4		287.6		
	救急車 高規格 救急6	度数						191	306	497		
		秆数						2,871	6,748	9,619		
		燃料						731.5	1624.0	2,355.5		
	広報車 西広報1	度数						90		90		
		秆数						1,870		1,870		
		燃料						206.0		206.0		

7. 水防用資器材備蓄一覧表

水防倉庫所在地 川口二丁目
桜町四丁目

品名	単位	数量	品名	単位	数量
掛 矢	丁	13	土 の う 袋	枚	35,000
た こ	丁	5	ビニールロープ	玉	9
な た	丁	11	フルコンシート	枚	10
竹 と げ 鎌	丁	3	ビニールシート	枚	10
目 通 し	丁	10	木 杭 (5m)	本	55
エ ン ピ	丁	6	" (3m)	本	65
ト ウ グ ワ	丁	5	金 杭 (1.5m)	本	360
丸 ス コ ッ プ	丁	150	" (1.2m)	本	200
ツ ル ハ シ	丁	3	アルミボート	艇	2
草 刈 鎌	丁	34	大 ハ ン マ ー	丁	13
手 鎌	丁	7	オ ー ガ	機	1
の こ ぎ り 鎌	丁	17	水 中 ポ ン プ	台	5
お の	丁	3	ポ ン プ	台	4
の こ ぎ り	丁	10	救 命 胴 衣	着	100
ハ ン マ ー	丁	6	草 刈 機	台	1
ペ ン チ	丁	2	可 搬 式 草 刈 機	台	1
一 輪 車	台	15	炊 飯 釜	セット	1
土 入 じ ょ う ご	台	6	掘 削 ド リ ル	台	1
角 ス コ ッ プ	丁	50	へ ル メ ッ ト	丁	100
番 線 切	丁	4			

予防編

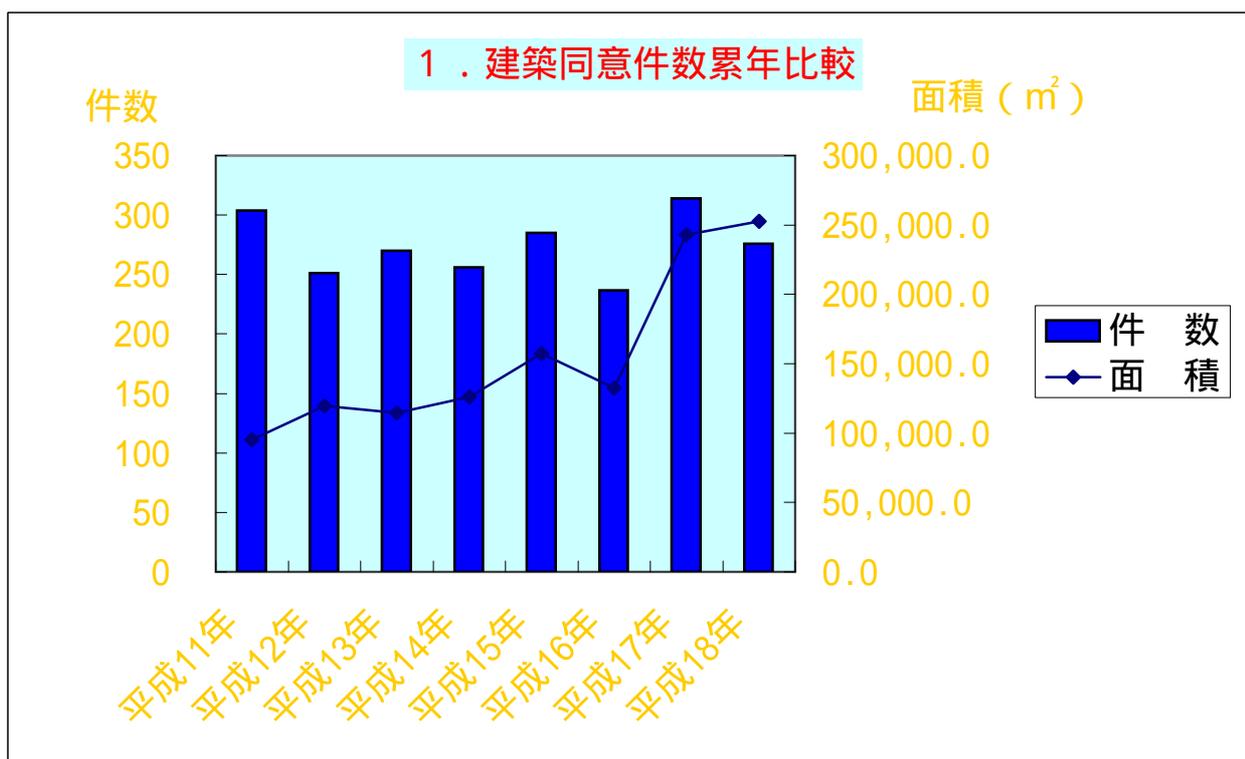
平成 18 年中における建築同意件数は 2 7 6 件（前年 3 1 4 件・12.1% 減）、危険物関係施設の設置許可件数は 2 0 件（前年 1 6 件・25% 増）、危険物関係施設の廃止は 3 1 件（前年 1 9 件・63.2% 増）である。

建築同意件数は減少傾向となっているが、危険物関係施設の設置許可数及び危険物関係施設の廃止件数は前年度より増加している。

このような中、安心して安全な地域社会づくりを目指し、市民生活の安全を確保するための火災予防対策は最重要課題であり、防火対象物における消防用設備等の確保、そして防火管理対策等ソフト面の充実・強化、さらに一般住宅への防火診断及び住宅用火災警報器の設置・普及、予防広報の徹底等、危険物関係施設については、自主保安体制の確保を指導し関係者の火災予防思想の一層の普及・啓発を図り、火災の発生等を予防することを目的としている。

1. 建築同意件数累年比較

年 別	件 数	面 積
平成11年	304	95,284.1
平成12年	251	119,694.2
平成13年	270	114,390.7
平成14年	256	126,075.3
平成15年	285	157,438.4
平成16年	237	132,375.9
平成17年	314	242,754.0
平成18年	276	252,421.9



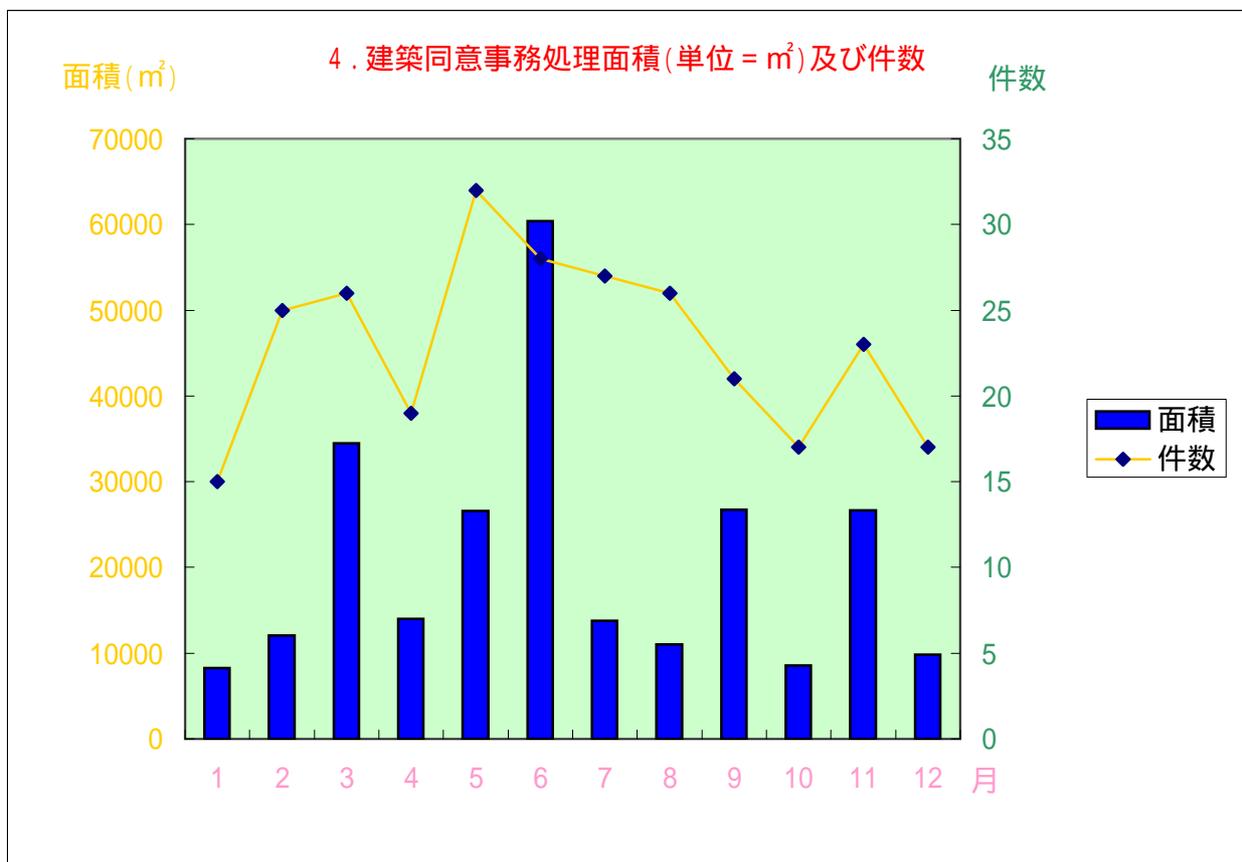
2. 防火管理者関係

年 別	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
講習修了者	146	146	148	147	150	147	142	148
選任届出者	76	93	79	118	132	107	123	163

講習会修了者数は土浦市消防本部主催の資格取得者数

4 . 建築同意事務処理面積 (単位 = m²) 及び件数

区分 月別	新築		増築		改築		増改築		用途変更		移転		計	
	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数
1	8060.25	11	204.12	4									8264.37	15
2	4054.98	13	485.48	8	518.65	1			6968.62	2	62.1	1	12089.83	25
3	33718.43	16	548.65	8	89.43	1			111.03	1			34467.54	26
4	13359.31	17							412.35	1	223.6	1	13995.26	19
5	21884.63	30	42.45	1					4687.45	1			26614.53	32
6	59114.04	25			440.2	1			668.33	1	159.24	1	60381.81	28
7	11498.08	18	668.39	5					1604.86	4			13771.33	27
8	10460.5	23	389.71	2					147.15	1			10997.36	26
9	23451.6	17	562.35	3					2746.8	1			26760.75	21
10	3797.91	14	4790.72	3									8588.63	17
11	23291.71	22	3380.58	1									26672.29	23
12	3939.85	12	5878.32	5									9818.17	17
計	216631.3	218	16950.8	40	1048.28	3	0	0	17346.6	12	444.9	3	252421.87	276



5. 防火対象物及び中高層建築物(150㎡以上)

防火対象物区分		階 数						計	
		2階以下	3 階	4 階	5 階	6 階	7階以上		
1項	イ	劇場、映画館	1	1				2	
	ロ	公会堂、集会場	21	5	1			27	
2項	イ	キャバレー、カフェー	1	1				2	
	ロ	遊技場、ダンスホール	30	1				31	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗			3			3	
3項	イ	待合、料理店の類	5					5	
	ロ	飲食店	120	17	2	1		140	
4項		百貨店、マーケット、店舗	218	7	5		2	232	
5項	イ	旅館、ホテル、宿泊所	35	7	13	6	5	7	73
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅	888	173	144	42	16	40	1,303
6項	イ	病院、診療所、助産所	50	27	12	3	4		96
	ロ	老人・児童福祉施設等	81	5	1		2	1	90
	ハ	幼稚園、盲学校、ろう学校	35						35
7項		小中高大学校、各種学校	84	40	26	6	5		161
8項		図書館、博物館、美術館	5		1				6
9項	イ	蒸気浴場等の特殊浴場	4	3	12		1		20
	ロ	(イ)以外の公衆浴場							0
10項		車両の停車場	1	2					3
11項		神社、寺院、教会の類	25	4					29
12項	イ	工場、作業場	391	17	4	1			413
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ							0
13項	イ	自動車車庫、駐車場	35	2	1	1			39
	ロ	飛行機の格納庫	1						1
14項		倉庫	342	8	1				351
15項		前各号に該当しない事業所	445	88	27	22	10	16	608
16項	イ	特定用途が属する複合対象物	169	96	51	23	11	18	368
	ロ	(イ)以外の複合対象物	58	35	24	9	6	9	141
計			3,045	539	328	114	62	91	4,179

6. 防火対象物使用開始検査調(特殊建築物)

防火対象物区分		新 築	増 築	その他	計
1項	イ	劇場、映画館			0
	ロ	公会堂、集会場	1	1	2
2項	イ	キャバレー、カフェー			0
	ロ	遊技場、ダンスホール			0
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗		1	1
3項	イ	待合、料理店の類			0
	ロ	飲食店	3	5	8
4項		百貨店、マーケット、店舗	6	4	10
5項	イ	旅館、ホテル、宿泊所	2	2	4
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅	64	2	66
6項	イ	病院、診療所、助産所	6	1	7
	ロ	老人・児童福祉施設等	6	1	8
	ハ	幼稚園、盲学校、ろう学校	1	3	4
7項		小中高大学校、各種学校	1		1
8項		図書館、博物館、美術館			0
9項	イ	蒸気浴場等の特殊浴場			0
	ロ	(イ)以外の公衆浴場			0
10項		車両の停車場			0
11項		神社、寺院、教会の類			0
12項	イ	工場、作業場	6	3	6
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ			0
13項	イ	自動車車庫、駐車場	1		1
	ロ	飛行機の格納庫			0
14項		倉庫	7	3	10
15項		前各号に該当しない事業所	9	2	11
16項	イ	特定用途が属する複合対象物	8	9	17
	ロ	(イ)以外の複合対象物		1	1
計		121	11	34	166

7. 工事整備対象設備等着工届出書の提出及び検査済調

防火対象物区分	消防用設備等	設備		自動火災報知設備		スプリンクラー設備		屋内外消火栓設備		特殊消火設備		避難設備		火災通報装置		計	
		着工届	検査済	着工届	検査済	着工届	検査済	着工届	検査済	着工届	検査済	着工届	検査済	着工届	検査済	着工届	検査済
1項	イ													0	0		
	ロ	1	1			1	1	1	1					3	3		
2項	イ													0	0		
	ロ													0	0		
	ハ													0	0		
3項	イ													0	0		
	ロ	3	3	1	1									4	4		
4項		8	6	2	2									10	8		
5項	イ	1	1	2	2	2	2	2	2			3	3	10	10		
	ロ	13	9	4	4			2	2	6	4	3	3	28	22		
6項	イ	7	7	1	1			3	3	2	2			13	13		
	ロ	4	4	2	1					2	2	1	1	9	8		
	ハ									1	1	1	1	2	2		
7項		4	3	2	2	1	0			1	0			8	5		
8項														0	0		
9項	イ	1	1											1	1		
	ロ													0	0		
10項														0	0		
11項														0	0		
12項	イ	10	10			5	3	2	1	1	1			18	15		
	ロ													0	0		
13項	イ							1	1					1	1		
	ロ													0	0		
14項		4	4											4	4		
15項		7	7							1	1	2	2	10	10		
16項	イ	18	18			2	2	1	1					21	21		
	ロ													0	0		
計		81	74	14	13	11	8	12	11	14	11	10	10	142	127		

8. 火災予防条例による届出状況

種 別 \ 区 分	土 浦 署	荒川沖署	神 立 署	新 治 署	計
発電設備設置届	7	1		1	9
変電設備設置届	15	1	9	1	26
蓄電設備設置届	10	3	2	1	16
ボイラー設備設置届	5	3	5		13
ネオン管設備設置届	1				1
炉、かまど設備設置届	10		2		12
少量危険物貯蔵取扱届	4	6	4	1	15
煙火打ち上げ、仕掛届	65	18	26	16	125
アドバルーン設置届					
禁止行為解除承認届	25	5	1	1	32
催物開催届				1	1
揚煙等の届出	6	3	5	17	31
水道断水、減水等					
道路工事届	230	106	90	27	453
計	378	146	144	66	734

9. 火災予防広報活動状況

種 別	回数	内 容
消防訓練指導	129	本部 47件、土浦署18件、荒川沖署21件、神立署28件、新治署15件
防火講話	11	本部 8件、土浦署 0件、荒川沖署 3件、神立署 0件、新治署 0件
消防施設の見学	31	土浦署28件、荒川沖署 0件、神立署 3件、新治署 0件
防火管理者会議	2	出席者295名

10. 立入検査執行状況

(1) 消防法施行令別表第一に掲げる防火対象物立入検査状況

区分 項別	実施件数					計	指導件数					計	
	本部	土浦署	荒川沖署	神立署	新治署		本部	土浦署	荒川沖署	神立署	新治署		
1項	イ		1				1						
	ロ		12	6	3	3	24		5	9	3	3	20
2項	イ												
	ロ												
	ハ												
3項	イ		2		2		4		2		3		5
	ロ	2	84	15	21	5	127	10	51	15	11	2	89
4項		14					14	16					16
5項	イ	22					22	2					2
	ロ	2					2						
6項	イ		63	15	11	3	92		36	14	3	1	54
	ロ	63	4	8	14	3	92	28	6	4	2		40
	ハ		9	5	4	1	19		13	11	6		30
7項													
8項													
9項	イ	19					19	19					19
	ロ												
10項													
11項													
12項	イ												
	ロ												
13項	イ												
	ロ												
14項													
15項		1					1	2					2
16項	イ	24					24	23					23
	ロ	2					2						
計		149	175	49	55	15	443	100	113	53	28	6	300

(2)一般住宅立入検査状況

種別	区分				計	指導件数				計
	土浦署	荒川沖署	神立署	新治署		土浦署	荒川沖署	神立署	新治署	
一般住宅	538	263	305	56	1,162	678	404	276	75	1,433
身体障害者宅										
その他										
計	538	263	305	56	1,162	678	404	276	75	1,433

11. 防火対象物定期点検報告等

防火対象物の用途区分			防火対象物数	点検報告済数	特例認定済数
1項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	1		1
	ロ	公会堂又は集会場	6	4	
2項	イ	キャバレー、カフェーナイトクラブ等			
	ロ	遊技場又はダンスホール	11	2	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	3		
3項	イ	待合、料理店等			
	ロ	飲食店	1		
4項		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗等	27	14	3
5項	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	5		4
6項	イ	病院、診療所又は助産所	7	5	
	ロ	老人福祉施設、社会福祉施設等			
	ハ	幼稚園、盲学校、聾学校、養護学校等	1		
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場に類するもの	8	1	
16項	イ	複合用途対象物(特定)	16	4	3
計			86	30	11

1 2 . 危険物製造所等の許可件数状況

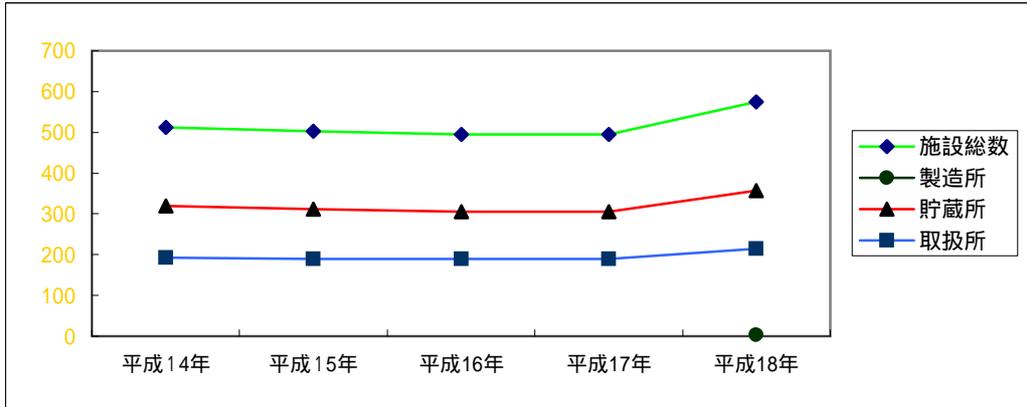
製造所等別 区分	平成 17 年中まで の許可件 数	旧新治村 からの編 入施設	平成 18年中 許可件数		平成 18 年中廃止 等件数 * 2	平成 18 年末現在 許可件数
			設 置 * 1	変 更		
製 造 所	0	2	1	1		3
屋 内 貯 蔵 所	51	11	3	1	2	63
屋外タンク貯蔵所	57	11	2	2	2	68
屋内タンク貯蔵所	5	1			1	5
地下タンク貯蔵所	141	17	2	2	4	156
簡易タンク貯蔵所	1					1
移動タンク貯蔵所	41	16	7	1	12	52
屋 外 貯 蔵 所	10	1	1			12
給 油 取 扱 所	93	23	2	21	5	113
販 売 取 扱 所	5				1	4
一 般 取 扱 所	88	12	2	5	4	98
合 計	492	94	20	33	31	575

* 1 移動タンク貯蔵所の他許可行政庁からの転入含む

* 2 移動タンク貯蔵所の他行政庁への転出含む

1 3 . 危険物製造所等の許可状況

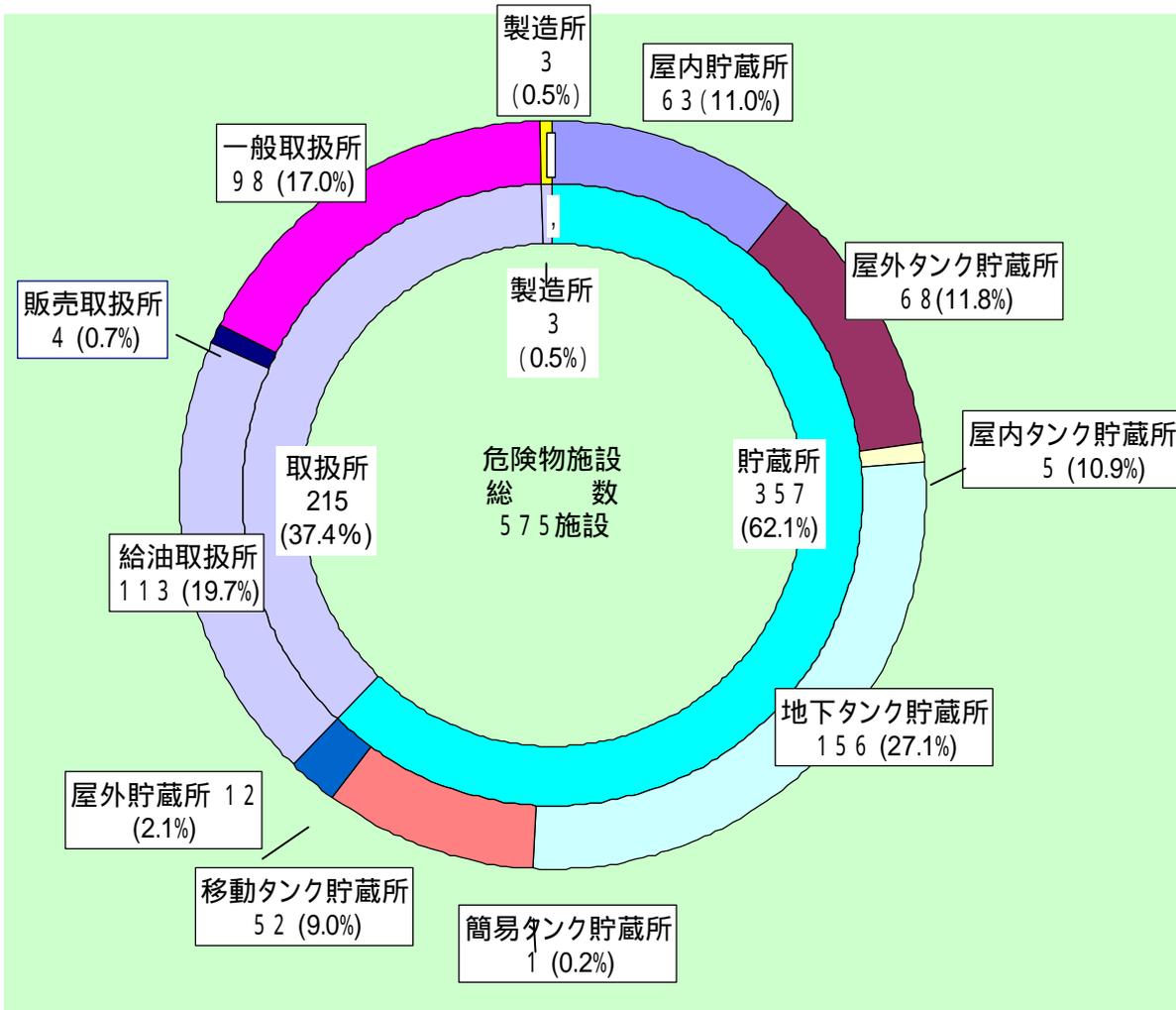
(1) 危険物施設数の推移



	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
施設総数	512	502	495	495	575 (94)
製造所					3 (2)
貯蔵所	319	312	306	306	357 (57)
取扱所	193	190	189	189	215 (35)

():旧新治村からの編入施設

) 区別施設数



14. 危険物製造所等許可・検査・届出状況

区 分		計	月 別												
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
設置・変更許可申請	製 造 所	2					1							1	
	屋 内 貯 蔵 所	4			1	1			1					1	
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	4									1			3	
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所														
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	4				1					1		2		
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所														
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	8		1					1	1			1	3	1
	屋 外 貯 蔵 所	1													1
	給 油 取 扱 所	23	5	1	1	3	1	3	1	1	1	1	5		
	販 売 取 扱 所														
	一 般 取 扱 所	7					1	1		2	1				2
	小 計	53	5	2	2	5	3	5	3	3	4	2	10	9	
検査・承認等	水 張 ・ 水 圧 検 査	31			1	2	2	5	2	4	3	4	6	2	
	完 成 検 査	46	7	6		4	2	5	2	4	3	4	6	3	
	仮 使 用 承 認	23	2	1		3	3	3	1	3	3	1	3		
	仮 貯 蔵 ・ 取 扱 承 認	1								1					
	予 防 規 程 認 可	6		1		1	2	1			1				
	特 例 承 認	1												1	
	液石法に基く意見書交付														
	小 計	108	9	8	1	10	9	14	5	12	10	9	15	6	
届 出 等	譲 渡 引 渡 届 出	15		2	3	1		1	1	3			3	1	
	種 類 数 量 変 更 届 出	4				2	1				1				
	廃 止 届 出 等 * 1	31	5	3	2	4	1	3	2	3	3		5		
	保 安 監 督 者 選 解 任 届 出	78		5	9	12	3	5	1	2	19	8	11	3	
	危 険 物 取 扱 者 届 出	35		2	8	8	4		4	1	4	1	3		
	資 料 提 出 (名 義 変 更 含)	41	7	2	4	10		7	3	1	2	3	2		
	定 期 点 検 結 果 報 告 書	144	12	8	15	11	5	16	19	5	4	7	22	20	
	予 防 規 程 軽 微 な 変 更 届 出	26			3	4	3	2	1	2	1	4	4	2	
	休 止 ・ 再 開 届 出	11	2						2		1	3		3	
	軽 微 な 変 更 届	42		3	5	7	6	4	1	4	6	1	4	1	
	圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス 等 届 出	100	14	12	3	26	7	1	2		18	5	6	6	
	地 下 タ ン ク 在 庫 管 理 等 届	25	4		4	3	2	4					8		
	小 計	552	44	37	56	88	32	45	34	22	61	29	71	33	
総 計	713	58	47	59	103	44	64	42	37	75	40	96	48		

* 1 移動タンク貯蔵所の他行政庁への転出含む

15. 危険物製造所等倍数別調

施設別 倍数別	合計	貯蔵所								取扱所		
		製造所	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所
合計	575	3	63	68	5	156	1	52	12	113	4	98
指定数量の5倍以下	244		26	21	3	102		42	5	4		41
指定数量の5倍を超え10倍以下	112	1	14	11	2	29	1	3	6	11	1	33
指定数量の10倍を超え50倍以下	106		12	24		18		2	1	25	3	21
指定数量の50倍を超え100倍以下	29	1	5	5		2		5		9		2
指定数量の100倍を超え150倍以下	34		4	2		2				25		1
指定数量の150倍を超え200倍以下	20		1	1		1				17		
指定数量の200倍を超え500倍以下	28	1		4		2				21		
指定数量の500倍を超え1000倍以下	2		1							1		
指定数量の1000倍を超える												

16 . 危険物製造所立入検査指導調

月	施設別 検査 別等	計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			運 搬 車 両	少 量 貯 蔵 取 扱 所	そ の 他
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所			
計	検査	494	2	10	74	6	157	1	35	11	130	0	31	0	37	0
	指導	223		2	14	2	54	1	15	5	97	0	25	0	8	0
1月	"	0														
	"	0														
2月	"	0														
	"	0														
3月	"	216	2	10	11	1	157			1	22		12			
	"	90		2	4		54			1	21		8			
4月	"	0														
	"	0														
5月	"	0														
	"	0														
6月	"	20						1					19			
	"	18						1					17			
7月	"	0														
	"	0														
8月	"	0														
	"	0														
9月	"	0														
	"	0														
10月	"	0														
	"	0														
11月	"	258			63	5			35	10	108				37	
	"	115			10	2			15	4	76				8	
12月	"	0														
	"	0														

17. 危険物製造所等の類・品名別貯蔵取扱量調

類	品名	化学名	数量	
第1類	第1種酸化物性固体	硝酸カリウム類	1,800kg	
第2類	引火性固体	パテ類	500kg	
		スチレン	8,000kg	
第4類	特殊引火物	エーテル(ジエチルエーテル)	325リットル	
		ガソリン	1,650,019"	
		JP-4	10,600"	
		トルオール	6,740"	
		アセトン	1,324"	
		再生溶剤	10,000"	
		塗料類	419,141"	
		第1石油類	メチルエチルケトン	77,121"
			酢酸エチル	19,565"
			メタクリル酸エチル	30,160"
			接着剤	5,610"
			ヘキサン	40"
			アセトニトリル	100"
			テトラヒドロフラン	40"
			エピオン	30,000"
			アクリナール	2,080"
			灯油	2,511,547"
			軽油	665,213"
			アノン	110"
	ジメチルオルムアミド		810"	
	キシロール		300"	
	ミネラルスピリット		15,570"	
	塗料類		216,254"	
	シンナー		19,520"	
	農薬類		2,500"	
	機械油		1,706"	
	圧延油	2,000"		
	洗浄油	6,800"		
	廃油	196,200"		
	エクソールD40	13,100"		
	ゲルコート	2,800"		
	ポリエステル樹脂	576"		
	キシレン	20"		
	アクエステル	7,500"		
	スチレンモノマー	7,500"		
	水溶性溶剤	1,000"		
	第2石油類	重油	2,779,804"	
		可塑剤	373,949"	
		廃油	170,210"	
		潤滑油	174,960"	
		焼入油	12,188"	
		ユニロール	35,740"	
		MD1	3,600"	
		洗浄油	200"	
		作動油	640"	
		オイル	2,669"	
		ディ-ゼル油	100"	
		マシン油	2,500"	
		エアルクリーン	90,000"	
		ギア-油	17,300"	
		メチルエステル	52,200"	
		グリセリン	4,000"	
		メタクリル酸	5,000"	
		第3石油類	潤滑油	847,183"
			可塑剤	443,910"
			塗料類	54,030"
			タービン油	9,000"
作動油	30,760"			
洗浄油	2,500"			
グリース	6,000"			
エポキシ化大豆油	0"			
メタルクリルレンジ	1,000"			
エチルアルコール	15,780"			
アルコール類	イソプロピルアルコール	780"		
	メチルアルコール	4,945"		
	食用油	20,780"		
動植物油類	ボイル	1,506"		
	ナイパーBMT-M	80kg		

18 . 危険物関係手数料月別納付状況調

月 別	件 数	金 額
1 月	15	257,200 円
2 月	9	115,900 円
3 月	6	109,400 円
4 月	16	248,700 円
5 月	7	98,800 円
6 月	14	177,700 円
7 月	10	149,450 円
8 月	8	95,800 円
9 月	14	143,450 円
10 月	9	181,650 円
11 月	18	299,450 円
12 月	10	256,500 円
計	136	2,134,000 円

19. 幼少年消防クラブ・婦人防火クラブ結成状況

区分	クラブ名称	所在地	代表者名	クラブ員数	指導者数
幼年	白帆幼稚園幼年消防クラブ	蓮河原新町 8 - 3 0	沼田 義雄	156	12
幼年	エンゼルオリンピア幼稚園幼年消防クラブ	烏山一区 2 0 3 4	小松崎 清	55	18
幼年	日大幼年消防クラブ	桜ヶ丘町 1 7 - 4 5	福原 清三	258	19
幼年	太陽っ子(ひたち学院幼稚園)	乙戸 1 0 2 9 - 1	栗田 敬子	175	10
幼年	新学幼稚園 幼年消防クラブ	手野町薬師 4 5 2 4	香取 秀統	177	1
幼年	土浦幼稚園 幼年消防クラブ	大手町 1 3 - 1	吉田 重郎	34	5
幼年	もみじ幼稚園 幼年消防クラブ	下高津 2 - 1 0 - 2 1	妹川 真澄	177	10
幼年	都和幼稚園 幼年消防クラブ	板谷 4 - 7 1 4 - 7	野口 陽子	89	8
幼年	桜川保育所 さくらクラブ	田中 3 - 4 - 5	大内 文子	101	8
幼年	新生保育所 幼年消防クラブ	中村南 1 - 2 4 - 1	宮本 ひろ子	22	5
幼年	竹ノ入保育所 幼年消防クラブ	西根南 3 - 4 - 4 6	関 和子	37	4
幼年	霞ヶ岡保育所 幼年消防クラブ	霞ヶ岡町 1 3 - 2 0	櫻井 玲子	57	16
幼年	都和保育所 幼年消防クラブ	並木 2 - 8 - 4	谷藤 康江	64	6
幼年	神立保育所 幼年消防クラブ	神立中央 3 -8 -2 2	小野 悦子	80	16
幼年	天川保育所 幼年消防クラブ	天川 1 - 2 4 - 1	寺沢 悦子	54	5
幼年	東崎保育所 幼年消防クラブ	東崎 4 - 7	西山 せつ子	109	16
幼年	荒川沖保育所 幼年消防クラブ	荒川沖西 2 -1 0 -1 1	宇野 恵津子	28	4
幼年	大岩田幼稚園 幼年消防クラブ	小岩田東 2 - 1 8 - 4	口田 文江	89	8
幼年	土浦第二幼稚園 幼年消防クラブ	富士崎 2 - 1 - 4 6	家田 雅子	95	9
幼年	あいりんかい保育所 幼年消防クラブ	右朧町 1 6 8 1	羽持 美代子	135	6
幼年	めぐみ保育園 幼年消防クラブ	烏山 5 -2 2 4 8 -3	山崎 弘子	62	5
幼年	いくぶん幼稚園 幼年消防クラブ	文京町 9 - 6	山田 忠志	64	7
幼年	まなべすみれ幼稚園 幼年消防クラブ	東真鍋町 2 2 - 1 1	川島 一男	149	13
幼年	土浦聖母幼稚園 幼年消防クラブ	大町 9 -6	マイケル・コールマン	71	7
幼年	あおば台幼稚園 幼年消防クラブ	右朧字宮塚 2 7 5 5	塚原 港	193	2
幼年	中央幼稚園 幼年消防クラブ	神立中央 2 -1 -1 8	香取 秀統	244	11
幼年	新治幼稚園 幼年消防クラブ	沢辺 1 4 2 3 - 4	福田 修	73	7
計				2775	231

区分	クラブ名称	所在地	代表者名	クラブ員数	指導者数
少年	土浦小学校 少年消防クラブ	大手町 1 3 - 3 2	橋本 重信	250	10
少年	下高津小学校 少年消防クラブ	下高津 4 -2 -9	栗原 幹	275	14
少年	東小学校 少年消防クラブ	大字中 4 5 5	久保田 昭千	136	7
少年	宍塚小学校 少年消防クラブ	大字宍塚 1 4 7 8	平澤 正則	18	12
少年	大岩田小学校 少年消防クラブ	大岩田町 2 0 6 6 - 1	舘 稔夫	212	11
少年	真鍋小学校 なでしこクラブ	真鍋 4 -3 -1	小泉 光正	294	14
少年	都和小学校 少年消防クラブ	並木 5 -4 8 2 6 -1	細谷 直弘	216	12
少年	荒川沖小学校 少年消防クラブ	荒川沖東 3 -2 4 -3	鈴木 光	135	8
少年	中村小学校 少年消防クラブ	中村南 5 -2 9 -5	小島 実	146	8
少年	土浦第二小学校 少年消防クラブ	富士崎 2 - 1 - 4 1	鈴木 徳次郎	208	11
少年	上大津東小学校 少年消防クラブ	沖宿町 2 4 8 9	殿岡 國治	55	10
少年	上大津西小学校 少年消防クラブ	手野町 3 6 5 1	長坂 洋二郎	32	10
少年	神立小学校 少年消防クラブ	中神立町 4	菱沼 紀夫	211	7
少年	右粕小学校 少年消防クラブ	右粕町 1 7 2 8 - 3	中川 久夫	128	7
少年	都和南小学校 少年消防クラブ	常名 3 0 9 0	小出 弘子	103	5
少年	乙戸小学校 少年消防クラブ	乙戸南 2 - 1 - 1	吉原 富久江	109	7
少年	菅谷小学校 少年消防クラブ	菅谷町 1 4 6 4 の 8	吉田 利男	61	3
少年	藤沢小学校 少年消防クラブ	藤沢 3 0 5 7	林 耕三	93	4
少年	山ノ荘小学校 少年消防クラブ	本郷 3 0 1	岩瀬 治	49	2
少年	斗利出小学校 少年消防クラブ	高岡 1 3 6 7	根本 山城	36	3
計				2767	165

婦人	板谷町婦人防火クラブ		富島 梓	31	
婦人	並木町婦人防火クラブ		鈴木 幸子	8	
婦人	大岩田 2 区婦人防火クラブ		矢口 陽子	9	
婦人	中荒川沖町婦人防火クラブ		野口 安代	21	
婦人	真鍋 5 丁目婦人防火クラブ		谷嶋 満枝	72	
計				141	

警防編

平成18年中の火災件数は40件で、前年と同件数である。出火率（人口1万人当たりの出火件数）は、2.8%（前年3.0%）で0.2%減少している。

建物火災の占める割合は、全体の57.5%で前年（67.5%）より10%減少している。

建物火災1件当たりの損害額は、2,162千円と前年（3,808千円）より減少している。

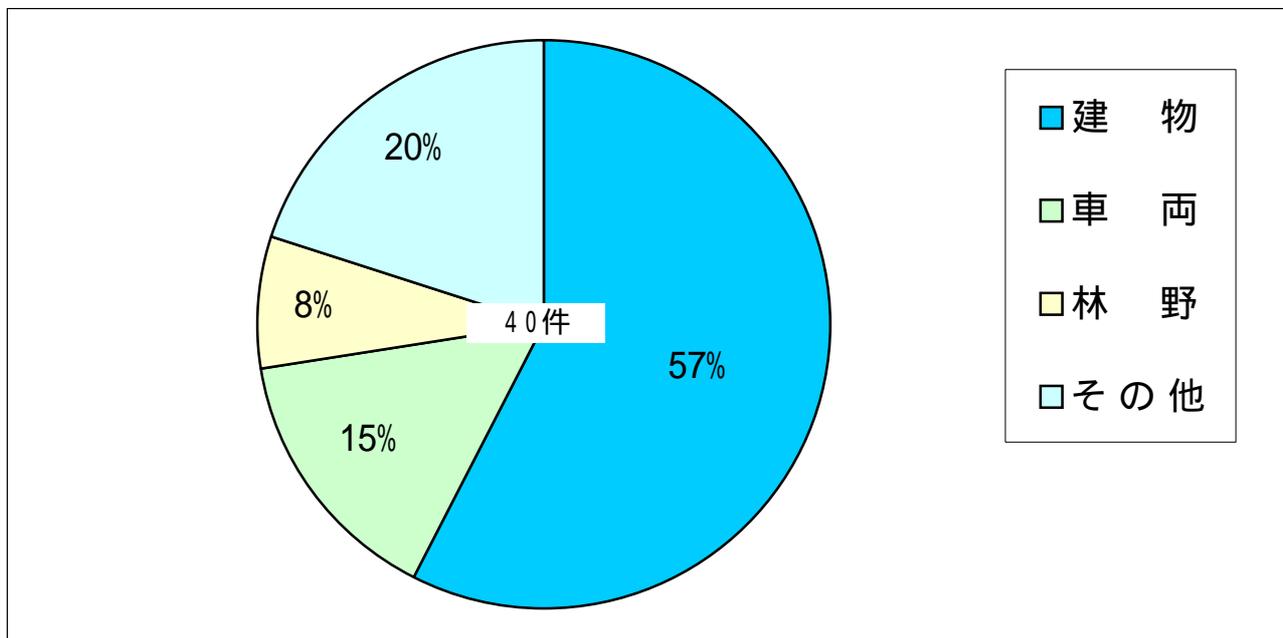
当市の火災の特徴として、前年に比べ建物火災4件、車両火災1件が減少し、その他の火災2件、林野火災2件、船舶火災1件が増加している。

原因については、放火（疑い含む）、コンロ、タバコ、電気機器の順であり、近年上位の原因について大きな変化はない。

気象については、温暖な気候のため気温・湿度・風速等特異事項は記録しなかった。

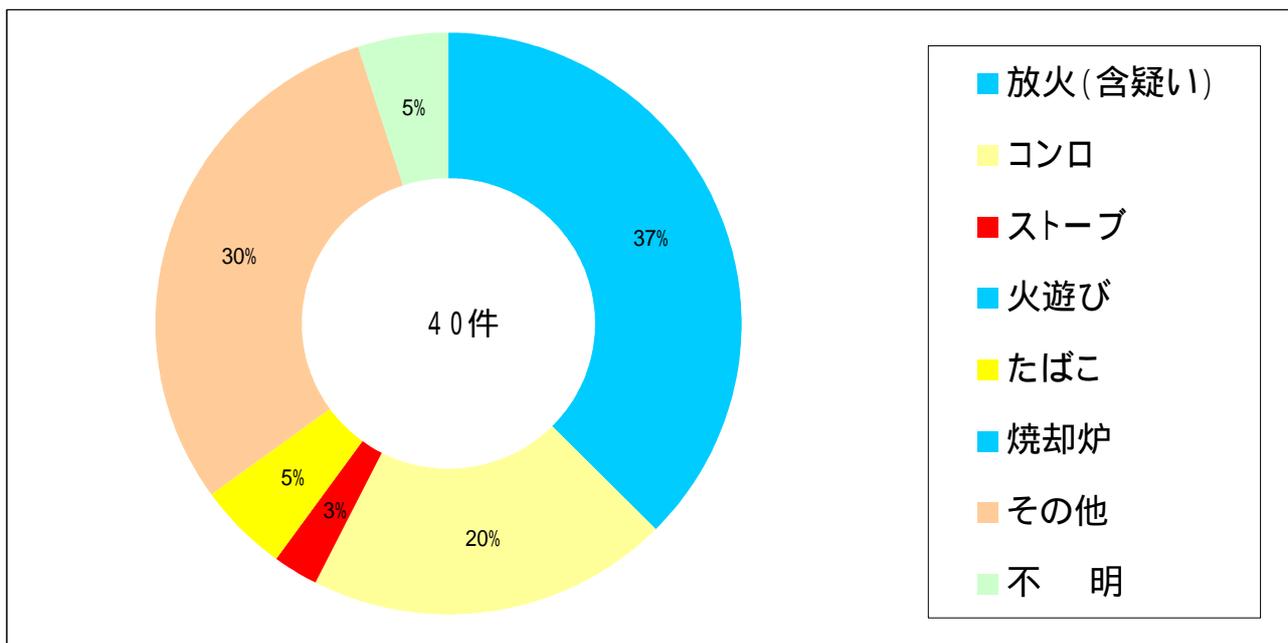
(1) 火災種別出火件数

	(件)					
	建 物	車 両	林 野	そ の 他	合 計	
件 数	23	6	3	8	40	



(2) 火災原因別出火件数

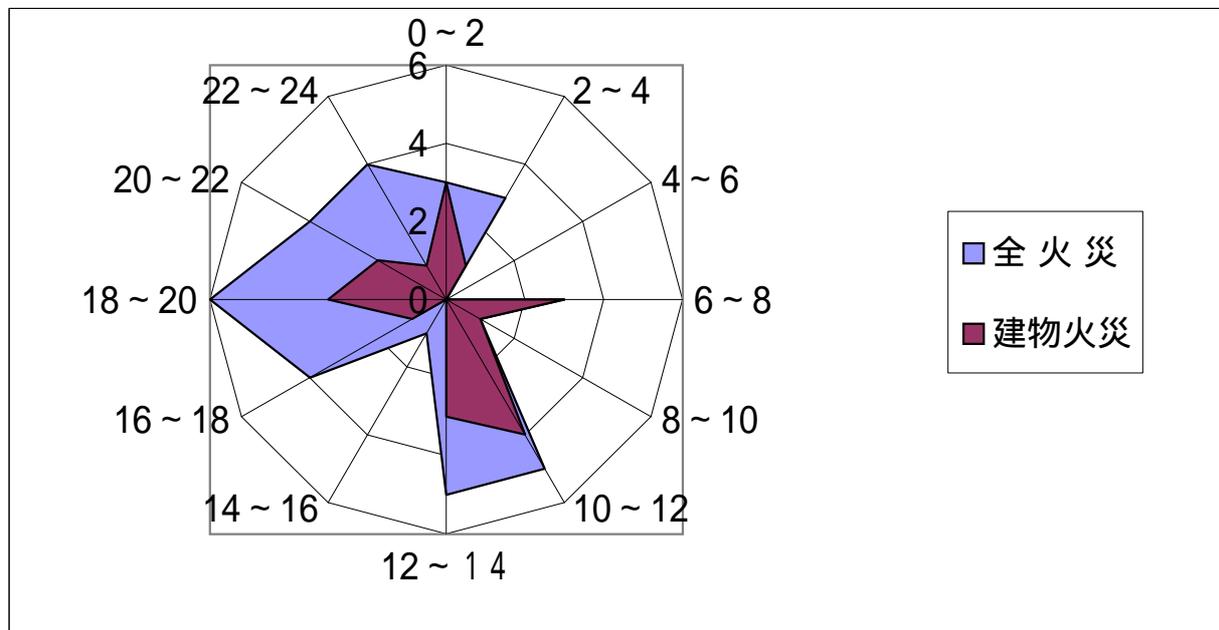
	(件)								
	放火(含疑い)	コンロ	ストーブ	火遊び	たばこ	焼却炉	その他	不 明	合 計
件 数	15	8	1	0	2	0	12	2	40



その他については、表記以外の原因を合わせたもの。

(3) 時間帯別出火件数

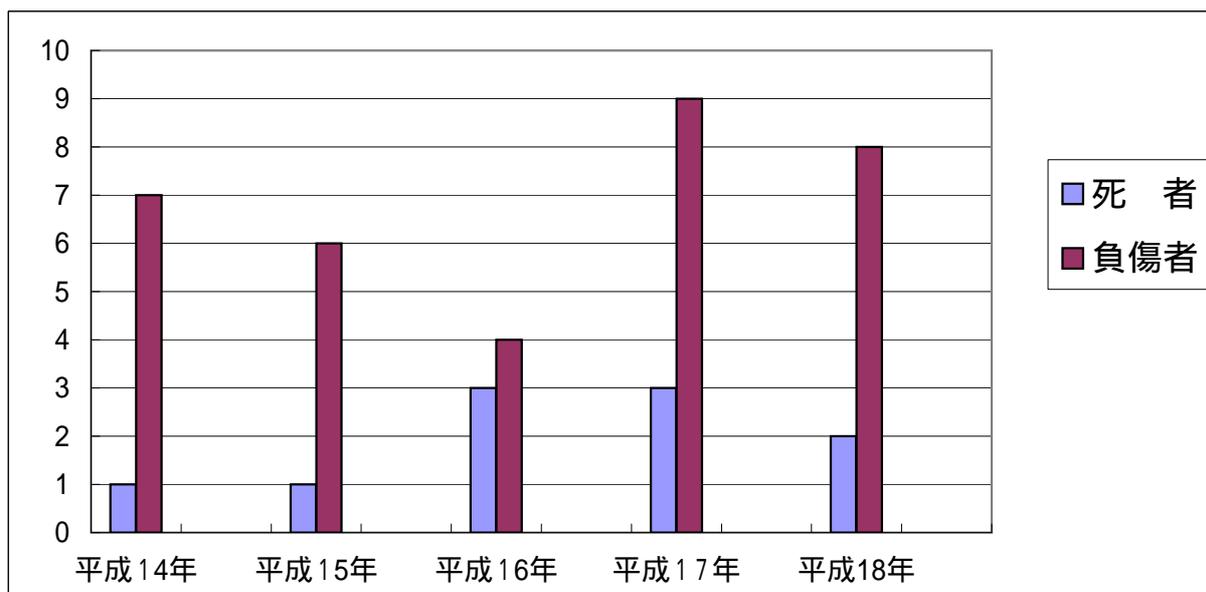
	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	不明	合計
全火災	3	3	0	3	1	5	5	1	4	6	4	4	1	40
建物火災	3	1	0	3	1	4	3	0	1	3	2	1	1	23



(4) 過去5カ年の推移

ア 死傷者

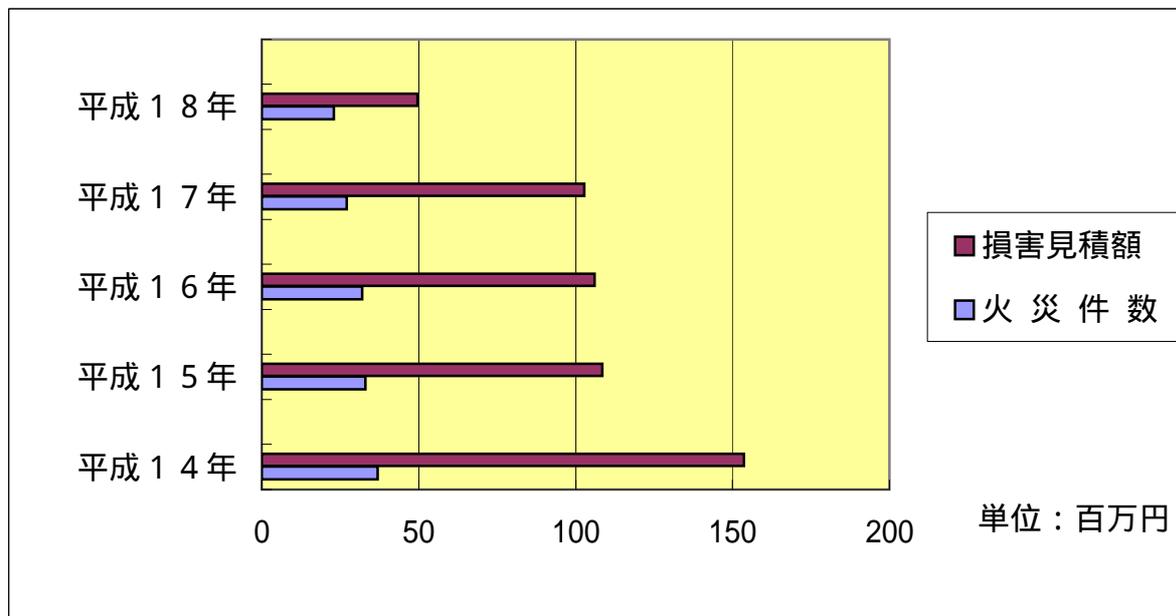
	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
死者	1	1	3	3	2
負傷者	7	6	4	9	8



イ 建物火災損害見積額

(百万円)

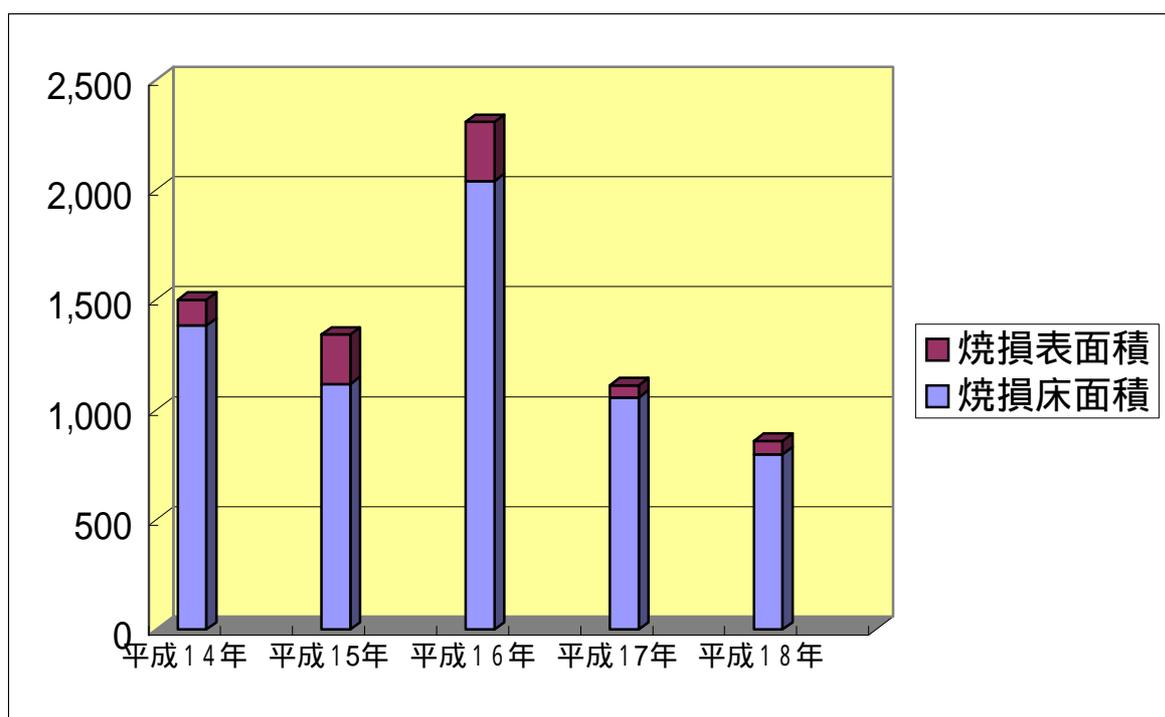
	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
火災件数	37	33	32	27	23
損害見積額	153.683	108.586	106.080	102.826	49.718



ウ 建物火災焼損面積

(m²)

	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
焼損床面積	1,382	1,116	2,039	1,056	798
焼損表面積	118	225	269	54	60



2. 火 災

(1) 当市と全国・県との火災概況比較

区 分		当 市	県 平 均 値	全国平均値
出火率	人口1万人あたりの 出火件数	2.8	5.1	4.1
火災種類別構成割合(%)	建 物 火 災	57.5	55.8	59.1
	林 野 火 災	7.5	2.7	3.0
	車 両 火 災	15.0	11.8	11.7
	船 舶 火 災	2.5	0.1	0.2
	航 空 機 火 災	-	-	-
	そ の 他 火 災	17.5	29.5	26.0
主な火災原因別割合(%)	放火・放火の疑い	37.5	13.2	21.2
	た き 火		3.0	4.9
	た ば こ	5.0	6.4	9.6
	こ ん ろ	20.0	18.1	11.2
	火 遊 び		2.5	3.4
損害額焼損面積	全火災1件あたり	1,355 千円	2,772 千円	2,190 千円
	建物火災1件あたり	2,162 千円	- 千円	- 千円
	全火災市民(県民・国民)1 人あたり	377 円	- 円	- 円
	建物火災1件あたり	34.7 m ²	56.8 m ²	44.0 m ²
	林野火災1件あたり	20.3 a	20.5 a	53.5 a

(2) 月別火災損害額

月別	件数	火災種別 <爆発>						焼損面積		損害額(千円)			
		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	建物(m ²) " 林野()	合計	建物		林野	
										建物	内容物 その他	車両	その他
計	40	23	3	6	1	0	7	床 798 表 60 林 61	54,227	39,053	10,600 65	林 276 車 4,130 そ 103	
1	6	4	1	1				床 577 表 25 林	25,133	15,559	6,334 64	林 3,176 車 そ	
2	9	4	1				4	床 4 表 10 林	523	407	115 1	林 車 そ	
3	7	5					2	床 59 表 16 林 4	4,367	3,689	586	林 車 そ 92	
4	3	2		1				床 表 林	116	90	25	林 車 そ 1	
5	3	3						床 13 表 5 林	1,948	1,320	628	林 車 そ	
6	2	1		1				床 表 林	16	2	14	林 車 そ	
7	1				1			床 表 林	11			林 車 そ 11	
8	1					1		床 表 林	0			林 車 そ	
9	0							床 表 林	0			林 車 そ	
10	2	1		1				床 113 表 林	16,620	13,311	2,457	林 車 そ 852	
11	4	2		2				床 表 林	465	23	341	林 車 そ 101	
12	2	1	1					床 32 表 林 57	5,028	4,652	100	林 車 そ 276	

(3) 覚知別火災損害額

覚知別	件数	損害額 (千円)	火災1件あたりの損害額 (千円)
計	40	54,227	1,356
専用(加入)	20	51,496	25,748
専用(携帯)	9	2,604	289
加入(加入)			
加入(携帯)			
警察電話	2	26	13
事後聞知	9	101	11
駆け付け通報			
その他			

(4) 月別・覚知別火災件数

覚知別	月別												
	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
計	40	6	9	7	3	3	2	1	1		2	4	2
専用(加入)	20	6	2	4	2		1				2	1	2
専用(携帯)	9		2	3	1		1	1				1	
加入(加入)													
加入(携帯)	1					1							
警察電話	1											1	
事後聞知	8		5			2			1				
駆け付け通報	1											1	
その他													

(5) 月別・死傷者数

種別	月別												
	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
死者	2	2											
負傷者	8	3	1	1								2	1

(6) 月別・原因別火災件数

原因別		月 別												
		件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計		40	6	9	7	3	3	2	1	1	0	2	4	2
たばこ		2			1									1
たき火		0												
火遊び		0												
こんろ	都市ガス	2	1										1	
	プロパンガス	6	1	1	2		1	1						
	その他	0												
放火	放火	8		4	1		1					1	1	
	自損行為	0												
放火の疑い		7	3	2		1				1				
風呂 かまど	ガス	0												
	石油	1			1									
	まき	0												
	かまど	0												
ストーブ	石油	1												1
	ガス	0												
	電気	0												
マッチ・ライター		1			1									
電気コタツ		0												
電灯 配電線 電話	屋内外線等	0												
	配電線スパーク	0												
	その他	0												
衝突の火花		0												
配線器具		0												
電気機器		2		1			1							
焼却炉		0												
溶断機・切断機		0												
火入れ		0												
排気管		1				1								
取り灰		1			1									
その他	温風ヒーター	2	1	1										
	グラインダーの火花	1						1						
	花火	1							1					
	衝突により出火	1									1			
	トラッキング	1											1	
		0												
		0												
		0												
その他	0													
不明・調査中		2				1							1	

(7) 時間別・原因別火災件数

原因別		月 別														
		件数	0 }	2 }	4 }	6 }	8 }	10 }	12 }	14 }	16 }	18 }	20 }	22 }	不 明	
合 計		40	3	3	0	3	1	5	5	1	4	6	4	4	1	
たばこ		2						1	1							
たき火		0														
火遊び		0														
こんろ	都市ガス	2	1					1								
	プロパンガス	6						3	1		1	1				
	その他	0														
放火	放 火	8	1	1							1	2	2		1	
	自損行為	0														
放火の疑い		7	1	2						1			1	2		
風呂 かまど	ガ ス	0														
	石 油	1							1							
	ま き	0														
	かまど	0														
ストーブ	石 油	1				1										
	ガ ス	0														
	電 気	0														
マッチ・ライター		1					1									
電気こたつ		0														
電等 配電 線 電話	屋内外線等	0														
	配電線スパーク	0														
	その他	0														
衝突の火花		0														
配線器具		0														
電気機器		2				1						1				
焼却炉		0														
溶断機・切断機		0														
火入れ		0														
排気管		1									1					
取り灰		1							1							
そ の 他	温風ヒーター	2							1			1				
	グラインダーの火花	1									1					
	花火	1												1		
	衝突により出火	1										1				
	トラッキング	1											1			
		0														
		0														
その他	0															
不明・調査中		2				1								1		

(8) 町別火災発生状況

署別	町別	種別	計	建物	林野	車両	船舶	その他
			40	23	3	6	1	7
土 浦 消 防 署 17 件	小松 1～3丁目		2	1		1		
	東崎町		1	1				
	真鍋新町		1	1				
	真鍋 1～6丁目		2	1				1
	大和町		2	2				
	東真鍋		1					1
	虫掛		1		1			
	上高津		1	1				
	国分町		1	1				
	並木 1～5丁目		1	1				
	下高津 1～4丁目		1	1				
	大岩田		1				1	
	港町 1～3丁目		1	1				
	立田町		1	1				
			0					
			0					
			0					
		0						
		0						
		0						
		0						
荒 川 沖 消 防 署 7 件	中		2	2				
	右朧町		4	3				1
	中村西根		1	1				
			0					
			0					
			0					
			0					
			0					
			0					
神 立 消 防 署 8 件	神立東 1・2丁目		2			1		1
	粟野		1	1				
	東都和		1	1				
	白鳥町		2	1		1		
	中津 1～3丁目		1			1		
	おおつ野 1～8丁目		1		1			
			0					
			0					
		0						
新 治 消 防 署 8 件	上坂田		3	1	1	1		
	藤沢		1	1				
	田宮		1					1
	小高		1					1
	大志戸		1					1
	大畑		1			1		
			0					
			0					
		0						

(9) 最近 5 カ年間の出火状況比較

(ア) 出火率 (人口 1 万人あたりの出火件数)

平成 14 年	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年
4.1	4.0	3.3	3.0	2.8

(イ) 月別火災件数

月 別 年 別	計	月 別											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
計	235	21	29	31	29	22	13	14	15	11	12	15	23
平成 14 年	56	5	3	8	10	3	3	2	6	5	3	2	6
平成 15 年	54	6	6	6	3	5	3	4	6	3	3	5	4
平成 16 年	45	3	9	1	5	6	4	4	2	2	2	2	5
平成 17 年	40	1	2	9	8	5	1	3	0	1	2	2	6
平成 18 年	40	6	9	7	3	3	2	1	1	0	2	4	2

(ウ) 時間別火災件数

時間別 年 別	計	時間別												
		0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	不明
計	235	23	11	17	15	13	18	26	15	22	27	28	15	5
平成 14 年	56	5	1	3	4	6	5	10	3	5	5	7	2	0
平成 15 年	54	4	1	7	3	0	5	2	4	9	6	7	4	2
平成 16 年	45	5	1	3	3	1	2	4	5	3	7	5	5	1
平成 17 年	40	6	5	4	2	5	1	5	2	1	3	5	0	1
平成 18 年	40	3	3	0	3	1	5	5	1	4	6	4	4	1

(工) 火災種別損害額

(単位:千円)

種別 年別	合計		建物火災		車両火災		林野・その他	
	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額
計	235	548,995	129	520,893	35	17,394	31	10,708
平成14年	56	160,146	37	153,683	11	4,703	8	1,760
平成15年	54	114,670	33	108,586	12	4,431	9	1,653
平成16年	45	106,644	32	106,080	5	489	8	75
平成17年	40	113,308	27	102,826	7	3,641	6	6,841
平成18年	40	54,227	23	49,718	6	4,130	11	379

(オ) 建物火災焼損棟数及び損害額

種別 年別	火災区分						焼損床面積 (㎡)	損害額 (千円)			
	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	爆発		合計	建物	内容物	その他
計	129	38	10	45	36	0	5,593	471,175	365,467	101,867	3,841
平成14年	37	7	2	16	12		1,382	153,683	108,224	44,514	945
平成15年	33	13	2	8	10		1,116	108,586	82,313	25,322	951
平成16年	32	12	3	11	6		2,039	106,080	84,612	19,548	1,920
平成17年	27	6	3	10	8		1,056	102,826	90,318	12,483	25
平成18年	23	5	1	10	7		798	49,718	39,053	10,600	65
平均	26	8	2	9	7	0	1,119	117,794	73,093	20,373	768

(カ) 火災に対する建物火災の占める割合等

種別 年別	全火災に対する建物 火災の割合 (%)	建物火災1件あたり の損害額 (千円)	建物火災1件あたり の焼損床面積 (㎡)
平均	64.6	3,346	41.7
平成14年	66.0	4,154	37.4
平成15年	61.1	3,290	33.8
平成16年	71.1	3,315	63.7
平成17年	67.5	3,808	39.1
平成18年	57.5	2,162	34.7

(キ) 火災原因別出火件数

原因別		件数	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年
合計		235	56	54	45	40	40
たばこ		19	3	5	3	6	2
たき火		2	1			1	
火遊び		5	3	1		1	
こ ん ろ	都市ガス	8	2	1	3		2
	プロパンガス	28	6	5	4	7	6
	その他	1		1			
放 火	放火	42	7	7	15	5	8
	自損行為	2			1	1	
放火の疑い		29	11	5	5	1	7
風 呂 か ま ど	ガス	1		1			
	石油	4	1	2			1
	まき	0					
	かまど	0					
ス ト ー ブ	石油	9	2	3	2	1	1
	ガス	0					
	電気	8	2	2		4	
マッチ・ライター		2		1			1
煙突・煙道		0					
電 灯 電 話	屋内外線等	1	1				
	配電線スパーク	2	1			1	
	その他	1				1	
交通機関内配線		4	1	3			
配線器具		3		2		1	
電気器具		7	1	1	1	2	2
焼却炉		4	2	1	1		
溶断機・切断機		2	1			1	
排気管		5		2		2	1
灯		0					
取灰		2				1	1
ボイラー		0					
衝突の火花		0					
その他		31	6	9	7	3	6
不明・調査中		13	5	2	3	1	2

(10)損害額500万円以上の火災(平成14年~平成18年)

火災年月日	出火時分	鎮火時分	住 所	原 因	焼失面積 (㎡)	損害額 (千円)
H14.1.4	21:55	22:23	神立中央5丁目	不明	228	23,185
2.5	9:35	10:03	桜町3丁目	石油ストーブ	35	6,991
2.9	7:03	7:31	都和3丁目	石油ストーブ	21	5,299
3.2	12:25	12:48	乙戸町	火遊び	45	8,127
3.6	17:30	17:55	都和2丁目	不明	64	16,122
3.22	0:12	2:00	中央2丁目	電気コタツ	198	20,558
4.26	10:07	10:32	白鳥町	その他	111	18,990
6.18	9:38	10:40	中村南1丁目	不明	142	11,180
8.1	14:36	15:15	中央2丁目	石油風呂釜	251	8,406
12.5	12:20	13:11	霞ヶ岡町	屋内配線	120	11,237
H15.2.28	19:40	20:39	乙戸町	石油ストーブ	136	19,290
3.20	11:26	11:55	板谷1丁目	たばこ	130	6,141
4.3	16:59	17:27	真鍋4丁目	たばこ	43	7,111
4.5	22:15	23:03	大字乙戸	たばこ	133	15,786
5.18	4:18	4:33	荒川沖西1丁目	こんろ	248	6,032
6.24	16:12	16:40	中貫町	こんろ	89	5,250
8.8	5:40	6:14	北神立町	その他	0	9,435
8.16	5:00	5:21	真鍋6丁目	ライター	71	9,540
8.21	不明	6:05	神立中央1丁目	放火の疑い	110	13,769
H16.5.26	21:03	22:31	神立中央2丁目	放火の疑い	87	10,147
5.26	21:50	22:17	神立中央1丁目	放火	128	12,453
5.29	1:35	2:26	真鍋5丁目	放火の疑い	336	10,177
8.26	18:10	18:48	中高津2丁目	たばこ	50	5,863
9.12	0:38	2:09	東真鍋町	放火	297	23,575
12.23	14:35	15:16	荒川沖西2丁目	ストーブ	191	10,575
H17.3.2	15:18	17:34	中貫町	電気機器	0	6,002
4.24	16:20	17:17	中村南5丁目	石油ストーブ	229	14,082
5.15	6:20	7:03	神立中央1丁目	こんろ	53	14,334
6.21	13:45	14:09	並木2丁目	電気冷蔵庫	52	7,660
12.30	20:25	21:06	荒川沖東2丁目	電気ストーブ	382	50,136
H18.1.27	0:36	1:02	小松1丁目16-16	こんろ	133	7,551
1.30	19:50	21:03	東崎町3 4	ガステーブル	448	13,564
10.9	21:40	22:26	白鳥町1067 12	放火	113	15,768

(11) 気象別火災発生状況

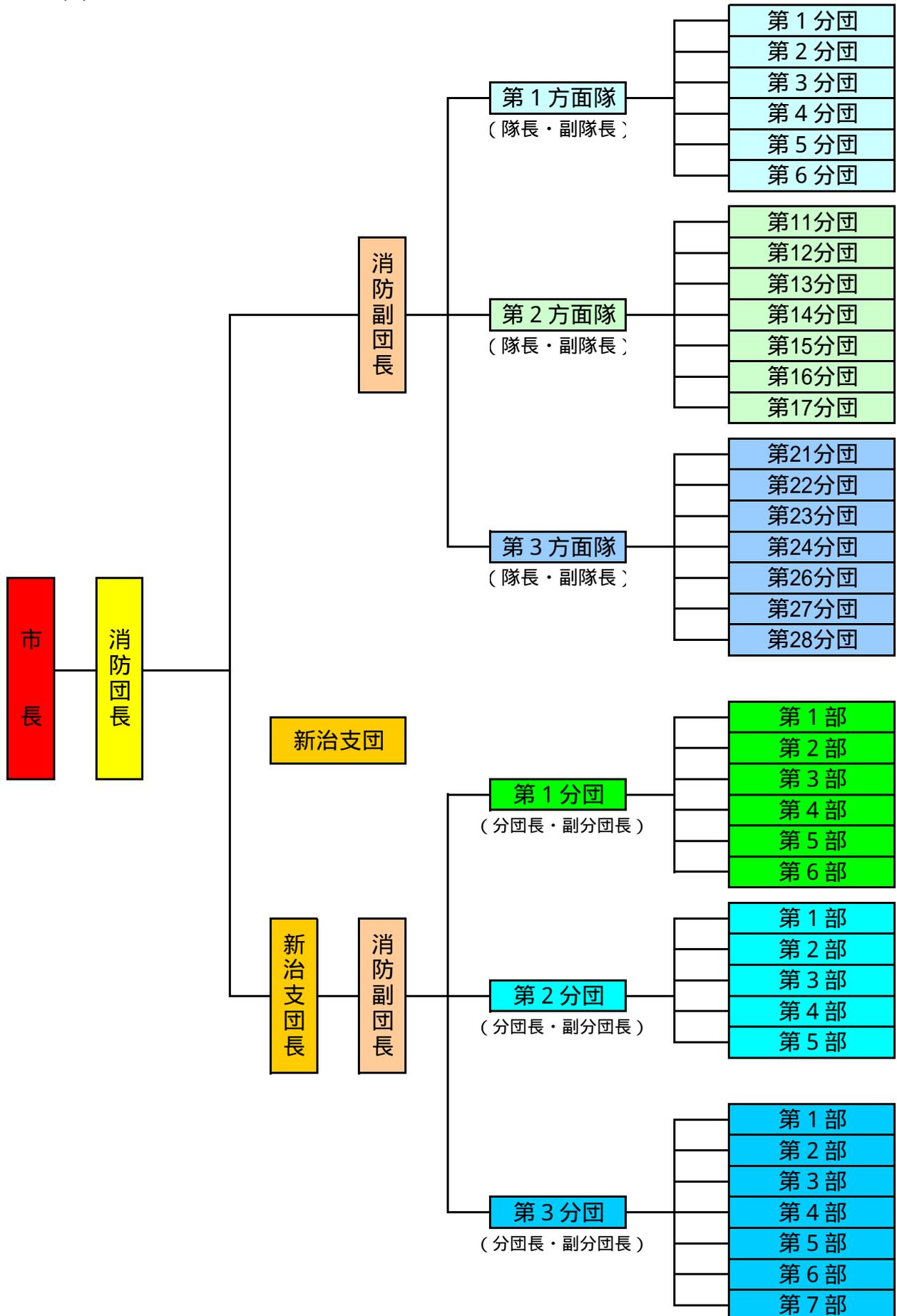
月 別		計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
気象別			月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
件 数		40	6	9	7	3	3	2	1	1	0	2	4	2
火災警報発令		0												
天 候	晴	28	6	6	6	1	1	1		1		2	2	2
	曇	9		2	1	1	1	1	1				2	
	雨	3		1		1	1							
	雪	0												
	不明	0												
風 向	無 風	2										1		1
	北	2		2										
	北北東	3			1	1	1							
	北 東	7	1	2	3		1							
	東北東	5		2		1							2	
	東	6	1					2	1			2		
	東南東	1								1				
	南 東	1			1									
	南南東	0												
	南	1					1							
	南南西	0												
	南 西	0												
	西南西	2	1	1										
	西	0												
	西北西	6	1		1	1							2	1
	北 西	4	1	2	1									
	北北西	1	1											
測定不能	0													
風 速	無 風	2										1		1
	3.5m未満	30	5	8	4	3	3	1	1	1		1	3	
	3.5m以上	4	1	1	1			1						
	7.0m以上	3			1								1	1
	10.0m以上	0												
測定不能	0													
温 度	0 未満	2	2											
	0 以上	8	3	5										
	5 以上	14	1	3	5	2							1	2
	10 以上	11		1	2	1	3	1				1	2	
	20 以上	5						1	1	1		1	1	
測定不能	0													
湿 度	20%未満	0												
	20%以上	1			1									
	30%以上	1			1									
	40%以上	6	2	1	2									1
	50%以上	3	2		1									
	60%以上	29	2	8	2	3	3	2	1	1		2	4	1
測定不能	0													

(12) 原因と主な経過

原因	18年	主な経過	主な着火物	17年
たばこ	2	不適當なところに捨てる(2)	枯草(2)	6
火遊び				1
コンロ	8	放置する・忘れる(8)	都市ガス(1) 板張りベニヤ(1) 動植物油(5) その他(1)	7
放火	8	放火(8)	紙屑(2) 枯草(3) ゴミ屑(1) ビニール袋(1) 雨樋(1)	6
放火の疑い	7	放火の疑い(7)	紙屑(1) 不明(2) 枯草(1) 合成樹脂(1) ゴミ類(2)	1
ストーブ	1	着火物が漏洩する(1)	第四石油類(1)	4
電灯電話線の配線				1
配線器具				1
たき火				1
その他	13	輻射を受けて発火する(1) 引火する(1) 金属の接触部が過熱する(1) 消したはずのものが再燃する(1) 伝導過熱する(1) 火源が動いて接触する(1) 着火物が漏洩する(2) 電線が短絡する(1) 火花が飛ぶ(1) 火の粉が散る・遠くへ飛び火する(1) 衝突により出火(1) トラッキング(1)	犬の抜け毛(1) 衣類(1) 電線被覆(2) 紙屑(1) 柱・桁・梁類(1) 芝草(1) 第四石油類(1) 荷台床(1) 合成樹脂と成形品(2) 電線配線(1) 第一石油類(1)	10
不明	1	不明(1)	合成樹脂と成形品(1)	2

2. 消防団

(1) 組織図



(2)消防団車庫及び担当区域

区分 所属	所在地	面積 (m ²)	構造	担当区域	建築年
団本部	文京町1-46 消防本部内				S41年
第1分団	大和町1-1	56.55	軽量鉄骨ALC板 2階建	大和町, 桜町1, 2, 3丁目, 有明町1番街区	S60年
第2分団	川口一丁目4	56.25	"	川口1, 2丁目, 東崎町, 有明町2番街区, 湖北1, 2丁目, 港町1, 2, 3丁目	S60年
第3分団	大町6-11	52.01	鉄骨瓦葺葺2階建	大町, 千束町, 桜町4丁目, 田中1, 2, 3丁目, 田中町, 生田町, 文京町	S54年
第4分団	大手町5	33.00	ブロック瓦葺2階建	大手町, 中央1, 2丁目, 立田町	S33年 S55年(改築)
第5分団	穴塚町1478-2	56.43	鉄骨瓦葺葺2階建	虫掛の一部, 佐野子, 粕毛, 穴塚の一部, 飯田, 矢作	H6年
第6分団	小松2丁目9	50.64	軽量ブロック スレート葺平屋建	小松1, 2, 3丁目, 小松ヶ丘町, 千鳥ヶ丘町, 霞ヶ岡町, 桜ヶ丘町, 小岩田東1, 2丁目, 小岩田西1, 2丁目, 大岩田, 蓮河原町, 蓮河原新町, 滝田1, 2丁目	S38年 H元年(改築)
第11分団	真鍋1丁目11-12	68.04	軽量鉄骨 モニエル瓦葺 2階建	真鍋1, 2丁目, 真鍋3丁目1~5番街区, 真鍋新町, 大字木田余, 木田余西台, 木田余東台1, 2, 3, 4, 5丁 目, 城北町	H15年
第12分団	真鍋3丁目11-26	51.92	鉄骨瓦葺葺2階建	真鍋3丁目6~14番街区, 真鍋4, 5, 6丁目, 東真鍋町, 西真鍋町, 殿里, 東都和, 若松町, 東若松町	H4年
第13分団	並木3丁目3-43	52.50	鉄骨折板葺2階建	常名, 都和1, 2, 3, 4丁目, 虫掛の一部, 並木1, 2, 3, 4, 5丁目, 東並木町, 西並木町, 中貫, 板谷1, 2, 3, 4, 5, 6, 7丁目	S57年
第14分団	今泉327	56.43	鉄骨瓦葺葺2階建	粟野町, 紫ヶ丘, 今泉, 小山崎, 中都町1, 2, 3, 4丁目, 笠師町	H9年
第15分団	神立中央1丁目7-19	52.50	鉄骨折板葺2階建	神立町, 神立中央1, 2, 3, 4, 5丁目, 神立東1, 2丁目, 中神立町, 北神立町, 東中貫町, 白鳥町	S57年
第16分団	手野町2033-6	43.39	鉄骨瓦葺葺2階建	手野町, 菅谷町	S54年
第17分団	沖宿町849	56.43	鉄骨コロニアル葺 2階建	沖宿町, 田村町, おおつ野1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8丁目	H12年
第21分団	下高津2丁目1-12	56.43	鉄骨折板葺平屋建	下高津1, 2, 3, 4丁目, 富士崎1, 2丁目	H3年
第22分団	中高津2丁目5-1	56.43	"	中高津1, 2, 3丁目, 国分町, 小岩田, 永国, 永国東町, 永国台	H4年
第23分団	上高津町868-4	66.24	鉄骨ルーフデッキ 2階建	上高津, 穴塚の一部, 上高津新町, 天川1, 2丁目	H15年
第24分団	右朧町748	67.00	"	右朧, 摩利山新田, 烏山1, 2, 3, 4, 5丁目	S59年 H10 移 設
第26分団	荒川沖東2丁目2-6	56.43	"	荒川沖東1, 2, 3丁目, 北荒川沖町, 中村南1, 2, 3丁 目, 中村東1, 2, 3丁目, 中の一部	H7年
第27分団	荒川沖西2丁目 11-26	56.43	"	中荒川沖町, 荒川沖西1, 2丁目, 荒川沖の一部, 中村南4, 5, 6丁目, 中の一部, 西根南1, 2丁目, 西根南3丁目, 中村西根, 西根西1丁目	H5年
第28分団	荒川沖南区31-1	56.43	"	荒川沖の一部, 荒川本郷, 沖新田, 乙戸, 乙戸南1, 2, 3丁目, 卸町1, 2丁目	H7年

区分 所属	所在地	面積 (㎡)	構造	担当区域	建築年
第1分団第1部	藤沢1419-4先	38.0	ブロック造平屋 一部木造	藤沢の一部 高岡の一部	S35年
第1分団第2部	藤沢(二区)1544-2	1F 19.8 2F 19.8	木造2階建	藤沢の一部	H2年
第1分団第3部	大畑1182-1	158.0	木造平屋建	大畑の一部	S52年度
第1分団第4部	上坂田1135-1	1F 25.0 2F 13.0	鉄骨2階建	上坂田の一部 下坂田の一部	S46年
第1分団第5部	下坂田474-1	42.0	ブロック造平屋建	上坂田の一部 下坂田の一部 大畑の一部	S41年
第1分団第6部	藤沢(東町)3348-1	1F 23.1 2F 23.1	軽量鉄骨2階建	藤沢の一部	S30年度
第2分団第1部	田宮613-3	1F 18.0 2F 18.0	木造2階建	田宮	S40年
第2分団第2部	高岡1896	1F 19.8 2F 19.8	木造2階建	高岡の一部	S49年
第2分団第3部	高岡(沖)1371-1	1F 24.0 2F 24.0	1F RC造 2F 木造	高岡の一部	1F S40年頃 2F S56年
第2分団第4部	藤沢新田488先	42.75	軽量鉄骨平屋建	藤沢新田 高岡の一部	S48年
第2分団第5部	田土部855	44.2	木造平屋建	田土部 下大島	S45年頃
第3分団第1部	沢辺806-3	40.5	木造平屋建	沢辺の一部 小野, 沢辺, 東城寺 入会地の一部	S40年
第3分団第2部	永井557	1F 26.8 2F 21.5	木造モルタル2階建	永井 本郷入会地の一部	S53年
第3分団第3部	本郷1538	1F 36.3 2F 32.16	木造2階建	本郷 永井 本郷入会地の一部	S52年
第3分団第4部	大志戸1167-1	詰所 19.87 車庫 26.22	詰所 木造平屋建 車庫 軽量鉄骨造	大志戸	詰所 H5年 車庫 S52年
第3分団第5部	小野566-3	詰所 25.25 車庫 22.00	詰所 木造平屋建 車庫 コンクリートブロック造	小野, 沢辺の一部 小野, 沢辺 東城寺入会地の一部	詰所 H2年 車庫 S53年
第3分団第6部	東城寺444-1	詰所 20.6 車庫 19.8	詰所 木造平屋建 車庫 コンクリートブロック造	東城寺 小野, 沢辺東城寺入会地の一部	S52年
第3分団第7部	小高17-3	28.4	鉄骨2階建	小高	S52年

(3)消防団配置車両

所 属	社名 年式	ポンプ 製作所	型式	性能	規 格 (m)			総重量 (kg)	総排気 量(cc)	燃料	受信機 有 無	配 置 年月日
					長さ	巾	高さ					
第1分団	三菱 12年	G M いちほら	CD -	A - 2	5.22	1.89	2.49	4,090	5,249	軽油	有	平成 12.2.9
第2分団	トヨタ 15年	"	"	"	5.15	1.88	2.50	4,370	4,890	"	"	平成 15.11.19
第3分団	トヨタ 11年	"	"	"	5.15	1.88	2.42	3,830	4,100	"	"	平成 11.2.8
第4分団	いすゞ 14年	日 本 エレファント	"	"	5.45	1.88	2.50	4,410	4,570	"	"	平成 14.3.29
第5分団	いすゞ 5年	G M いちほら	"	"	5.12	1.88	2.67	3,740	4,330	"	"	平成 5.3.27
第6分団	トヨタ 18年	"	"	"	5.15	1.88	2.50	4,480	4,000	"	"	平成 18.2.14
第11分団	トヨタ 7年	森田	"	"	5.12	1.88	2.30	3,650	3,660	"	"	平成 7.3.27
第12分団	いすゞ 4年	G M いちほら	"	"	5.12	1.88	2.65	3,690	3,630	"	"	平成 4.4.5
第13分団	トヨタ 2年	"	"	"	5.10	1.88	2.65	3,660	3,660	"	"	平成 2.5.30
第14分団	いすゞ 7年	"	"	"	5.45	1.88	2.50	4,010	4,570	"	"	平成 7.12.12
第15分団	いすゞ 12年	"	"	"	5.39	1.88	2.50	4,240	4,570	"	"	平成 12.10.6
第16分団	トヨタ 15年	"	"	"	5.15	1.88	2.50	4,370	4,890	"	"	平成 15.11.19
第17分団	いすゞ 14年	G M いちほら	"	"	5.40	1.88	2.30	4,330	4,770	"	"	平成 14.11.6
第21分団	トヨタ 2年	"	"	"	5.10	1.88	2.65	3,660	3,660	"	"	平成 2.5.30
第22分団	いすゞ 5年	"	"	"	5.17	1.88	2.48	3,710	4,330	"	"	平成 5.8.5
第23分団	トヨタ 19年	"	"	"	5.15	1.88	2.50	4,290	3,630	"	"	平成 19.2.22
第24分団	トヨタ 9年	"	"	"	5.15	1.88	2.50	3,720	4,000	"	"	平成 9.3.14
第26分団	トヨタ 17年	"	"	"	5.15	1.88	2.50	4,420	4,000	"	"	平成 17.3.25
第27分団	トヨタ 18年	"	"	"	5.15	1.88	2.50	4,480	4,000	"	"	平成 18.2.14
第28分団	いすゞ 4年	"	"	"	5.12	1.88	2.65	3,690	3,630	"	"	平成 4.4.5

所 属	社名 年式	ポンプ 製作所	型式	性能	規 格 (m)			総重量 (kg)	総排気 量(cc)	燃料	受信機 有 無	配 置 年月日
					長さ	巾	高さ					
第1分団第1部	いすゞ 17年	森田	CD -	A - 2	5.55	1.88	2.45	4,210	4,770	軽油	有	平成17.10
第1分団第2部	ニッサン 2年	石川島 芝浦	-	B - 3	4.69	1.69	2.25	2,050	1,620	ガソリン	〃	平成2.11 ポ H16
第1分団第3部	ニッサン 元年	〃	-	〃	4.69	1.69	2.12	2,050	1,590	〃	〃	平成元.12 ポ H15
第1分団第4部	いすゞ 8年	森田	CD -	A - 2	5.48	1.88	5.45	3,860	4,570	軽油	〃	平成8.11
第1分団第5部	ニッサン 3年	石川島 芝浦	-	B - 3	4.71	1.69	2.26	1,980	1,620	ガソリン	〃	平成3.9 ポ H15
第1分団第6部	ニッサン 62年	〃	-	〃	4.69	1.69	2.27	1,940	1,590	〃	〃	昭和62.8 ポ H15
第2分団第1部	ニッサン 5年	〃	-	〃	4.68	1.69	2.29	2,140	1,620	〃	〃	平成5.8 ポ H16
第2分団第2部	ニッサン 元年	〃	-	〃	4.69	1.69	2.12	2,050	1,590	〃	〃	平成元.12 ポ H15
第2分団第3部	ニッサン 元年	〃	-	〃	4.69	1.69	2.30	1,980	1,590	〃	〃	平成元.3 ポ H15
第2分団第4部	ニッサン 4年	〃	-	〃	4.72	1.69	2.35	2,130	1,620	〃	〃	平成4.12 ポ H15
第2分団第5部	ニッサン 2年	〃	-	〃	4.69	1.69	2.25	2,050	1,620	〃	〃	平成2.11 ポ H16
第3分団第1部	いすゞ 8年	森田	CD -	A - 2	5.48	1.88	2.45	3,860	4,570	軽油	〃	平成8.11
第3分団第2部	ニッサン 4年	石川島 芝浦	-	B - 3	4.72	1.69	2.35	2,130	1,620	ガソリン	〃	平成4.12 ポ H16
第3分団第3部	いすゞ 4年	森田	CD -	A - 2	5.10	1.88	2.40	3,680	4,330	軽油	〃	平成4.9
第3分団第4部	ニッサン 3年	石川島 芝浦	-	B - 3	4.71	1.69	2.26	1,980	1,620	ガソリン	〃	平成3.9 ポ H16
第3分団第5部	ニッサン 元年	〃	-	〃	4.69	1.69	2.30	2,000	1,590	〃	〃	平成元.3 ポ H15
第3分団第6部	ニッサン 6年	〃	-	〃	4.72	1.69	2.35	2,130	1,620	〃	〃	平成6.11 ポ H16
第3分団第7部	ニッサン 5年	〃	-	〃	4.68	1.69	2.29	2,140	1,620	〃	〃	平成5.8 ポ H16

(4) 消防団員の定員及び実員

階級 区分	計	団 長	支団長	副団長	本部員	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
定 員	679	1	1	5	9	23	23	58	85	474
実 員	563	1	1	5	9	23	22	56	82	364

(5) 消防団員報酬手当

階級 区分	団 長	支団長	副団長	本部員	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	備 考
報 酬	75,200	62,300	62,300	49,500	43,300	36,700	28,300	27,200	25,800	年 額
水 火 災 の 職 務	3,000 円以内									— 回 当 り
警 戒 の 職 務	1,500 円									
訓 練 の 職 務	1,500 円									
そ の 他 の 職 務	1,500 円									

(6) 消防団員配置状況 [土浦]

階 級 区 分		計	団 長	副団長	本部員	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
計		270	1	3	9	20	20	20	20	177
団 本 部		13	1	3	9					
第 一 方 面 隊	第 1 分団	14				1	1	1	1	10
	第 2 分団	13				1	1	1	1	9
	第 3 分団	12				1	1	1	1	8
	第 4 分団	10				1	1	1	1	6
	第 5 分団	7				1	1	1	1	3
	第 6 分団	12				1	1	1	1	8
第 二 方 面 隊	第 1 1 分団	10				1	1	1	1	6
	第 1 2 分団	15				1	1	1	1	11
	第 1 3 分団	15				1	1	1	1	11
	第 1 4 分団	15				1	1	1	1	11
	第 1 5 分団	14				1	1	1	1	10
	第 1 6 分団	10				1	1	1	1	6
	第 1 7 分団	15				1	1	1	1	11
第 三 方 面 隊	第 2 1 分団	13				1	1	1	1	9
	第 2 2 分団	13				1	1	1	1	9
	第 2 3 分団	15				1	1	1	1	11
	第 2 4 分団	12				1	1	1	1	8
	第 2 6 分団	12				1	1	1	1	8
	第 2 7 分団	15				1	1	1	1	11
	第 2 8 分団	15				1	1	1	1	11

[新治支団]

階 級 区 分		計	支団長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
計		293	1	2	3	2	36	62	187
団 本 部		8	1	2	3	2			
第 一 分 団	第 1 部	15					2	5	8
	第 2 部	17					2	3	12
	第 3 部	14					2	3	9
	第 4 部	21					2	5	14
	第 5 部	13					2	3	8
	第 6 部	9					2	3	4
第 二 分 団	第 1 部	15					2	3	10
	第 2 部	16					2	3	11
	第 3 部	18					2	3	13
	第 4 部	15					2	3	10
	第 5 部	14					2	3	9
第 三 分 団	第 1 部	22					2	5	15
	第 2 部	23					2	3	18
	第 3 部	24					2	5	17
	第 4 部	15					2	3	10
	第 5 部	11					2	3	6
	第 6 部	10					2	3	5
	第 7 部	13					2	3	8

(7) 消防団員勤続年数調

階級 年数	計	団長	支団長	副団長	本部員	分団長	副分団長	部長	班長	団員
計	563	1	1	5	9	23	22	56	82	364
5年未満	212						1	7	18	186
5年以上 10年未満	157					2	2	19	47	87
10年以上 15年未満	108					6	6	21	11	64
15年以上 20年未満	48				4	4	8	8	4	20
20年以上 25年未満	25				1	10	5	1	2	6
25年以上 30年未満	6			2	3					1
30年以上	7	1	1	3	1	1				

(8) 消防団員年齢別調

階級 年齢	計	団長	支団長	副団長	本部員	分団長	副分団長	部長	班長	団員
計	563	1	1	4	9	23	22	56	82	364
18歳～20歳	4									4
21歳～25歳	47								3	44
26歳～30歳	140						1	8	24	107
31歳～35歳	178						2	24	33	119
36歳～40歳	129					9	9	18	14	79
41歳～45歳	41				3	8	9	4	7	10
46歳～50歳	14				3	6	1	2	1	1
51歳～55歳	4			2	2					
56歳～60歳	3			1	2					
60歳以上	3	1	1	1						

(9) 消防団員職業構成別調

階級 区分	計	団長	支団長	副団長	本部員	分団長	副分団長	部長	班長	団員
計	563	1	1	5	9	23	22	56	82	364
農業	33		1	2		4		2	3	21
鉱業										
建設業	55			1	2	3	1	11	3	34
製造業	93	1				7	5	7	10	63
電気ガス熱供給水道業	8								1	7
運輸・通信業	23							2	1	20
卸売り・小売業・飲食	72			1	5	5	5	6	6	44
金融・保険業	6						1	1	2	2
不動産業	1									1
サービス業	205			1	1	3	10	23	40	127
公務 他に分類されないもの	33				1			2	7	23
その他	34					1		2	9	22

(10) 消防団員就業形態別調

階級 区分	計	団長	支団長	副団長	本部員	分団長	副分団長	部長	班長	団員
計	563	1	1	5	9	23	22	56	82	364
被用者	320				1	11	11	34	58	205
(自営業者)被用者の ある業主	82			3	4	6	6	7	7	49
(自営業者)被用者の ない業主	86				4	2	5	13	12	50
家族従業者	34		1	2		4		2	2	23
役員	1	1								
家庭内職者	0									
その他	40								3	37

3 . 茨城県広域消防相互応援協定

応援部隊要請(派遣)基準(抜粋)

(1) 応援要請 (派遣を含む。)

他の消防機関の応援 (派遣) を必要とする場合は、次により行うものとする。

応援市町村等 (発災市町村等) の消防機関への要請 (派遣) 基準は、次のア、イのとおりとし、その順序で応援要請 (派遣) を行うものとする。ただし災害状況によって発災市町村等 (応援市町村等) の長が特に必要と認める場合は、上記要領順序を越えることができるものとする。

ア 隣接消防機関及び消防相互応援協定締結消防機関への要請 (派遣) 順序 (応援第 1 体制)

- (ア) 災害が拡大し、協定市町村の境界を越えて被害が及び恐れがある場合
- (イ) 災害の状況によって、保有消防力では災害防ぎょ等が困難または困難が予想される場合
- (ウ) 多数の人員、車両、資機材等あるいは特殊資機材等を必要とする場合
- (エ) 上記の他 (派遣) の必要がある場合

イ 茨城県内消防機関 (上記以外の消防機関とする。以下同じ) への要請 (派遣) 基準 (応援第 2 体制)

- (ア) 災害の拡大等によって、上記アの消防力を得てもなお消防力の不足が生じる場合
- (イ) 応援市町村等消防機関管轄区域内で災害等が発生し、上記アの応援が得られない場合
- (ウ) 上記の他応援要請 (派遣) の必要がある場合

(2) 土浦市の受援体制

出場区分 応援 出動区域 消防本部		一 般 災 害		特 殊 体 制		
		消 防 隊		救 急 隊		特殊隊
		第 1 体制	第 2 体制	第 1 体制	第 2 体制	第 1 体制
土 浦 市	つくば市	2 隊	1 隊	2 隊	1 隊	2 隊
	新治広域	2	1	1	1	
	阿見町	1		1		1
	石岡市	1	1	1	1	1
	稲敷広域	2	2	2	1	2
	伊奈町	1		1		
	常総広域	2	1	1	1	1
	小美玉広域	1	1	1	1	
	取手市	1	1		1	1
	西南広域	1	2			1
	茨城町		1			
	笠間広域		1			
合計	14	12	10	7	9	

(3) 土浦市からの応援体制

出場区分 出場区域	一 般 災 害		特 殊 体 制		
	消 防 隊		救 急 隊		特殊隊
	第 1 体制	第 2 体制	第 1 体制	第 2 体制	第 1 体制
水 戸 市		1			
日 立 市		1			
石 岡 市	1	1	1	1	1
ひたちなか市		2			
取 手 市	1	1	1	1	1
茨 城 町	1	1		2	1
阿 見 町	1	1	1	1	1
藤 代 町	1	1	1	1	1
伊 奈 町	1	1	1	1	1
鹿 島 南 部	1	1		2	1
筑 西 広 域	1	1	1	1	1
西 南 広 域	1	1	1	1	1
つ く ば 市	1	1	2		1
稲 敷 広 域	1	1	1	1	1
笠 間 広 域		1		1	
新 治 広 域	1	1	1	1	1
高 萩・日立市		1			
小 美 玉 広 域	1	1	1	1	1
鹿 行 広 域	1	1		2	1
常 総 広 域	1	1	1	1	1
合 計	1 5 区域 1 5 隊	2 0 区域 2 1 隊	1 2 区域 1 3 隊	1 5 区域 1 8 隊	1 5 区域 1 5 隊

4. 自主防災組織結成状況

番号	名 称	結 成 年 月 日
1	川口町自主防災会	昭和56年09月26日
2	大和町自主防災会	昭和56年10月01日
3	小岩田町自主防災会	昭和57年02月12日
4	右朧町3区自主防災会	昭和57年04月23日
5	桜町一丁目自主防災会	昭和58年05月19日
6	神立中央三丁目自主防災会	昭和58年01月01日
7	桜ヶ丘町自主防災会	昭和58年09月14日
8	並木三丁目自主防災会	昭和58年09月27日
9	真鍋四丁目自主防災会	昭和59年03月06日
10	中神立町自主防災会	昭和60年03月08日
11	右朧町4区自主防災会	昭和60年07月01日
12	中村南一丁目自主防災会	昭和60年09月28日
13	佐野子町自主防災会	昭和62年08月03日
14	中村東町自主防災会	平成04年03月17日
15	乙戸町自主防災会	平成05年02月27日
16	中村南二丁目自主防災会	平成06年03月01日
17	まりやま新町自主防災会	平成06年10月01日
18	白鳥町自主防災会	平成07年01月08日
19	中貫町自主防災会	平成07年04月01日
20	中村町6区自主防災会	平成07年04月01日
21	田中一丁目自主防災会	平成07年05月01日
22	大町自主防災会	平成07年05月25日
23	右朧町1区自主防災会	平成07年06月01日
24	蓮河原町自主防災会	平成07年06月11日
25	大手町自主防災会	平成07年07月01日
26	蓮河原新町自主防災会	平成07年07月01日
27	粟野町自主防災会	平成07年07月01日
28	立田町自主防災会	平成07年07月01日
29	矢作町自主防災会	平成07年07月01日
30	生田町自主防災会	平成07年07月01日
31	千束町自主防災会	平成07年07月01日
32	千鳥ヶ丘自主防災会	平成07年07月01日
33	田中三丁目自主防災会	平成07年07月01日
34	荒川沖西二丁目自主防災会	平成07年07月01日
35	下高津四丁目自主防災会	平成07年07月02日
36	永国東町自主防災会	平成07年07月07日
37	烏山一丁目自主防災会	平成07年07月08日
38	東崎町自主防災会	平成07年07月16日

39	沖宿町自主防災会	平成07年07月20日
40	下高津一丁目自主防災会	平成07年07月20日
41	上高津・上高津新町自主防災会	平成07年07月21日
42	国分町自主防災会	平成07年07月23日
43	港町三丁目自主防災会	平成07年07月23日
44	乙戸南二丁目自主防災会	平成07年07月23日
45	西根西一丁目自主防災会	平成07年07月31日
46	荒川沖西一丁目自主防災会	平成07年08月01日
47	中央二丁目自主防災会	平成07年08月01日
48	小岩田東二丁目自主防災会	平成07年08月01日
49	中村南三丁目自主防災会	平成07年08月01日
50	神立中央一・二丁目自主防災会	平成07年08月01日
51	小松ヶ丘町自主防災会	平成07年08月01日
52	中村南六丁目自主防災会	平成07年08月01日
53	富士崎一・二丁目自主防災会	平成07年08月01日
54	下高津三丁目自主防災会	平成07年08月01日
55	桜町二丁目自主防災会	平成07年08月01日
56	菅谷町自主防災会	平成07年08月11日
57	荒川沖西三丁目自主防災会	平成07年09月01日
58	中高津自主防災会	平成07年09月02日
59	北荒川沖町自主防災会	平成07年09月09日
60	荒川沖南区自主防災会	平成07年10月01日
61	東都和自主防災会	平成07年10月01日
62	小山田町自主防災会	平成07年10月15日
63	都和一・四丁目自主防災会	平成07年11月01日
64	城北町自主防災会	平成07年11月01日
65	田村町自主防災会	平成07年11月01日
66	手野町自主防災会	平成07年11月06日
67	中央一丁目自主防災会	平成07年11月25日
68	桜町三丁目自主防災会	平成07年12月01日
69	乙戸南一丁目自主防災会	平成08年01月28日
70	港町一・二丁目自主防災会	平成08年02月13日
71	文京町自主防災会	平成08年04月01日
72	乙戸南三丁目自主防災会	平成08年04月01日
73	荒川沖東二丁目自主防災会	平成08年04月01日
74	湖北町自主防災会	平成08年04月21日
75	富士崎一丁目ダイヤパレス土浦自主防災会	平成07年07月01日
76	荒川沖東三丁目自主防災会	平成08年06月01日

77	西根町1区自主防災会	平成08年07月01日
78	真鍋新町自主防災会	平成08年04月01日
79	烏山二丁目自主防災会	平成08年07月01日
80	まりやま団地自主防災会	平成08年04月01日
81	真鍋二丁目自主防災会	平成08年08月01日
82	中荒川沖町自主防災会	平成08年10月01日
83	木田余東台三・四・五丁目自主防災会	平成08年11月01日
84	田中二丁目自主防災会	平成08年04月01日
85	西真鍋町自主防災会	平成08年11月01日
86	荒川沖東一丁目自主防災会	平成08年09月01日
87	神立中央四丁目自主防災会	平成08年11月01日
88	霞ヶ岡町自主防災会	平成08年12月01日
89	真鍋六丁目自主防災会	平成09年01月01日
90	東真鍋町自主防災会	平成09年01月01日
91	木田余町3区自主防災会	平成09年01月01日
92	今泉町自主防災会	平成09年01月03日
93	天川町自主防災会	平成09年01月03日
94	真鍋三丁目自主防災会	平成08年04月20日
95	殿里町自主防災会	平成09年02月01日
96	烏山自主防災会	平成09年03月24日
97	東並木町自主防災会	平成09年02月24日
98	並木一丁目自主防災会	平成09年03月01日
99	大岩田2区自主防災会	平成09年03月30日
100	飯田町自主防災会	平成09年03月01日
101	真鍋五丁目自主防災会	平成09年04月01日
102	常名町自主防災会	平成09年04月01日
103	中都町自主防災会	平成09年04月01日
104	笠師町自主防災会	平成09年04月01日
105	並木二丁目自主防災会	平成09年04月25日
106	西並木町自主防災会	平成09年04月01日
107	下高津二丁目自主防災会	平成09年06月01日
108	真鍋一丁目自主防災会	平成09年06月01日
109	神立1区西自主防災会	平成09年04月01日
110	桜町四丁目自主防災会	平成09年04月18日
111	小松一・二・三丁目自主防災会	平成09年08月18日
112	並木四丁目自主防災会	平成09年09月24日
113	板谷町自主防災会	平成09年04月01日
114	白鳥新町自主防災会	平成09年10月01日
115	小岩田西一丁目自主防災会	平成09年08月11日
116	西根南一丁目自主防災会	平成09年08月01日
117	都和二丁目自主防災会	平成09年11月01日

118	右朧町5区自主防災会	平成09年11月01日
119	神立東一・二丁目自主防災会	平成09年11月21日
120	西根町3区自主防災会	平成09年11月09日
121	中村南四丁目自主防災会	平成09年11月15日
122	神立町1区中自主防災会	平成09年04月01日
123	大岩田町1区自主防災会	平成09年11月16日
124	木田余1区自主防災会	平成09年11月01日
125	若松町自主防災会	平成09年12月01日
126	西根南二丁目自主防災会	平成09年04月27日
127	神立町1区東自主防災会	平成09年12月01日
128	木田余東台一・二丁目自主防災会	平成09年12月25日
129	虫掛町自主防災会	平成10年01月01日
130	中村南五丁目自主防災会	平成10年01月20日
131	西根南三丁目自主防災会	平成10年11月01日
132	永国町自主防災会	平成10年11月06日
133	右朧町2区自主防災会	平成10年12月01日
134	エス・バエ・イルマンション土浦自主防災会	平成10年11月01日
135	神立中央五丁目自主防災会	昭和58年01月01日
136	滝田一・二丁目自主防災会	平成07年06月11日
137	ホーユウパレス自主防災会	平成14年10月01日
138	大岩田町自主防災会	平成14年10月01日
139	永国台自主防災会	平成14年10月01日
140	イーストガーデン自主防災会	平成15年10月18日
141	粕毛町自主防災会	平成17年03月31日
142	木田余2区自主防災会	平成17年11月04日

救急救助編

(1) 救 急

平成18年中の救急出場は6,739件、搬送人員6,211人であり、前年と比べると出場件数で594件、搬送人員で419人増加している。

救急隊1日当たりの平均出場件数は18.5件(前年16.8件)で市民23人(前年23人)に1人が救急隊によって医療機関へ搬送されたことになる。

事故種別ごとに見ると、急病3,932件(構成比58.3%)、交通事故1,011件(同15.0%)、一般負傷897件(同13.3%)、転院搬送397件(同5.9%)の順となっている。

(2) 救 助

平成18年中の救助出動件数は、110件(交通事故50件、建物火災14件、その他46件)で、救助人員は41人である。

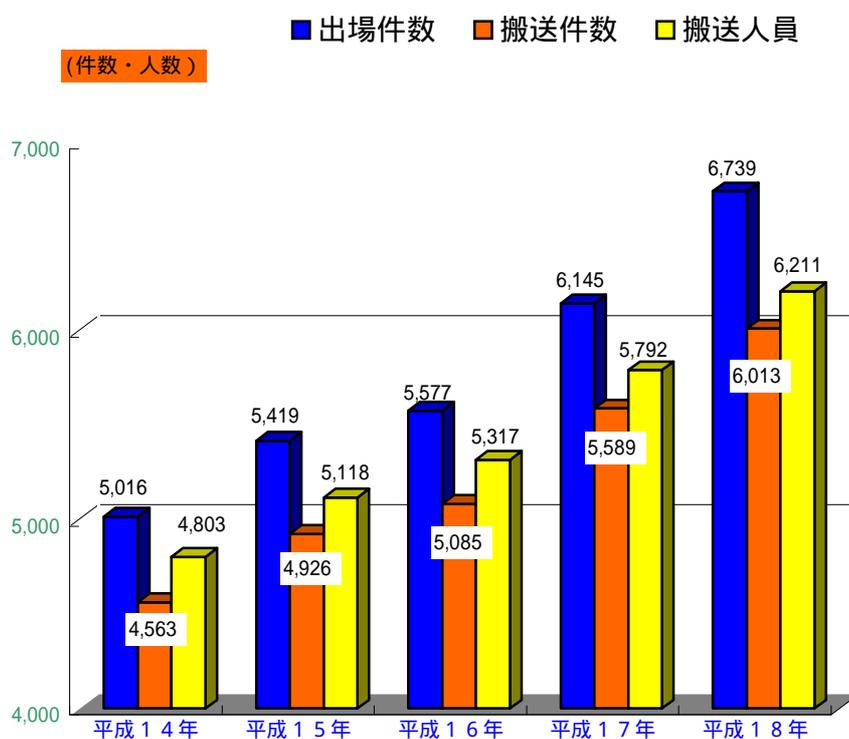
また、救助活動を実施した隊員数は述べ431人に及んだ。

1 . 平成 1 8 年中救急発生概要

出 場 件 数	6,739 件
搬 送 件 数	6,013 件
不 搬 送 件 数	726 件
搬 送 人 員	6,211 人
死 亡	80 人
重 症	436 人
中 等 症	1,885 人
軽 症	3,809 人
そ の 他	1 人

平成 1 8 年 2 月 2 0 日(新治村との合併)以前も含まれる。

2 . 救急出場件数等の推移

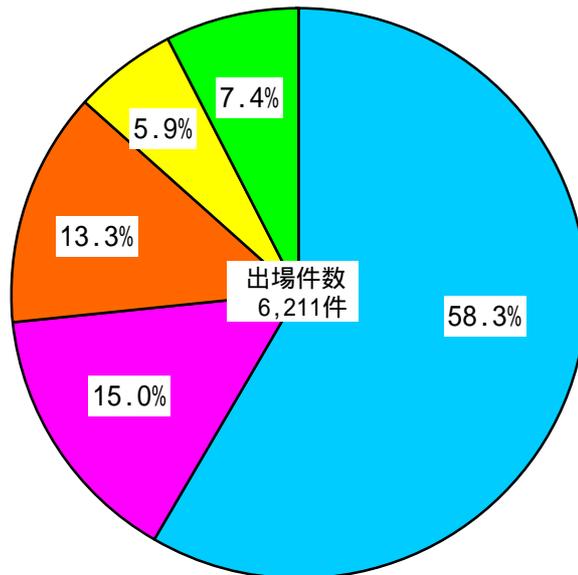


区 分	平成 1 4 年	平成 1 5 年	平成 1 6 年	平成 1 7 年	平成 1 8 年
出場件数	5,016	5,419	5,577	6,145	6,739
搬送件数	4,563	4,926	5,085	5,589	6,013
搬送人員	4,803	5,118	5,317	5,792	6,211

3 . 事故種別救急活動状況

事故種別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他
出場件数	6,739	35		9	1,011	48	35	897	75	120	3,932	397		1	179
搬送件数	6,013	6		6	955	47	34	831	69	77	3,593	393			2
不搬送件数	726	29		3	56	1	1	66	6	43	339	4		1	177
搬送人員	6,211	7		6	1,140	48	35	833	73	77	3,597	393			2

■ 急病
 ■ 交通事故
 ■ 一般負傷
 ■ 転院搬送
 ■ その他

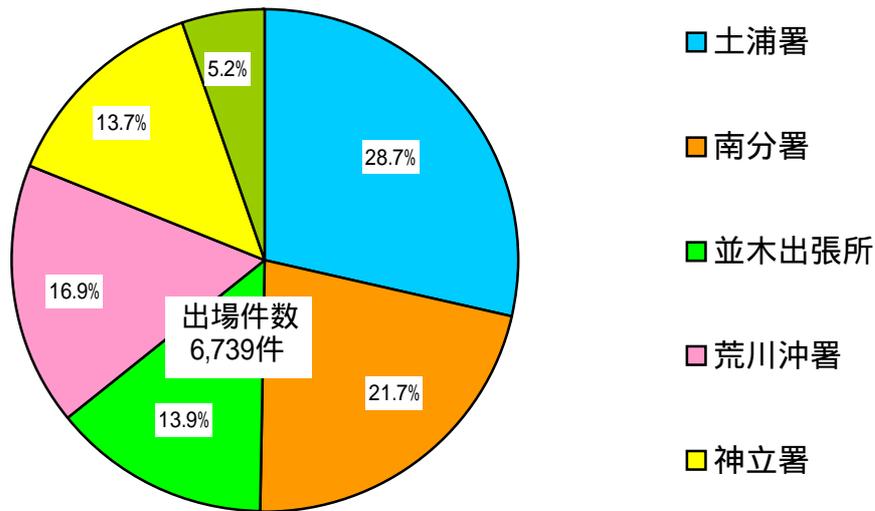


事故種別	出場件数	構成比
急病	3,932 件	58.3%
交通事故	1,011 件	15.0%
一般負傷	897 件	13.3%
転院搬送	397 件	5.9%
その他	502 件	7.4%

4. 事故種別所属別出場件数

(単位：件)

事故種別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他
土浦署	1,932	24		4	276	10	11	259	26	33	1,049	147		1	92
南分署	1,461	2		4	199	6	7	188	12	28	891	97			27
並木出張所	934	7			156	6	3	117	13	10	540	56			26
荒川沖署	1,141	2			169	14	5	155	15	18	698	51			14
神立署	921			1	163	10	7	124	9	21	540	36			10
新治署	350				48	2	2	54		10	214	10			10
合計	6,739	35		9	1,011	48	35	897	75	120	3,932	397		1	179



	出場件数	構成比
土浦署	1,932 件	28.7%
南分署	1,461 件	21.7%
並木出張所	934 件	13.9%
荒川沖署	1,141 件	16.9%
神立署	921 件	13.7%
新治署	350 件	5.2%

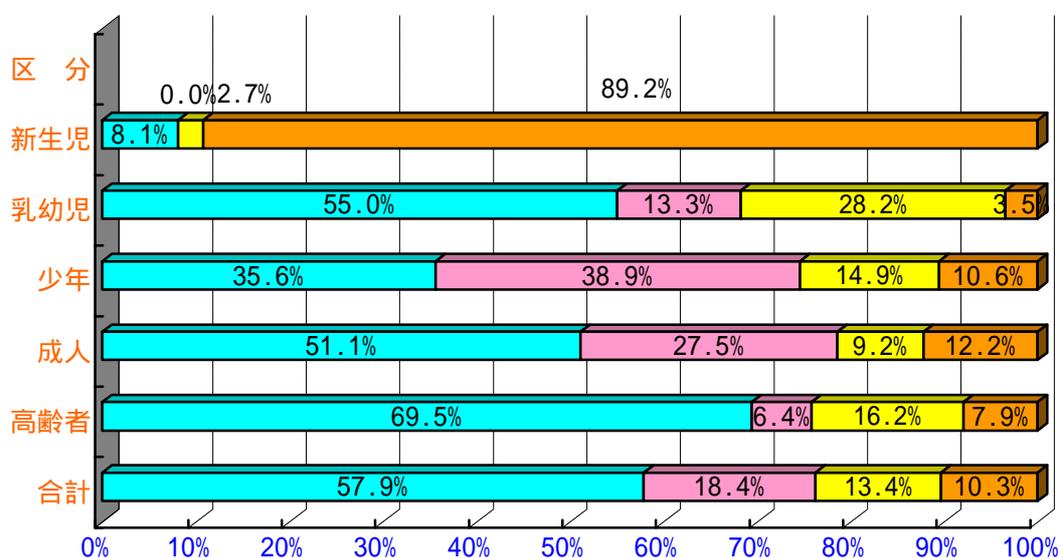
5 . 事故種別年令別搬送人員

(単位：人)

事故種別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
新生児	37							1			3	33
乳幼児	347	1			46			98			191	11
少年	303				118		19	45	5	5	108	3
成人	2,956	6		2	812	43	15	272	62	66	1,511	167
高齢者	2,568			4	164	5	1	417	6	6	1,784	181
合計	6,211	7		6	1,140	48	35	833	73	77	3,597	395

新生児：生後28日未満，乳幼児：28日～7歳未満，少年：7歳～18歳未満
成人：18歳～65歳未満，高齢者：65歳以上

■急病 ■交通事故 ■一般負傷 ■その他



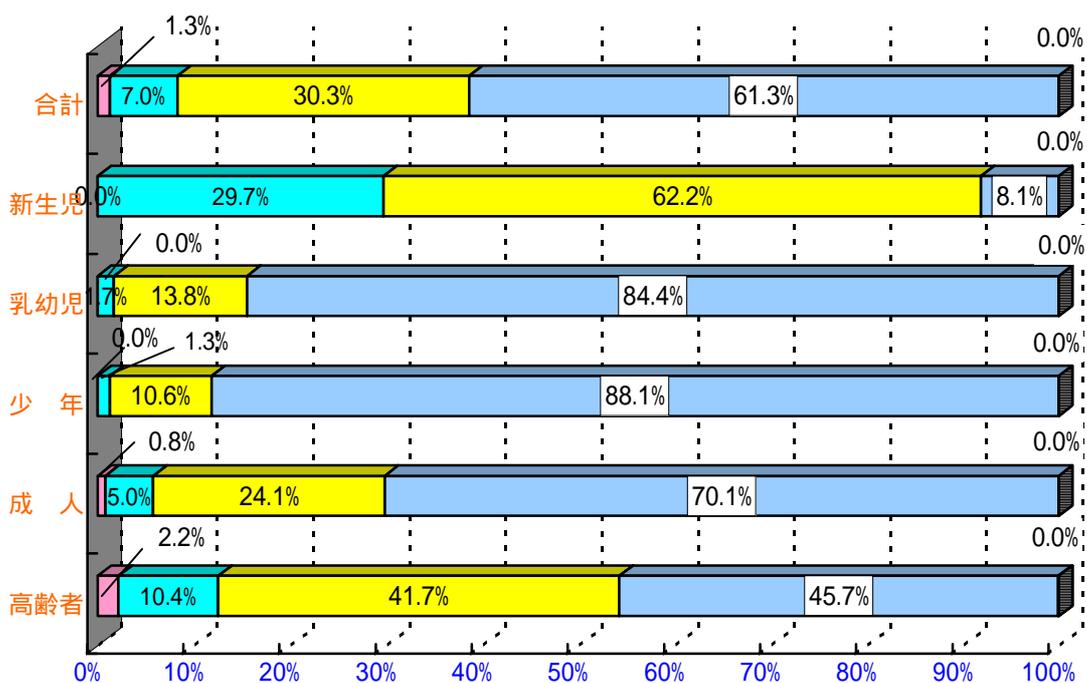
6. 程度別年令別搬送人員

(単位：人)

程度	年令					
	合計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
死亡	80				24	56
	1.3%				0.8%	2.2%
重症	436	11	6	4	148	267
	7.0%	29.7%	1.7%	1.3%	5.0%	10.4%
中等症	1,885	23	48	32	711	1,071
	30.3%	62.2%	13.8%	10.6%	24.1%	41.7%
軽症	3,809	3	293	267	2,073	1,173
	61.3%	8.1%	84.4%	88.1%	70.1%	45.7%
その他	1					1
	0.02%					2.7%
合計	6,211	37	347	303	2,956	2,568
	100%	0.6%	5.6%	4.9%	47.6%	41.3%

下段は構成比

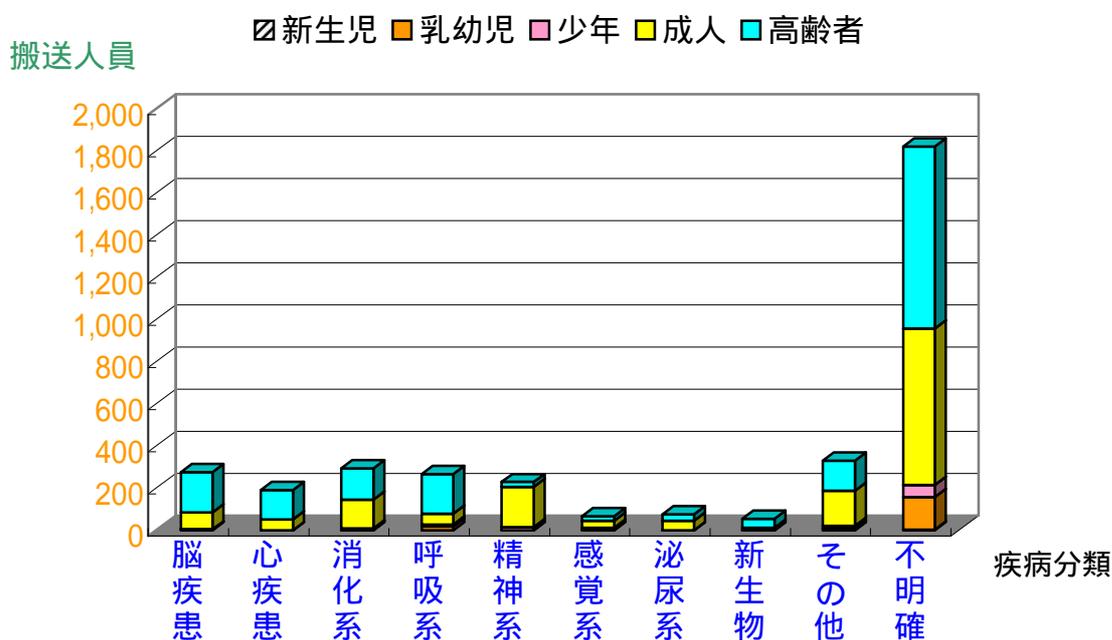
■程度 ■死亡 ■重症 ■中等症 ■軽症 ■その他



7. 急病にかかる年令別疾病分類別搬送人員

(単位：人)

疾病分類 区分	循環系		消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確	合計
	脳疾患	心疾患									
新生児										3	3
乳幼児	2		4	18		3			9	155	191
少年	2		4	8	16	9			13	56	108
成人	81	52	138	52	190	34	44	13	164	743	1,511
高齢者	191	138	148	187	22	20	32	42	143	861	1,784
合計	276	190	294	265	228	66	76	55	329	1,818	3,597
構成比	7.7%	5.3%	8.2%	7.4%	6.3%	1.8%	2.1%	1.5%	9.1%	50.5%	100%



8 . 各署所別現場到着所要時間

時間 署所別	3分未満	3分以上	5分以上	10分以上	20分以上	合計	現場到着 平均所要 時間(分)
		5分未満	10分未満	20分未満			
土浦署	88	758	967	117	2	1932	5.3
南分署	74	422	905	58	2	1461	5.4
並木出張所	27	212	592	103		934	6.3
荒川沖署	52	368	691	30		1141	5.2
神立署	45	237	520	118	1	921	6.1
新治署	14	55	225	53	3	350	6.9
合計	300	2052	3900	479	8	6739	5.7
構成比	4.5%	30.4%	57.9%	7.1%	0.1%	100.0%	

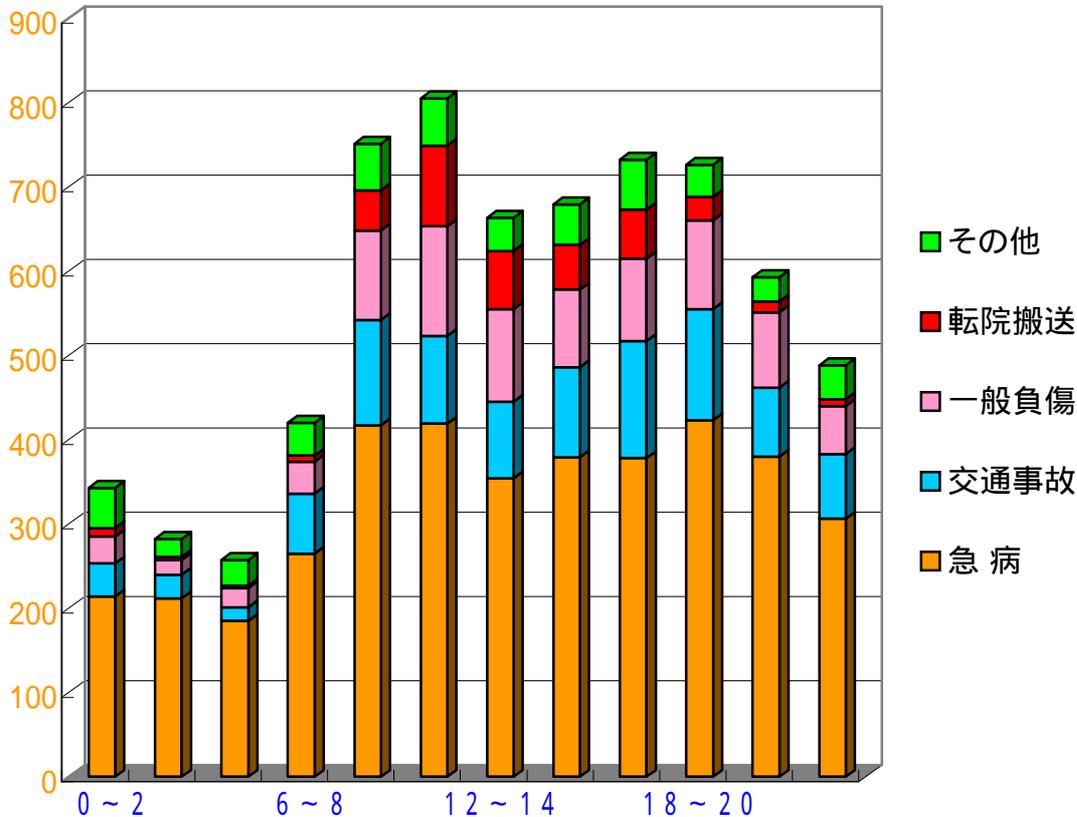
9 . 各署所別收容時間別搬送人員

時間 署所別	10分未満	10分以上	20分以上	30分以上	60分以上	120分	合計	現場到着 平均所要 時間(分)
		20分未満	30分未満	60分未満	120分未満	以上		
土浦署	5	457	850	361	20	1	1694	5.3
南分署	7	293	752	302	8	1	1363	5.4
並木出張所	2	122	480	229	6	0	839	6.3
荒川沖署	2	184	610	283	3	1	1083	5.2
神立署	3	148	427	319	3	0	900	6.1
新治署	0	13	106	212	1	0	332	6.9
合計	19	1217	3225	1706	41	3	6208	5.7
構成比	0.3%	19.6%	51.9%	27.5%	0.7%	0.0%	100.0%	

10. 時間別事故種別出場件数

(単位：件)

事故種別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他
0 ~ 2	343	4			39	1		32	17	7	214	10			19
2 ~ 4	282				28			17	7	3	212	4			11
4 ~ 6	257				16			23	8	9	185	3			13
6 ~ 8	420	4		2	71	1		38	6	12	265	7			14
8 ~ 10	751	1		1	125	9	4	106	3	11	417	48			26
10 ~ 12	805	7		1	104	10	11	130	1	13	419	96			13
12 ~ 14	663	4		1	91	6	4	110	1	7	354	69			16
14 ~ 16	679	3			107	8	8	92	2	12	379	53			15
16 ~ 18	732	4		1	139	8	5	98	4	20	378	58			17
18 ~ 20	726	2		2	132	1	2	105	11	9	423	28		1	10
20 ~ 22	593	4			82	1	1	89	8	6	380	13			9
22 ~ 24	488	2		1	77	3		57	7	11	306	8			16
合計	6,739	35	0	9	1,011	48	35	897	75	120	3,932	397	0	1	179

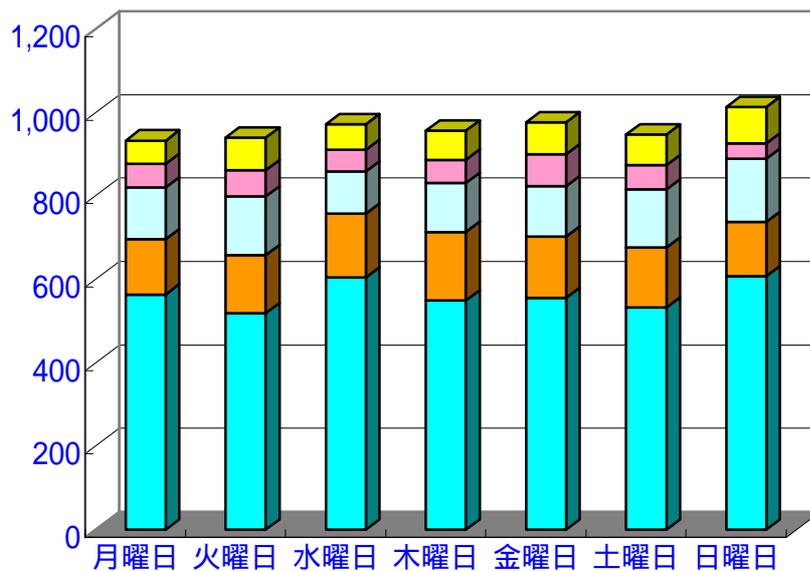


11. 曜日別事故種別出場件数

(単位:件)

事故種別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他
月曜日	933	3		1	133	5	2	124	6	17	564	56			22
火曜日	940	8		1	139	14	5	141	5	22	519	63			23
水曜日	972	3		3	153	4	3	102	6	20	604	52			22
木曜日	957	3		1	165	5		117	16	19	549	56		1	25
金曜日	977	6			146	12	4	122	15	15	556	76			25
土曜日	947	10		2	144	7	6	139	13	12	533	58			23
日曜日	1,013	2		1	131	1	15	152	14	15	607	36			39
合計	6,739	35	0	9	1,011	48	35	897	75	120	3,932	397	0	1	179

■ 急病 ■ 交通事故 □ 一般負傷 ■ 転院搬送 ■ その他

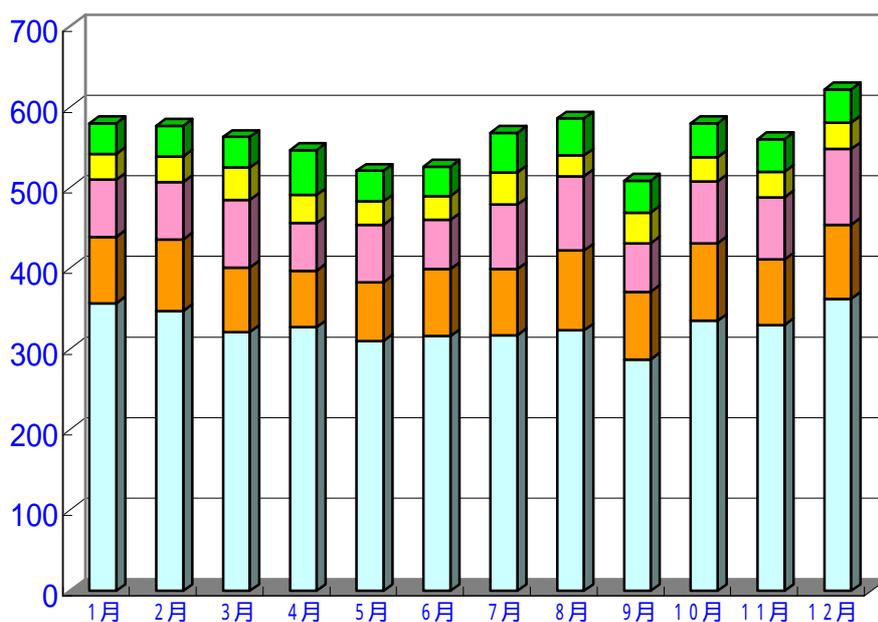


1 2 . 月別事故種別出場件数

(単位：件)

事故種別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他
1月	580	7			82	3	1	71	2	5	357	32			20
2月	577	3		1	89	3	1	71	6	7	347	32		1	16
3月	563	8		1	80	2	1	84	4	11	321	40			11
4月	547	2		2	70	6	5	59	9	13	327	35			19
5月	521	2			73		1	71	5	17	310	29			13
6月	526	2			83	2	4	61	5	8	316	30			15
7月	568	3		1	82	2	3	80	9	7	317	40			24
8月	586			2	99	5	6	92	7	7	323	26			19
9月	509	1		1	84	3	5	60	7	8	287	38			15
10月	580	1			96	8	5	77	7	13	335	30			8
11月	560	4		1	81	7	3	77	4	12	330	32			9
12月	622	2			92	7		94	10	12	362	33			10
合計	6,739	35	0	9	1,011	48	35	897	75	120	3,932	397	0	1	179

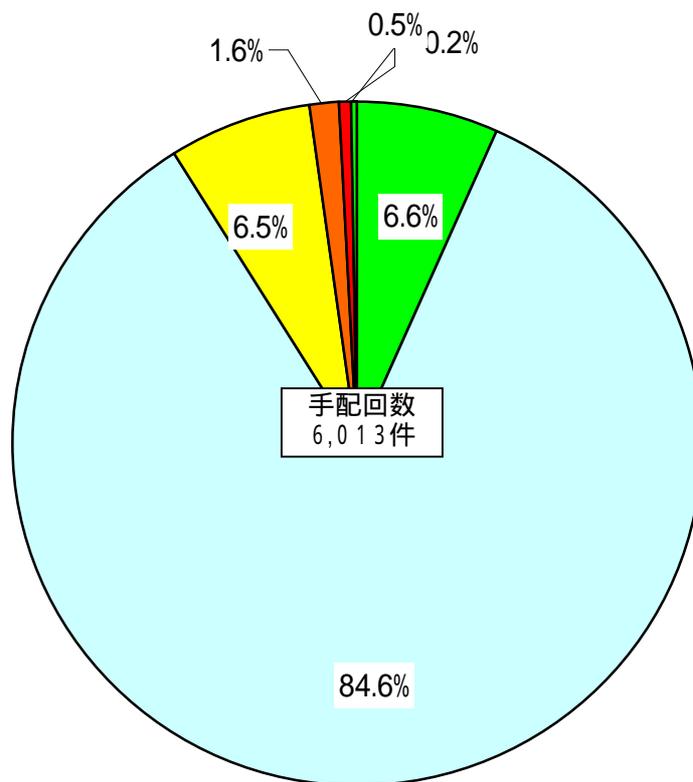
□急病 □交通事故 □一般負傷 □転院搬送 □その他



1 3 . 医療機関手配状況

手配回数	件 数	比率 %
依頼	395 件	6.6%
1 回	5,089 件	84.6%
2 回	391 件	6.5%
3 回	95 件	1.6%
4 回	33 件	0.5%
5 回以上	10 件	0.2%
計	6,013 件	100%

■ 依頼 ■ 1回 ■ 2回 ■ 3回 ■ 4回 ■ 5回以上



14. 救急隊の行った応急処置状況

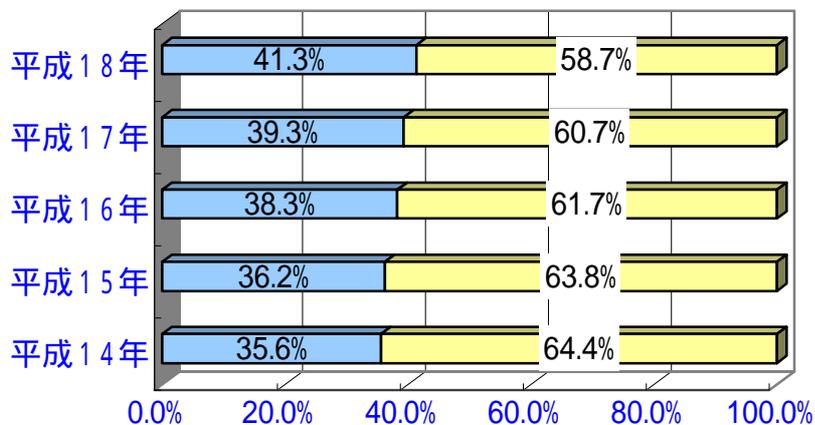
処置項目	事故種別	急	病	交通事故	一般負傷	その他	合計
	応急処置対象人員	3,597	1,140	833	641	6,211	
止血	23	135	144	50	352		
固定	29	680	167	58	934		
人工呼吸	13		1	5	19		
心マッサージ					0		
心肺蘇生	84	5	19	12	120		
うち自動心マッサージ器							
酸素吸入	1,146	71	87	187	1,491		
気道確保	174	7	26	24	231		
うち経鼻エアウェイ	11	1	1	4	17		
うち口頭鏡、マギール鉗子等	24	1	16	1	42		
うちLM、コンピ等	44	2	11	2	59		
気管挿管	15	1	2	3	21		
保温	2,989	509	513	450	4,461		
被覆	17	228	240	80	565		
在宅療法継続	13				13		
血圧保持	0				0		
除細動	13		2	1	16		
輸液(静脈路確保)	30	2	4	3	39		
その他の応急処置	3,125	631	609	435	4,800		
血圧測定	3,325	1,064	717	549	5,655		
心音・呼吸音聴取	1,256	227	144	134	1,761		
血中酸素飽和度測定	3,479	1,102	771	566	5,918		
心電図測定	1,565	100	98	159	1,922		
うち伝送					0		
合計	17,281	4,761	3,542	2,713	28,297		
特定行為実施件数	87	4	17	6	114		

15. 高齢者搬送状況の推移(65歳以上)

(単位：人)

区 分	全搬送人員	高齢者搬送人員	高 齢 者 搬 送 の 内 訳			
			急 病	交 通	一 般	そ の 他
平成14年	4,803	1,709	1,166	164	220	159
		35.6%	68.2%	9.6%	12.9%	9.3%
平成15年	5,118	1,855	1,267	127	269	192
		36.2%	68.3%	6.8%	14.5%	10.4%
平成16年	5,317	2,034	1,420	156	263	195
		38.3%	69.8%	7.7%	12.9%	9.6%
平成17年	5,792	2,278	1,597	118	349	214
		39.3%	70.1%	5.2%	15.3%	9.4%
平成18年	6,211	2,568	1,784	164	417	203
		41.3%	69.5%	6.4%	16.2%	7.9%

■ 高齢者搬送人員 ■ 以外



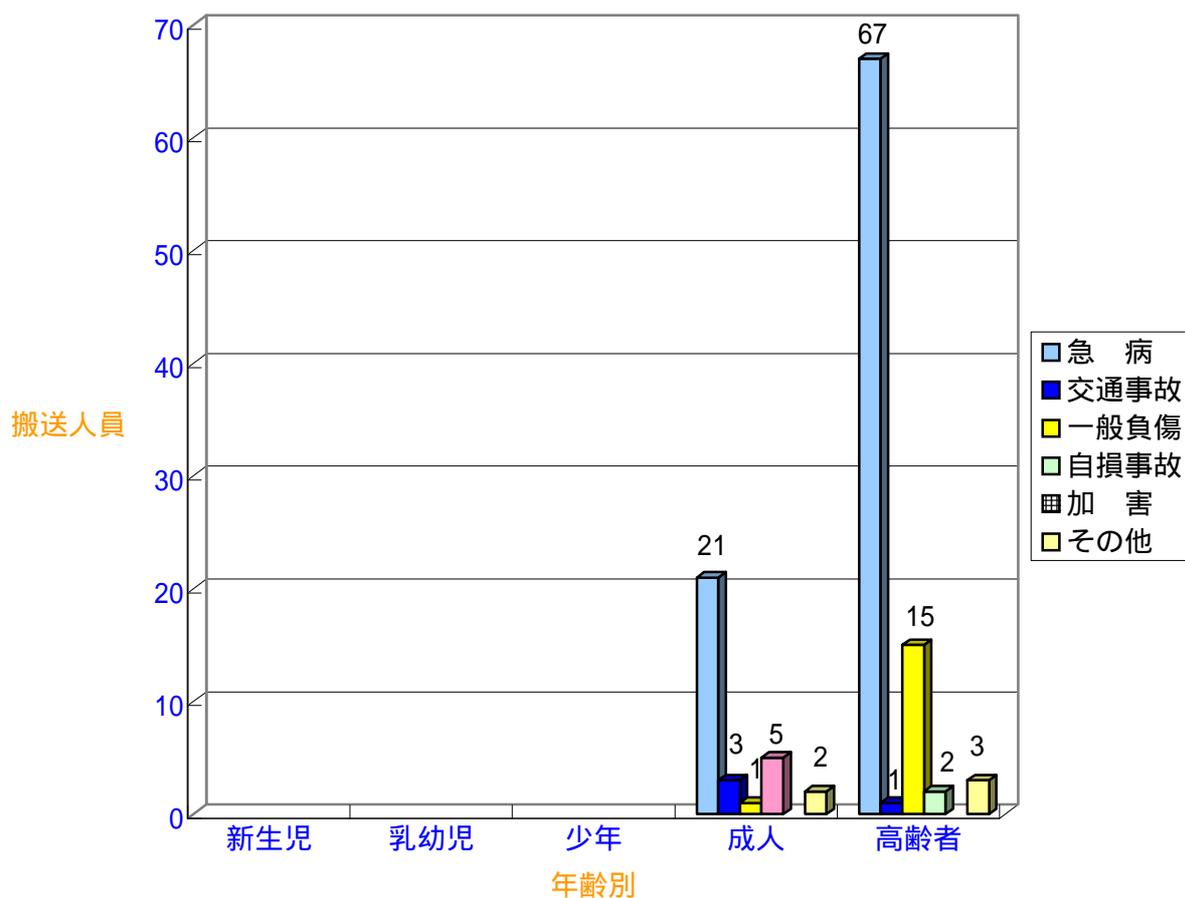
16. 医療機関別搬送件数及び搬送人員

区分	病 医 院 名	搬送件数	構成比	搬送人員	構成比
市 内 病 院	土 浦 協 同 病 院	3,387	56.3%	3,470	55.9%
	霞ヶ浦医療センター	384	6.4%	384	6.2%
	県 南 病 院	445	7.4%	498	8.0%
	神 立 病 院	234	3.9%	257	4.1%
	淀 縄 医 院	35	0.6%	35	0.6%
	野 上 胃 腸 病 院	25	0.4%	25	0.4%
	山 手 医 院	28	0.5%	28	0.5%
	土 浦 厚 生 病 院	12	0.2%	12	0.2%
	筑 波 東 病 院	9	0.1%	9	0.1%
	そ の 他	44	0.7%	46	0.7%
	小 計	4,603	76.6%	4,764	76.7%
市 外 病 院	東京医大霞ヶ浦病院	635	10.6%	657	10.6%
	筑波メディカル	281	4.7%	285	4.6%
	牛久愛和総合病院	105	1.7%	109	1.8%
	筑波大学付属病院	95	1.6%	97	1.6%
	筑波記念病院	91	1.5%	92	1.5%
	筑波学園病院	98	1.6%	100	1.6%
	筑波病院	31	0.5%	31	0.5%
	筑波セントラル病院	14	0.2%	14	0.2%
	つくば双愛病院	18	0.3%	19	0.3%
	そ の 他	42	0.7%	43	0.7%
	小 計	1,410	23.4%	1,447	23.3%
合 計	6,013	100%	6,211	100%	

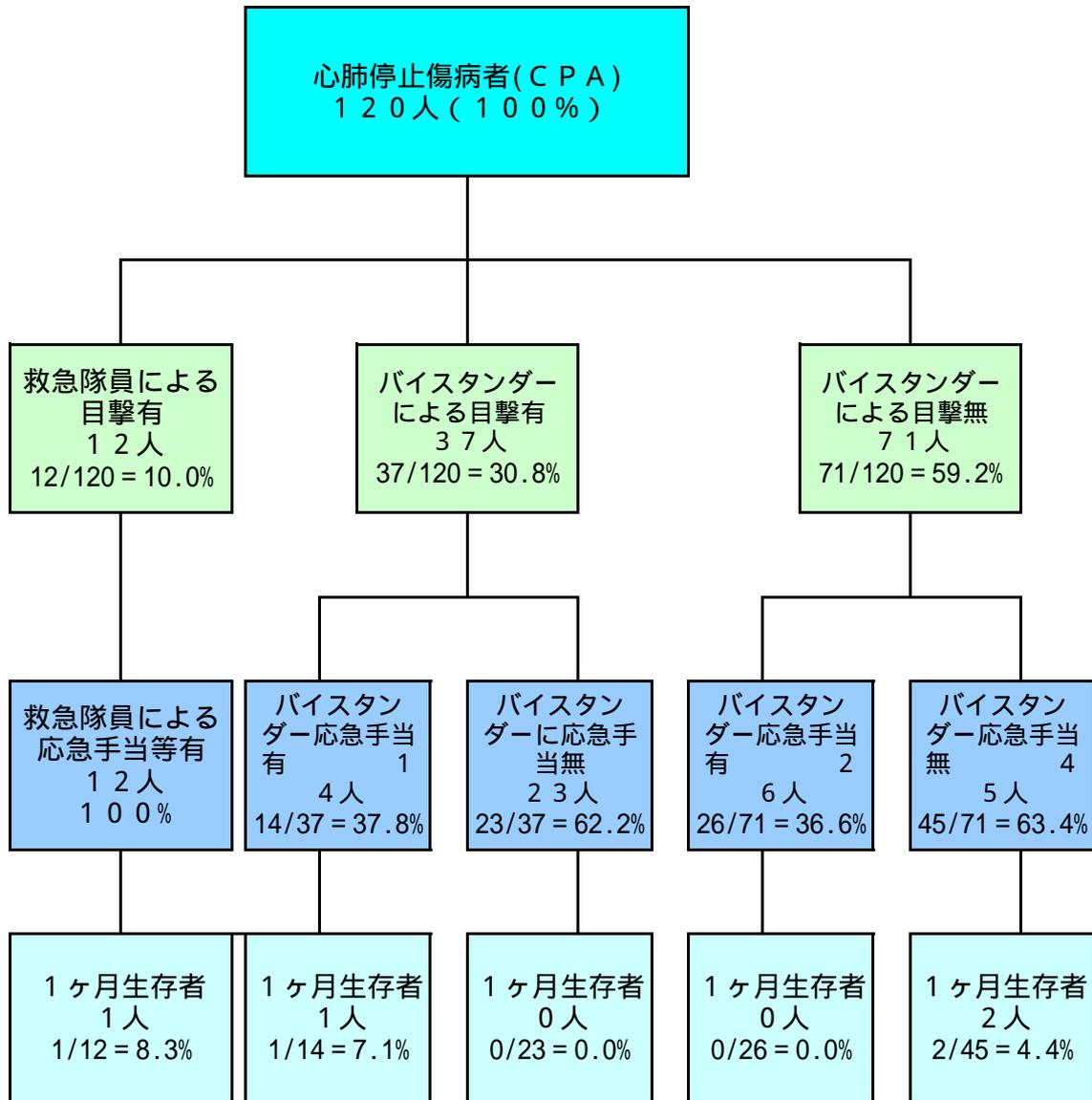
17. 心肺蘇生処置対象者の状況

(1) 年齢別事故種別搬送人員

	急病	交通事故	一般負傷	自損事故	加害	その他	合計	構成比
新生児							0	0.0%
乳幼児							0	0.0%
少年							0	0.0%
成人	21	3	1	5		2	32	26.7%
高齢者	67	1	15	2		3	88	73.3%
合計	88	4	16	7	0	5	120	
構成比	73.3%	3.3%	13.3%	5.8%	0.0%	4.2%		



(2) 心肺停止傷病者(C P A)の救命効果



目撃者有の1ヶ月生存率
2人 / 47人 = 4.3%

目撃者無1ヶ月生存率
2人 / 70人 = 2.9%

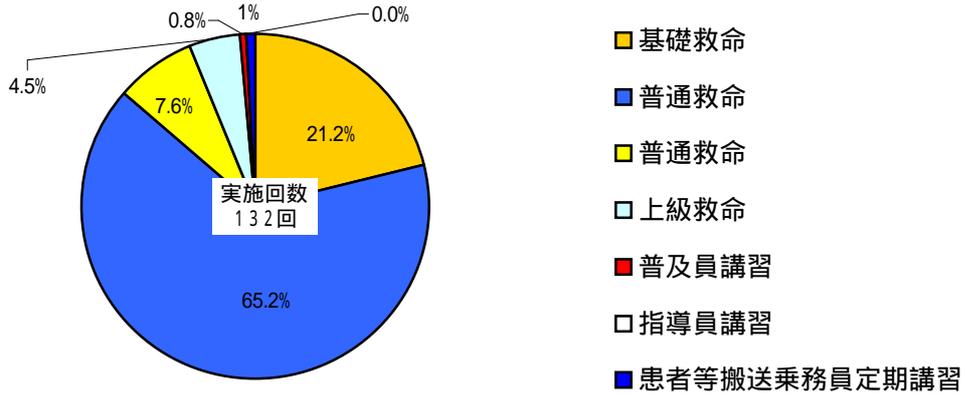
心肺停止傷病者(C P A) 117人の1ヶ月生存率
4人 / 117人 = 3.4%

18. 救急講習実施状況

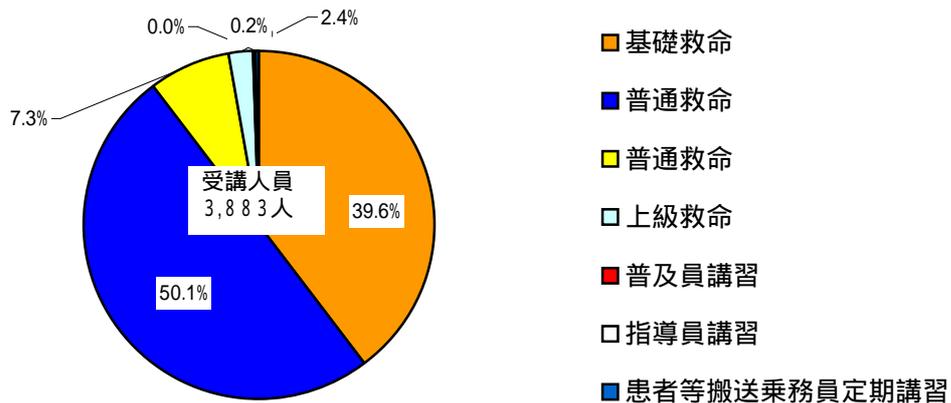
(1) 講習別実施状況

区分	基礎救命	普通救命	普通救命	上級救命	普及員講習	指導員講習	患者等搬送乗務員定期講習	合計
実施回数	28	86	10	6	1	0	1	132
受講人員	1,539	1,947	285	94	9	0	9	3,883
修了証発行数	0	1,771	283	86	3	0	0	2,143

受講人員と修了証発行数の差異は再講習を含むため



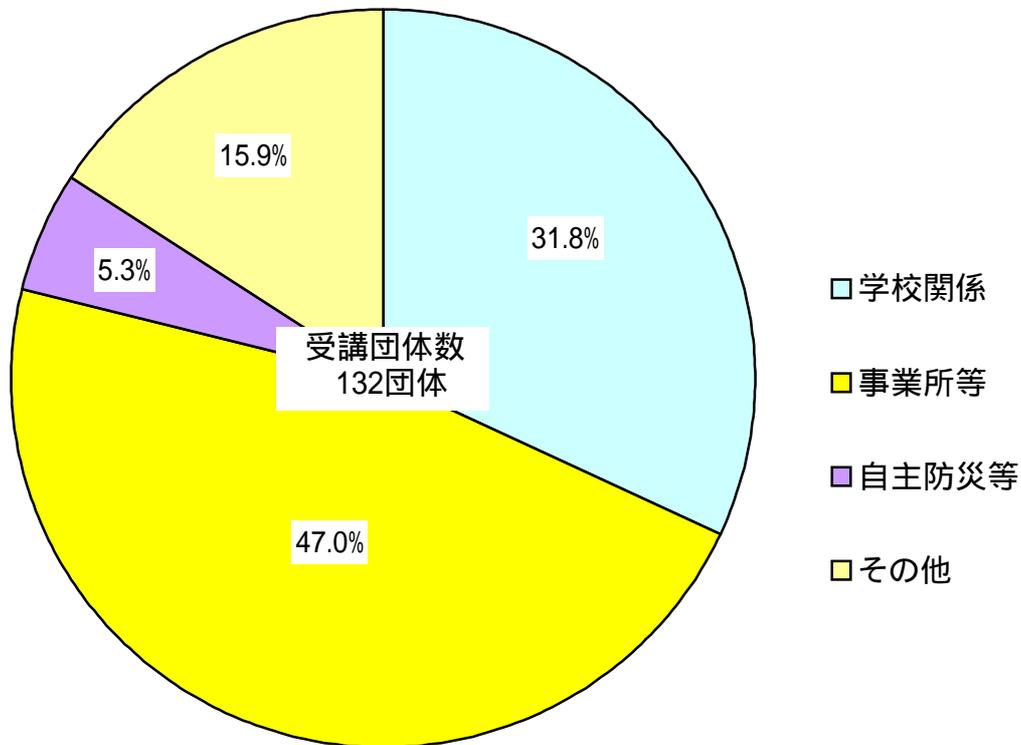
	実施回数	構成比
基礎救命	28	21.2%
普通救命	86	65.2%
普通救命	10	7.6%
上級救命	6	4.5%
普及員講習	1	0.8%
指導員講習	0	0.0%
患者等搬送乗務員定期講習	1	0.8%



	受講人員	構成比
基礎救命	1,539	39.6%
普通救命	1,947	50.1%
普通救命	285	7.3%
上級救命	94	2.4%
普及員講習	9	0.2%
指導員講習	0	0.0%
患者等搬送乗務員定期講習	9	0.2%

(2) 受講団体別実施状況

区 分	基礎救命	普通救命	上級救命	普 及 員 講	指 導 員 習	患者等搬送乗務員定期講習	合 計
学 校 関 係	13	29	0	0	0	0	42
事 業 所 等	4	52	6	0	0	0	62
自 主 防 災 等	4	3	0	0	0	0	7
そ の 他	7	12	0	1	0	1	21
合 計	28	96	6	1	0	1	132



	実施回数	構成比
学 校 関 係	42	31.8%
事 業 所 等	62	47.0%
自 主 防 災 等	7	5.3%
そ の 他	21	15.9%

19. 当市と全国の救急活動概要比較

区 分		土 浦 市	茨 城 県	全 国
出 場 件 数 (件)		6,739	103,644	5,277,936
前 年 比 増 加 率 (%)		9.7	7.5	4.9
人 口 1 万 人 当 り 出 場 件 数		467.8	348.0	413.4
事 故 種 別 構 成 比 (%)	急 病	58.3	58.5	60.0
	交 通	15.0	15.7	12.4
搬 送 人 員		6,211	99,530	4,955,976
搬送人員中の高齢者(65歳以上) の占める割合(%)		41.3	41.9	44.4
総人口中の高齢者の 占める割合(%)		17.8	19.4	21.0
管内に住所を有する者の割合		78.2	82.7	86.9
現場到着所要時間(分)		5.7	6.7	6.5
医療機関収容所要時間(分)		26.3	31.4	30.0
1回以上転送した搬送人員		13	668	35,122
全搬送人員中の転送率(%)		0.2	0.7	0.7
傷 病 程 度 別 割 合 (%)	死 亡	1.3	2.0	1.4
	重 症	7.0	10.1	9.7
	中 等 症	30.3	36.2	36.6
	軽 症	61.4	51.6	52.1
	そ の 他	0.02	0.1	0.2

茨城県・全国の数値は平成17年中

1 . 事故種別救助出動状況

区 分	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
救助出動件数	95	88	91	93	111
救助活動件数	46	42	42	41	44
救 助 人 員	40	44	34	30	42

2 . 事故種別救助出動状況

事故種別 件数及び人員	計	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
		建 物								
救助出動件数	111 (7)	14	5	51 (6)	5		3	4		29 (1)
救助活動件数	44	5		29	3			4		3
救 助 人 員	42	1		32	3			4		2

() は、高速自動車道

3 . 各署別救助出動件数

事故種別 各署別件数	計	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
		建 物								
土 浦 消 防 署	65	8	2	27	4		1	2		21
荒 川 沖 消 防 署	18	3		7	1		2	1		4
神 立 消 防 署	18	3	3	9				1		2
新 治 消 防 署	10			8						2
総 計	111	14	5	51	5		3	4		29

4 . 事故種別出動人員活動人員

(単位：人)

事故種別 区分		計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
			建 物	建 物 以 外								
出 動 人 員	専任救助隊員	68	5	3	25	4			3			28
	兼任救助隊員	40	7	3	10	1			1			18
	消 防 隊 員	148	33	10	20	9			3			73
	救 急 隊 員	87	6	3	42	6			3			27
	消 防 団 員											
	計	343	51	19	97	20			10			146
活 動 人 員	専任救助隊員	19	5	3	8							3
	兼任救助隊員	11	2	3	5							1
	消 防 隊 員	33	2	10	12							9
	救 急 隊 員	24			18	3						3
	消 防 団 員											
	計	87	9	16	43	3						16

5 . 事故種別発生場所別出動活動件数

() は活動件数 単位：件

事故種別 発生場所		計	火災		交通事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
			建 物	建 物 以 外								
屋 内	住居	5 (3)	2 (2)						1			2 (1)
	その他の屋内	1 (1)										1 (1)
屋 外	道路 高速自動車国道	1			1							
	道路 その他の道路	8 (5)		1 (1)	7 (4)							
	水面 内水面	1 (1)				1 (1)						
	水面 外水面											
	山岳											
	その他の屋外											
地下												
その他		6										6
計		22 (10)	2 (2)	1 (1)	8 (4)	1 (1)			1			9 (2)

6. 事故種別発生場所別救助人員

(単位：人)

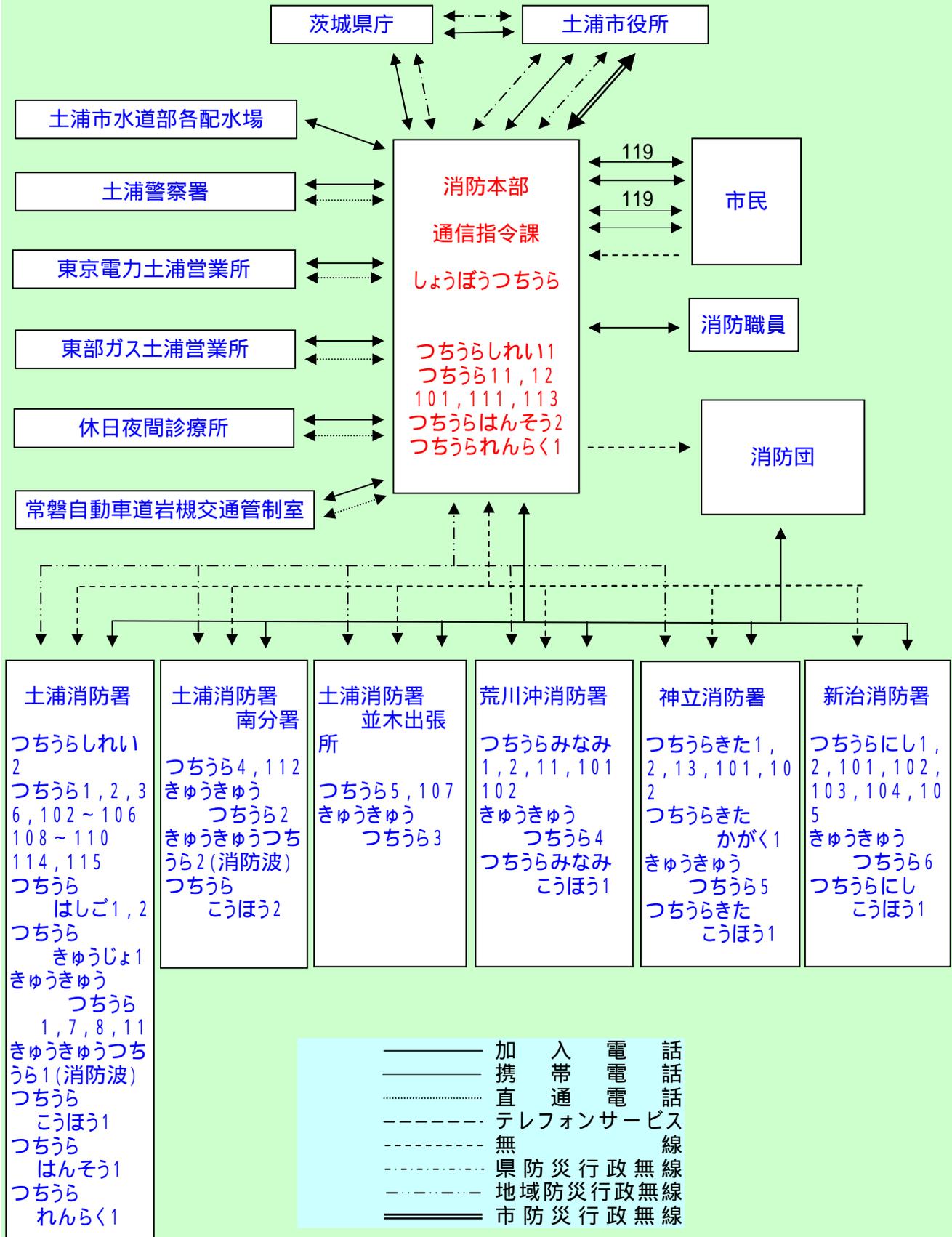
事故種別 発生場所		計	火災		交通事 故	水難事 故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事 故	その他の事 故
			建物	建物以外								
屋内	住居											
	その他の屋内	1										1
屋路	高速自動車国道											
	その他の道路	5			5							
水面	内水面	1				1						
	外水面											
外	山岳											
	その他の屋外											
地	下											
そ	の											
	他											
	計	7			5	1						1

通信指令編

平成18年度中の119番専用電話の受信件数は、12,617件で前年度と比べると1,462件(10%)減少している。

うち携帯電話からの通報は、受信方式が代表方式から直接方式に変更された為2,714件(22%)と前年度と比べると5,154件(65%)減少している。

1. 通信系統図



2. 通 信 施 設

種 別		区 分	摘 要
消防無線電話	基地局	1	しょうぼうつちうら
	移動局	67	きゅうきゅうつちうら1～8・11, つちうらしれい1・2 つちうられんらく1, つちうら1～6・11～13・101～115 つちうらはしご1・2 つちうらきゅうじょ1, つちうらこうほう1・2 つちうらはんそう1・2, つちうらみなみ1・2・11・101・102 つちうらみなみこうほう1, つちうらきた1・2・101・102 つちうらきたかがく1, つちうらきたこうほう1 つちうらにし1・2, つちうらにしこうほう1, つちうらにし101～105
県防災行政無線		1	つちうらしょうぼう
防災行政無線	制御局	1	ぼうさいつちうら705
	移動局	1	ぼうさいつちうら003
地域防災無線	移動局	5	通信指令課, 南分署, 並木出張所, 荒川沖消防署, 神立消防署
通信指令回線	119専用電話	7	衛星通信, 携帯電話(2回線), JCOM(2回線), 緊急通報呼用INS回線(2回線)
	順次指令装置	3	999箇所 (電話, FAX, Eメール)
	火災 テレホンサービス	1	823-5520 トーキー案内(50回線分)
	救急 テレホンサービス	3	822-9900, 9912, 9913
	庁内電話	44	44回線
	車両動態 システム	33	専用線1回線 車載端末32台
電話	直通電話	5	本部 - 東部ガス, 東京電力, 常磐自動車道管理事務所, 休日夜間診療所, 土浦警察署
	加入電話	32	本部(土浦署)(22回線), 南分署(2回線), 並木出張所(2回線) 荒川沖消防署(2回線) 神立消防署(2回線), 新治消防署(2回線)
	F A X	7	総務課, 通信指令課, 南分署, 並木出張所, 荒川沖消防署, 神立消防署, 新治消防署
	携帯電話 衛星電話	28	救急車12台(各2台), 総務課・予防課・救急救助課・土浦消防署・荒川沖消防署・ 神立消防署6台(各1台), 警防課3台, 通信指令課2台 [衛星電話] 救急車3台(土浦・荒川沖・神立各1台), 通信指令課2台
地域医療情報 コントロールシステム		1	本部 - 県内各病院
録音装置		5	

3. 平成18年119番通報件数

	合計	火災通報	救急通報	救助通報	その他通報	火災照会	病院照会	応答無し	誤報嘘報	テスト	その他	携帯転送
1月	1,400	26	399	1	2	4	100	45	72	190	148	413
2月	1,429	9	407	2	3		70	35	61	298	164	380
3月	1,089	24	451	1	3	5	65	13	61	184	214	68
4月	894	5	441	2		2	72	6	47	170	129	20
5月	918	6	431	3	2	2	82	6	54	158	154	20
6月	879	1	438	1	1	1	59	12	50	155	141	20
7月	995	6	471	8		4	83	23	60	162	152	26
8月	1,044	3	504	6	3	1	87	19	67	150	173	31
9月	869	3	430	1	6		68	6	48	162	125	20
10月	993	7	489	1	1	2	82	18	51	183	143	16
11月	1,082	15	485	3	29	2	99	18	56	195	147	33
12月	1,025	7	541	0	3		97	21	68	174	93	21
本年計	12,617	112	5,487	29	53	23	964	222	695	2,181	1,783	1,068

4. 過去5年間の119通報件数

	14年	15年	16年	17年	18年
一般加入電話	6,671	5,841	6,370	6,211	9,903
携帯電話	5,281	5,651	7,068	7,868	2,714
計	11,952	11,492	13,438	14,079	12,617

5 . 土浦市の気象

1 気温

()

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高気温	13.5	18.4	19.1	24.3	29.1	31.2	34.8	35.4	33.7	26.3	23.7	18.8
最低気温	-4.9	-4.9	0	0.2	7.1	14.3	19.5	19	16.3	10.6	2	-0.7
平均	3.1	5.0	8.4	12.3	18.0	21.4	24.1	26.5	22.6	18.2	12.7	7.6

湿度

(%)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最小相対湿度	29	26.1	20.6	18.9	30.2	43.7	46	43.8	44.3	37.5	23.5	32.8
平均相対湿度	66.8	72.1	63.9	73.5	78.6	83.5	88.3	82.1	82.2	80.9	77.5	74.2
最小実効湿度	57.1	62.1	51.3	54.1	72.3	71.5	82.5	76.9	72.3	71.9	71.3	59.2
平均実効湿度	65.8	72.3	65.3	71.8	78.8	82.9	88.0	82.5	81.8	80.8	77.5	75.9

天候

(日)

	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
晴	165	20	14	16	15	9	6	6	14	12	15	20	18
曇	160	7	10	13	13	17	20	21	16	15	10	7	11
雨	39	3	4	2	2	5	4	4	1	3	6	3	2
雪	1	1											

風速

(m/s)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最大風速	17.7	22.2	22.9	22.6	16.1	13.3	16.3	12.8	15.4	19	20.5	25.7
平均風速	1.8	2.1	2.6	2.3	2.4	1.9	1.7	1.8	2.4	2.3	1.9	1.9
平均風速数	5 m未満	31	28	31	30	31	30	31	31	30	31	31
	5 m以上7 m未満											
	7 m以上10 m未満											
	10 m以上15 m未満											
	15 m以上											

雨量

(mm)

	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
降水日数	113	2	6	10	9	13	10	18	10	10	10	8	7
降水量	1541.5	47.5	75.5	59.0	81.0	84.0	139.5	237.0	75.5	215.5	246.5	101.5	179.0

(降水日数は0.5 mm / 日以上を計上)

6. 警報等発令数

区分	月別												
	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
計	331	35	24	24	36	31	28	39	39	19	22	21	13
暴風警報													
大雨警報													
洪水警報	4									2	1		1
大雪警報													
大雨注意報	28	1				3	2	7	8	2	3	1	1
洪水注意報	33	1				3	3	9	8	2	4	1	2
強風注意報	29	4	4	5	4	4			1		3	2	2
乾燥注意報	22	9	5	4	3								1
濃霧注意報	84	4	4	1	8	8	14	12	9	6	7	7	4
雷注意報	70	1		3	7	8	9	10	12	7	4	8	1
霜注意報	12				11	1							
低温注意報	10	6	4										
大雪注意報	1	1											
着雪注意報	1	1											
風雪注意報													
火災気象通報	26	4	4	8	3	4						2	1
第一警戒配備	9	3	3	3									
台風に関する情報													
大雨に関する情報													
小雨に関する情報													
梅雨に関する情報													
大雪に関する情報													
地震に関する情報													
津波に関する情報													
高温に関する情報													
低温と日照不足に関する情報													
低気圧に関する情報													
大雨と雷雨に関する情報													
大雨と洪水に関する情報													
光化学情報スモッグ予報	2								1	1			

土浦市消防のあゆみ

慶安3年（1650年）江戸幕府に武家消防組織が編成され、この江戸火消し制度にならって、寛文年間（1661～1672年）に当市の消防組織である火防人足制度が確立された。

これは、イギリスのロンドン消防隊が編成された時期（1666年）に、ほぼ同じくする。

江戸時代		
寛文年間 (1661～1672年)		土浦藩初代藩主土屋数直は、江戸火消し制度に倣い、火防人足制度を確立する。
元禄年間 (1688～1702年)		2代藩主政直が、全町1戸1名18歳以上の男子を若衆と称し、火防人足に組み入れる。
享保20年 (1735年)		12代藩主篤直が、各町内に藩士を配し、持場、役目を明示担当させるとともに城下各所に消防用具を常備させ、火防体制を整える。
天保7年 (1836年)		町内ごとに纏が置かれるようになる。
安政年間 (1854～1859年)		町内火防組の名称が改正される。 本町（い組）横町（ろ組）中城町（は組）西門（に組） 東崎町（と組）田宿町（よ組）田町（た組）仲町（な組） 大町（大組）
明治初期		廃藩置県後、士族が組織した火消組があった。 外西町（朱雀）鷹匠町（青竜）築地町（玄武）立田町（白蛇）
明治19年 (1886年)	12月17日	消防組規則（茨城県令甲第39号）により旧組織は廃止、新たに土浦消防組が結成され、初代組頭に鈴木糺が就任する。 副組頭7・小頭31・副小頭54・平組474名の計567名の編成 一番組（本町・川口町・仲町）四番組（横町）七番組（田町） 二番組（中城町・田中町）五番組（田宿町） 三番組（大町）六番組（東崎町）
明治21年 (1888年)	4月1日	土浦町が発足する。
明治27年 (1894年)	2月10日	消防組規則（勅令第15号）に基づく県令第34号により、従来の消防組を改組、土浦町消防組となり、各町を単位として6部が編成され、人員300名、後に川口部を加えて7部となる。 組頭 尾形吉兵衛 田宿部長 前原富之助 大町部長 結束弥兵衛 本町部長 大久保藤八 中城部長 藤倉安蔵 田町部長 長谷川直吉 仲町部長 中島久兵衛 川口部長 鈴木蔵之助
明治40年 (1907年)		県令により、消防組人員を346名に増員、小頭24名を配置する。
大正6年 (1917年)	11月	大和町部が新設される。
大正8年 (1919年)	7月15日	中城部が他部に先がけ手引動力ポンプを購入する。
大正9年	9月	横町部が新設される。

(1920年)		
大正11年 (1922年)	2月 4月 4月 6月 8月 8月 11月	本町部が手引動力ポンプを購入する。 東崎部が新設される。 仲町部及び東崎部が手引動力ポンプを購入する。 大和町部が手引動力ポンプを購入する。 田中部が新設される。 田中部が手引動力ポンプを購入する。 川口部が手引動力ポンプを購入する。
大正15年 (1926年)	4月	田宿部が初めてポンプ自動車を購入する。
昭和6年 (1931年)		消防機械化状況 ポンプ自動車(田宿町・中城町・大町)、手引動力ポンプ(東崎町・横町・仲町・川口町・大和町・本町・田町・田中町)
昭和12年 (1937年)	4月1日	土浦町へ中家村が編入する。
昭和13年 (1938年)	6月1日	土浦町へ藤沢村の一部虫掛が編入、消防組の構成は20部となる。
昭和14年 (1939年)	1月25日 6月1日	警防団令(勅令第20号)により消防組が廃止、警防団が組織され、防空の任務も付加された。7箇分団編成で、のち中家地区を2分し、8箇分団となる。 初代団長 内田清助、副団長 菊田七平 歴代組頭 (初)鈴木 糺 (6)長塚 忠 (11)内田 清助 (2)尾形 吉兵衛 (7)大和田 盛雄 (12)大浦 福次郎 (3)五頭 庄三郎 (8)竹中 広次郎 (13)豊島 庄十郎 (4)岡本 儀兵衛 (9)坂野 五兵衛 (14)塚原 格之助 (5)奥井 久助 (10)笹部 重道
昭和15年 (1940年)	11月3日	土浦町と真鍋町が対等合併、市制施行(人口35,567人)する。
昭和22年 (1947年)	6月25日	消防団令(勅令第185号)により従来の警防団を消防団に改称する。8箇分団編成、定数1,260名、消防団長に多田清一就任
昭和23年 (1948年)	3月7日 9月1日	消防組織法が施行、消防団が警察より分離、自治体消防として発足する。 初代団長に細野勝久就任 都和村及び朝日村の一部荒川沖等が編入、消防団を再編する。 10箇分団・ポンプ自動車9台・手引動力ポンプ13台・腕用ポンプ30台・団員1,480名
昭和25年 (1950年)	4月1日	消防団組織に常備消防部(前川町377番地)を創設する。 水槽付消防ポンプ自動車1台 市長 天谷丑之助 消防団長 細野勝久 常備消防部長 鈴木銀四郎 班長2名、部員12名
昭和26年	1月8日	部員定数12名を14名に改定する。

(1951年)		
昭和28年 (1953年)	1月4日 4月1日	常備消防部に消防ポンプ自動車を配置する。 部員定数14名を16名に改定する。
昭和29年 (1954年)	11月3日	上大津村が編入、消防団を12箇分団に再編する。
昭和30年 (1955年)	4月1日 4月7日 12月1日	消防本部及び消防署が発足する。 消防吏員定数21名(実員20名)事務吏員定数1名(実員1名) 水槽付消防ポンプ自動車1台・消防ポンプ自動車1台 市長 天谷丑之助 消防長 細野勝久(初代) 次長兼署長 鈴木銀四郎 消防団長 細野勝久(兼任) 消防吏員1名を採用する。 消防長が専任となり、消防団長に色川恵一就任する。(2代)
昭和31年 (1956年)	4月 10月1日 11月9日 12月8日	消防力強化5ヶ年計画を樹立する。 消防団組織を大幅に改編する。 12箇分団67部を15箇分団25部に改め、定数1,479名を434名に減員。老朽ポンプ自動車(本町・田町)、手引動力ポンプ(敷島町・仲町・東崎町・横町)及び腕用ポンプ36台(全部)を廃止する。 消防無線局を開局する。(基地局1・移動局2) 水槽付消防ポンプ自動車を消防署へ配置する。
昭和32年 (1957年)	3月 4月1日 4月 10月17日 11月28日	手引動力ポンプを第13分団第2部(粟野町)へ配置する。 土浦市消防協会が発足する。 手引動力ポンプを第14分団第2部(手野町)へ配置する。 消防ポンプ自動車を第13分団第1部(並木町)へ配置する。 消防団員定数434名を445名に改定する。 水槽付消防ポンプ自動車を第15分団(神立町)へ配置する。
昭和33年 (1958年)	4月1日 5月12日 8月1日	消防吏員定数を27名に改定、消防吏員6名を採用する。 消防ポンプ自動車を第10分団(右朧町)へ配置する。 消防吏員1名を採用する。
昭和34年 (1959年)	1月29日 8月10日 10月1日 12月10日	消防団員定数を445名から492名に改定する。 土浦地方危険物安全協会が発足する。 南出張所を開設、水槽付消防ポンプ自動車、職員4名を配置する。 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車が寄贈され、消防署へ配置する。
昭和35年 (1960年)	6月1日 6月1日	消防吏員定数を27名から37名に改定する。 消防吏員10名を採用する。 消防団組織を15箇分団23部に改編する。 中城町、佐野子町、飯田町、矢作町の各部を廃止、第7分団第1部(虫掛町)へ消防ポンプ自動車を配置、第6分団第3部(真鍋町)を第5分団とし、消防ポンプ自動車を更新配置する。
昭和36年 (1961年)	4月1日 5月1日	救急業務を開始する。 消防吏員1名を採用する。

	8月10日	消防吏員3名を採用する。
	9月7日	救急自動車を消防署へ新規配置する。
		消防ポンプ自動車を第2分団(川口町)へ更新配置する。
	11月30日	消防吏員定数を37名から39名に改定する。
昭和37年 (1962年)	3月1日	消防吏員1名を採用する。 三輪ポンプ自動車を第8分団第3部(上高津町)へ配置する。
	6月23日	消防吏員1名を採用する。
	11月29日	消防吏員定数を39名から45名に改定する。
	12月1日	消防吏員3名を採用する。
昭和38年 (1963年)	2月22日	消防吏員4名を採用する。
	4月1日	消防吏員定数を45名から47名に改定する。
	4月1日	消防長の階級「消防監補」を「消防監」に改正する。 初の公設消火栓を設置する。(102基) 消防ポンプ自動車を第9分団(小松町)へ配置する。 消防ポンプ自動車を第8分団第1部(下高津町)へ配置する。 三輪ポンプ自動車を第11分団第2部(西根町)へ配置する。
	10月19日	水槽付消防ポンプ自動車を土浦市消防署へ新規配置、旧車両を南出張所へ配置替する。
	12月1日	消防吏員1名を採用する。
昭和39年 (1964年)	3月25日	消防団員定数を492名から418名に改定する。
	4月1日	消防長に色川恵一就任する。(2代) 地下式消火栓98基増設する。(計200基)
	7月1日	消防吏員1名を採用する。
	12月25日	消防団員定数を418名から390名に改定する。
昭和40年 (1965年)	2月8日	消防ポンプ自動車を消防署へ新規配置する。 県内初の公設火災報知器を設置する。(発信機100・受信機2)
	4月1日	消防団長に青木利之就任する。(3代)
	7月5日	消防庁舎建設に着工する。
昭和41年 (1966年)	2月7日	新庁舎に移転、19日竣工式を挙げる。
	3月	消火栓8基を増設する。(真鍋町地内)
	4月1日	消防吏員定数を47名から51名に改定する。
	4月1日	消防組織法の改正に伴い、消防本部機構を改組する。 総務課(庶務係・経理係・機械係)、警防課(予防係・消防係・救急係)を新設
	4月5日	消防吏員7名を採用、専任次長制を実施する。
	5月	消防本部連絡用乗用車(プリンスグロリア64)を配置する。
	6月	消火栓6基を増設する。(田中町)
	7月6日	消防吏員定数を51名から67名に改定する。
	8月	荒川沖西区に消防団第18分団を新設、消防ポンプ自動車を配置する。
	10月	国補事業により防火水槽(40t)3基を増設する。(桜ヶ丘・若松町・荒川沖)
	10月	消火栓3基を増設する。(上高津町)
	12月	消防ポンプ自動車を第8分団へ更新配置する。

		消防ポンプ自動車を第14分団第2部(沖宿町)へ新規配置する。
昭和42年 (1967年)	1月23日	屈折梯子車を土浦市消防署へ新規配置する。
	2月	消火栓6基を増設する。(右朧町・竹ノ入町)
	4月1日	消防吏員10名を採用する。
	5月	消火栓1基を増設する。(神立町)
	9月	消火栓2基を増設する。(大岩田町) 防火水槽(60t・観察池兼用)を上大津東小学校に設置する。
	10月	消火栓5基を増設する。(中村1区・永国町) 消防ポンプ自動車を第15分団(神立町)へ配置する。
	12月	消防ポンプ自動車を第6分団(真鍋町)へ配置する。
昭和43年 (1968年)	2月16日	消防吏員3名を採用する。
	4月1日	消防吏員5名を採用する。。
	5月1日	消防長に鈴木銀四郎就任する。(3代)
	5月1日	消防吏員1名を採用する。
	9月	消火栓4基を増設する。(大町外)
	11月	消火栓6基を増設する。(板谷町外)
	12月3日	土浦地方消防相互応援協定並びに救急業務委託に関する協定を締結する。(土浦市・阿見町・新治村・出島村) 消防ポンプ自動車(A2級)を第5分団及び第10分団へ更新配置する。 救急自動車(ワ-ゲン)を消防署へ配置する。 指令車(ジ-プ)を消防署へ配置する。 消火栓2基を増設する。(中高津町外) 県費補助により防火水槽(40t)5基を増設する。(荒川沖町外)
昭和44年 (1969年)	3月28日	土浦地方消防相互応援協定並びに救急業務委託に関する協定を締結する。(土浦市・牛久町・桜村・千代田町)
	4月1日	定数条例を全面改正し、消防職員定数を73名とする。
	4月1日	消防吏員4名を採用する。
	4月1日	消防団長に青木利之再任される。
	6月2日	消防吏員5名を採用する。
	7月1日	消防本部機構を改組する。 予防課を新設、総務課(庶務係・経理係)予防課(予防係・危険物係)警防課(消防係・救急係・機械装備係)にする。
昭和45年 (1970年)	1月8日	消防ポンプ自動車(A2級)を第1分団及び第3分団へ更新配置する。
	2月	公設火災報知機12基を増設する。
	2月	県費補助により防火水槽(40t)3基を増設する。(手野町・栗野町・荒川沖町)
	3月26日	消防団を改編、18箇分団390名を22箇分団351名に減員する。
	4月1日	消防職員定数を73名から76名に改定する。
	4月1日	消防長に宇ッ木三郎就任する。(4代)
	4月1日	消防吏員6名を採用する。

	12月26日	消防ポンプ自動車(A2級)を第4分団及び第15分団へ更新配置、旧車両を第6分団及び第14分団へ配置替する。
昭和46年 (1971年)	3月15日 3月19日 3月30日 4月1日 4月1日 9月25日 11月11日 12月16日	防火水槽(40t)3基を増設する。(手野町外) 公設火災報知機10基を増設する。(真鍋町外) 消火栓18基を増設する。 消防職員定数を76名から78名に改定する。 消防吏員3名を採用する。 消防団員定数を351名から342名に改定する。 はしご付消防ポンプ自動車(30m級)を土浦市消防署へ新規配置する。 消防ポンプ自動車(A2級)を第17分団へ更新配置する。
昭和47年 (1972年)	1月17日 1月24日 2月1日 2月14日 2月16日 2月17日 2月28日 3月31日 4月1日 4月1日 4月1日 6月10日 8月15日 8月23日 9月12日 9月28日	消防ポンプ自動車(A2級)を第2分団へ更新配置する。 消防本部庁舎増築工事を竣工する。 防火水槽(40t)1基を増設する。(天川町) 消火栓14基を増設する。(川口町外) 関彰商事(株)から寄贈された救急自動車(A型)を土浦市消防署へ配置する。 第6分団車庫を新築する。 防火水槽(40t)1基を増設する。(神立町) 救急波専用消防無線電話(10W)を設置する。 (F3:144.44MHz 147.44MHz) 消防職員定数を78名から93名に改定する。 第5分団を廃止し、22箇分団から21箇分団に、団員定数を347名から327名に改定する。第6・7分団を第5・6分団とする。 消防吏員15名を採用する。 第24分団車庫を改築する。 第16分団車庫を増築する。 消防ポンプ自動車(A2級2m級)を第16分団及び第26分団へ更新配置する。 消火栓5基を増設する。(中村町外) 防火水槽(40t)1基を増設する。(烏山町) 化学消防ポンプ自動車を土浦市消防署へ新規配置する。
昭和48年 (1973年)	1月10日 1月14日 1月31日 4月1日 4月1日 4月1日 5月30日 8月18日 10月16日 11月30日	消火栓2基を増設する。(並木町外) 防火水槽(20t)1基を増設する。(東崎町) 第26分団車庫を新築する。 消防職員定数を93名から106名に改定する。 消防吏員14名を採用する。 消防団長に宇田川仁就任する。(4代) 第11分団車庫を改築する。 消防ポンプ自動車(A2級2m級)を第6分団及び第27分団へ更新配置する。 消防ポンプ自動車(A2級2m級)を土浦市消防署へ新規配置する。 山之内製薬(株)から寄贈された救急自動車(トヨタ2B型)を土浦市消防署へ新規配置する。

	12月 4日	防火水槽（40 t）2基を増設する。（都和町外）
	12月21日	水槽付消防ポンプ自動車(8,000 l)を土浦市消防署へ新規配置する。
	12月25日	防火水槽（40 t）2基を増設する。（永国町外）
昭和49年 （1974年）	1月31日	消火栓6基を増設する。（中貫町外）
	2月 6日	防火水槽（40 t）1基を増設する。（荒川沖町）
	2月12日	防火水槽（40 t）2基を増設する（並木町外）
	3月 1日	土浦口 - タリ - クラブから寄贈された消防広報車を土浦市消防署に配置する。
	3月30日	救急指令装置（B型）を通信指令室へ配置する。
	4月 1日	消防職員定数を106名から116名に改定する。
	4月 1日	消防吏員15名を採用する。
	4月 1日	筑南地方広域行政（事）消防本部発足に伴い、桜村との救急業務の委託に関する協定を解除する。
	7月 1日	消防本部機構を改組する。 警防課を総務課（庶務係・経理係・施設係）予防課（予防係・危険物係・警防係・通信指令室）に統合、南出張所を廃止して荒川沖消防署を開設、2課2消防署とし、各消防署に5係（庶務・予防・消防・救急・機械）を設置する。
	7月29日	消防ポンプ自動車（BD - 型）を荒川沖消防署へ新規配置する。
	8月29日	消火栓1基を増設する。（右朧町）
	8月30日	消防ポンプ自動車（BD - 型）を第23分団へ更新配置する。
	9月13日	消防ポンプ自動車（BS - 型）を第21分団へ更新配置する。
	9月30日	防火水槽（40 t）4基を増設する。（千束町外） 消火栓4基を増設する。（乙戸町外）
	11月23日	防火水槽（40 t）1基を増設する。（虫掛町）
	11月25日	第22分団車庫を改築する。
昭和50年 （1975年）	2月24日	消火栓4基を増設する。（大手町外）
	4月 1日	消防長事務取扱に土浦市長野口敏雄就任する。
	4月 1日	消防吏員8名を採用する。
	4月 1日	稲敷地方広域市町村圏（事）消防本部発足に伴い、牛久町との救急業務の委託に関する協定を解除する。
	5月21日	消防長に飯島一雄就任する。（5代）
	7月25日	東京火災海上保険（株）から寄贈された救急自動車（トヨタ2B型）を土浦消防署へ更新配置する。
	8月25日	防火水槽（40 t）7基を増設する。（永国町外）
	8月29日	消防ポンプ自動車（BD - 型ホースカー付）を土浦消防署へ新規配置する。
	8月29日	消防ポンプ自動車（BS - 型）を第13分団へ更新配置する。
	9月 1日	消防ポンプ自動車（BS - 型）を第28分団へ更新配置する。
	10月 1日	第25分団を廃止し、21箇分団から20箇分団に、団員定数を325名から312名に改定する。
	11月21日	消火栓5基を増設する。（真鍋4丁目外）
	12月 8日	消防施設整備資金が（株）小網屋から寄付され、査察広報車2台を購入、土浦消防署へ配置する。

<p>昭和51年 (1976年)</p>	<p>3月31日 7月15日 7月26日 8月5日 9月30日 11月1日 12月20日</p>	<p>神立消防署庁舎建設用地(2,912.07㎡)を神立町に購入する。 2ヶ年継続事業として、公設火災報知機の廃止が決定、本年度架線を撤去する。 消防ポンプ自動車(BS-型)を第12分団へ更新配置する。 消火栓5基を増設する。(常名町外) 第12分団車庫を増改築する。 消防長に小泉忠就任する。(6代) 防火水槽(40t)7基を増設する。(木田余町外)</p>
<p>昭和52年 (1977年)</p>	<p>4月1日 4月1日 4月1日 4月1日 8月29日 9月2日 9月6日 9月27日 10月20日</p>	<p>消防職員定数を116名から118名に改定する。 消防吏員10名を採用する。(実員116名) 消防団長に宇田川仁再任される。 消防本部機構を改組する。 総務課(庶務係・経理係・施設係)、予防課(予防係・危険物係)警防課(警防係・通信指令室)に改組する。 水槽付消防ポンプ自動車(水-型)を荒川沖消防署へ新規配置する。 救急自動車(トヨタ2B型)を土浦消防署へ更新配置する。 消防ポンプ自動車(BS-型)を第5分団へ更新配置する。 防火水槽(40t)7基を増設する。(木田余町外) 神立消防署庁舎建設に着工する。</p>
<p>昭和53年 (1978年)</p>	<p>1月6日 4月1日 4月1日 4月1日 5月1日 8月1日 8月11日 9月1日 12月15日 12月28日</p>	<p>消火栓6基を増設する。(中貫町外) 消防職員定数を118名から128名に改定する。 消防吏員11名を採用する。(実員126名) 新治広域事務組合消防本部発足に伴い、出島村・新治村・千代田村との救急業務の委託に関する協定を解除する。 神立消防署を開設し、職員21名を配置する。 茨城県救急医療情報コントロールシステム地域情報本部(ディスプレイ装置)が、稼働開始される。 水槽付消防ポンプ自動車(水-型)を土浦消防署へ新規配置する。 消防ポンプ自動車(BS-型)を第22分団に更新配置する。 防火水槽(40t)9基を増設する。(真鍋町外) (財)日本損害保険協会から寄贈された消防ポンプ自動車(BD-型)を神立消防署へ配置する。</p>
<p>昭和54年 (1979年)</p>	<p>2月5日 4月1日 6月3日 8月22日 11月6日 12月4日 12月18日</p>	<p>消火栓6基を増設する。(神立町外) 消防吏員2名を採用する。(実員126名) 第16分団及び第17分団車庫を新築する。 消防ポンプ自動車(BS-型)を第11分団へ更新配置する。 第14分団詰所を新築する。 第3分団車庫を新築する。 防火水槽(40t)10基を増設する。(霞ヶ岡町外)</p>
<p>昭和55年 (1980年)</p>	<p>1月11日 2月26日 4月1日 7月1日</p>	<p>消火栓8基を増設する。(真鍋町外) 照明救助工作車を土浦消防署へ新規配置する。 消防吏員2名を採用する。(実員127名) 指令車(セドリック)を更新配置する。</p>

	10月28日	消防制度化100周年・市常設消防開設30周年記念行事を開催、「土浦消防30年のあゆみ」を発売する。
	11月6日	防火水槽(40t)10基を増設する。(真鍋町外)
	12月20日	消防ポンプ自動車(BS-型)を第14分団へ更新配置する。
	12月20日	救急自動車(トヨタ2B型)を荒川沖消防署へ更新配置する。
	12月24日	消火栓13基を増設する。(中村2区外)
昭和56年 (1981年)	3月20日	第4分団車庫を改築する。
	3月31日	第23分団車庫を新築する。
	4月1日	消防団長に宇田川仁再任される。
	9月19日	防火水槽(40t)10基を増設する。(並木3丁目外)
	9月30日	救急自動車(トヨタ2B型)を神立消防署へ更新配置する。
	10月1日	阿見町消防本部発足に伴い、阿見町との救急業務の委託に関する協定を解除する。
	12月20日	消防ポンプ自動車(BS-型)を第24分団へ更新配置する。
	12月26日	第15分団車庫を新築する。
昭和57年 (1982年)	3月24日	消防職員定数を128名から131名に改定する。
	3月30日	消火栓17基を増設する。(城北町外)
	3月30日	常磐自動車道(柏・千代田石岡インターチェンジ間)開通に伴い、常磐自動車道消防協議会加入機関(柏市・守谷町・谷和原村・伊奈村・谷田部町・桜村・新治村・千代田村・常総地方広域市町村圏事務組合)と消防相互応援協定を締結する。
	3月30日	土浦市消防協会が解散する。
	4月1日	消防吏員3名を採用する。(実員127名)
	4月1日	消防長に池野辺績就任する。(7代)
	5月1日	並木町婦人消防クラブが発足する。
	5月30日	水防用アルミボート(折たたみ式)1艇を土浦消防署へ新規配置する。
	9月1日	消防吏員3名を採用する。(実員130名)
	9月1日	土浦消防署並木出張所を開設する。 職員8名、救急自動車(2B型)を新規配置、消防ポンプ自動車(A2級)を荒川沖消防署から配置替
	9月16日	連絡車(サニー)を消防本部へ配置する。
	12月7日	15m級屈折梯子付消防ポンプ自動車を土浦消防署へ更新配置する。
	12月11日	消防ポンプ自動車(CD-型)を第3分団へ更新配置する。
昭和58年 (1983年)	1月14日	防火水槽(40t)10基を増設する。(真鍋4丁目外)
	3月1日	中村町5区婦人防火クラブが発足する。
	3月31日	消火栓12基を増設する。
	4月1日	消防職員定数を131名から139名に改定する。
	10月1日	消防吏員6名を採用する。(実員136名)
	11月15日	土浦消防署南分署用水槽付消防ポンプ自動車(水-型)を新規購入する。
	12月22日	土浦消防署南分署を開設し、職員8名を配置する。
昭和59年 (1984年)	1月1日	筑南地方広域行政事務組合(筑波町・大穂町・豊里町・谷田部町・荃崎町・桜村)と消防相互応援協定を締結する。

	<p>1月26日 防火水槽（40t）10基を増設する。（中高津1丁目外）</p> <p>1月31日 広報車（サニー）を土浦消防署南分署へ配置する。</p> <p>2月24日 消防ポンプ自動車（CD - 型）を第1分団へ更新配置する。</p> <p>3月20日 昭和57年3月30日付締結した常磐自動車道柏・千代田・石岡インターチェンジ間における消防相互応援協定を廃止し、新たに常磐自動車道柏・那珂インターチェンジ間における消防相互応援協定を22市町村と締結する。</p> <p>3月31日 消火栓9基を増設する。（大岩田町外）</p> <p>4月1日 消防職員定数を139名から145名に改定する。</p> <p>4月1日 消防吏員5名を採用する。（実員140名）</p> <p>4月1日 消防長の階級を「消防監」から「消防正監」に改正する。</p> <p>4月1日 茨城県防災行政無線が配置され、稼働開始する。</p> <p>8月8日 （財）日本消防協会から寄贈された緊急給水用ろ過器1基を消防本部へ配置する。</p> <p>9月28日 白帆幼稚園幼年消防クラブが発足する。</p> <p>10月1日 消防吏員5名を採用する。（実員145名）</p> <p>11月25日 防火水槽（40t）10基を増設する。</p> <p>11月30日 水槽付消防ポンプ自動車（水 - 型）を土浦消防署並木出張所へ更新配置する。</p>
昭和60年 （1985年）	<p>2月26日 化学消防ポンプ自動車（型）を神立消防署へ更新配置する。</p> <p>3月4日 消防ポンプ自動車（BS - 型）を土浦消防署へ更新配置する。</p> <p>3月5日 第1分団車庫を新築する。</p> <p>3月23日 第2分団車庫を新築する。</p> <p>3月29日 消火栓8基を増設する。（並木5丁目外）</p> <p>4月1日 消防職員定数を145名から147名に改定する。</p> <p>4月1日 消防吏員3名を採用する。（実員146名）</p> <p>4月1日 消防本部機構を整備する。 警防課より通信指令室を分離独立、新たに警防課に救急救助係を設置、3課1室7係とする。</p> <p>4月1日 消防団長に中桐勝太郎就任する。（5代）</p> <p>6月30日 査察広報車（サニ - ）を土浦消防署へ更新配置する。</p> <p>10月1日 （財）国際科学技術博覧会協会から水槽付消防ポンプ車（水 - B型）が寄贈され、神立消防署へ配置する。</p> <p>11月8日 防火水槽（40t）9基を増設する。（並木四丁目外）</p>
昭和61年 （1986年）	<p>3月4日 消火栓7基を増設する。（桜ヶ丘町外）</p> <p>3月15日 消防ポンプ自動車（CD - 型）を荒川沖消防署へ更新配置する。</p> <p>4月1日 救急自動車（トヨタ2B型）を土浦消防署へ更新配置する。</p> <p>4月1日 消防ポンプ自動車（CD - 型）を第4分団へ更新配置する。</p> <p>4月30日 資材搬送車（3t）を土浦消防署へ新規配置する。</p> <p>5月2日 （財）国際科学技術博覧会協会から消防救急指令装置（A型）が寄贈され、通信指令室へ更新配置する。</p> <p>5月8日 水防用アルミボ - ト（折たたみ式）1艇を土浦消防署へ増強配置する。</p> <p>11月28日 防火水槽（40t）7基を増設する。（大岩田町外）</p>

<p>昭和62年 (1987年)</p>	<p>3月9日 3月12日 3月19日 3月29日 3月31日 4月1日 4月1日 5月25日 6月26日 8月26日 9月1日 10月26日 11月12日</p>	<p>消防ポンプ自動車(CD-型)を第17分団へ更新配置する。 水槽付消防ポンプ自動車(水-型 8,000ℓ)を土浦消防署へ更新配置する。 携帯用無線機(1W)を土浦消防署及び荒川沖消防署へ更新配置する。 (社)日本損害保険協会から救急普及啓発広報車が寄贈され、消防本部へ配置する。 消火栓9基を増設する。(荒川沖東二丁目外) 消防吏員3名を採用する。(実員147名) 消防長に幕内章就任する。(8代) 救急情報テレホンサービスを運用開始する。 査察広報車(カローラ)を荒川沖消防署へ更新配置する。 救急心電図無線電送システムを運用開始する。 河川流域総合情報システム運用端末装置を設置する。 携帯用無線機(1W)2基を土浦消防署へ更新配置する。 防火水槽(40t)8基を増設する。(天川一丁目外)</p>
<p>昭和63年 (1988年)</p>	<p>2月15日 3月15日 3月31日 6月17日 8月31日 10月5日 10月31日</p>	<p>消防ポンプ自動車(CD-型)を第2分団及び第16分団へ更新配置する。 救急自動車(トヨタ2B型)を荒川沖消防署へ更新配置する。 消火栓10基を増設する。(下高津二丁目外) 消防ポンプ自動車(CD-型)を第26分団へ更新配置する。 消火栓6基を増設する。(城北町外) はしご付消防ポンプ自動車(35m級)を土浦消防署へ更新配置する。 消防ポンプ自動車(CD-型)を神立消防署へ更新配置する。</p>
<p>平成元年 (1989年)</p>	<p>2月28日 2月28日 3月31日 3月31日 3月31日 4月1日 4月2日 6月22日 8月9日 12月21日</p>	<p>防火水槽(40t)10基を増設する。(永国町外) 救急自動車(トヨタ2B型)を神立消防署へ更新配置する。 土浦市防災行政無線を運用開始する。 茨城県広域消防相互応援協定を締結する。 救急波無線基地局を更新する。 消防団長に高木彬就任する。(6代) 救急自動車(トヨタ2B型)を土浦消防署並木出張所へ更新配置する。 査察広報車(サニー)を神立消防署へ更新配置する。 消防ポンプ自動車(CD-型)を第6分団、第23分団及び第27分団へ更新配置する。 水槽付消防ポンプ自動車(水-型)を荒川沖消防署へ更新配置する。</p>
<p>平成2年 (1990年)</p>	<p>3月28日 3月29日 3月31日 3月31日 4月1日</p>	<p>防火水槽(40t)7基を増設する。(並木四丁目外) 消火栓10基を増設する。(神立中央一丁目外) 救急自動車(トヨタ2B型)を土浦消防署並木出張所へ更新配置する。 携帯用無線機(1W)2基を神立消防署へ更新配置する。 消防職員定数を147名から151名に改定する。</p>

	<p>4月 1日 消防吏員 2 名を採用する。(実員 1 4 9 名)</p> <p>5月30日 消防ポンプ自動車(CD - 型)を第 1 3 分団及び第 2 1 分団へ更新配置する。</p> <p>9月24日 携帯用無線機(1W) 2 基を土浦消防署へ更新配置する。</p> <p>10月 5日 老人緊急通報システムを運用開始する。</p> <p>11月 9日 市制施行 5 0 周年・常設消防発足 4 0 周年記念行事を開催する。 「消防のあゆみ」を発刊する。</p> <p>12月14日 水槽付消防ポンプ自動車(水 - 型)を土浦消防署へ更新配置する。</p> <p>12月20日 救急自動車(トヨタ 2 B 型)を土浦消防署南分署へ更新配置する。</p>
平成 3 年 (1991 年)	<p>3月15日 防火水槽(4 0 t) 5 基を増設する。(手野町外)</p> <p>3月20日 消火栓 1 0 基を増設する。(木田余町外)</p> <p>3月30日 気象観測(風向・風速)装置を通信指令室へ更新配置する。</p> <p>3月31日 第 2 1 分団車庫を新築する。</p> <p>4月 1日 消防吏員 2 名を採用する。(実員 1 5 1 名)</p> <p>8月15日 救急救命士法(平成 3 年法律第 3 6 号)が施行される。</p> <p>10月17日 携帯用無線機(1W) 2 基を土浦消防署へ更新配置する。</p>
平成 4 年 (1992 年)	<p>1月18日 防火水槽(4 0 t) 5 基を増設する。(東真鍋町外)</p> <p>2月14日 指令車(クラウン)を消防本部へ更新配置する。</p> <p>3月 9日 消火栓 1 0 基を増設する。(東中貫町外)</p> <p>3月10日 第 1 2 分団及び第 2 2 分団車庫を新築する。</p> <p>3月31日 消防ポンプ自動車(CD - 型)を第 1 2 分団及び第 2 8 分団へ更新配置する。</p> <p>4月 1日 消防吏員 2 名を採用する。(実員 1 5 2 名)</p> <p>4月 1日 特別救助隊専任隊を設置する。</p> <p>4月 1日 消防本部機構を整備する。 警防課に消防団係を新設、警防課から救急救助係が分離独立、救急救助課(救急係・救助係)を新設、4 課 1 室 9 係とする。 消防署に救助係を新設し、6 係とする。</p> <p>5月18日 連絡車(サニー)を消防本部へ更新配置する。</p> <p>6月11日 並木出張所(6 9 6 . 2 8 m²)が敷地移管により敷地面積 1 , 4 4 7 m²となる。</p> <p>7月30日 土浦市防火管理協会が発足する。</p> <p>11月19日 救急救命士が誕生する。</p> <p>11月20日 高規格救急自動車(トヨタ)を土浦消防署へ新規配置する。</p> <p>11月20日 自動車電話を土浦消防署及び神立消防署の救急自動車へ設置、運用開始する。</p> <p>12月 1日 高度救急業務を開始する。</p> <p>12月22日 救助工作車(型)を土浦消防署へ新規配置する。</p>
平成 5 年 (1993 年)	<p>3月10日 携帯用無線機(1W) 2 基を土浦消防署へ更新配置する。</p> <p>3月11日 防火水槽(4 0 t) 5 基を増設する。(下高津二丁目外)</p> <p>3月12日 第 2 7 分団車庫を新築する。</p> <p>3月16日 消防ポンプ自動車(CD - 型)を第 5 分団へ更新配置する。</p> <p>3月19日 消火栓 5 基を増設する。(中高津二丁目外)</p> <p>4月 1日 消防吏員 4 名を採用する。(実員 1 5 5 名)</p>

	4月 1日	消防団長に松本好祐就任する。(7代)
	7月 8日	小型消防艇「かすみ」を土浦消防署へ新規配置する。
	8月 8日	消防ポンプ自動車(CD-型)を第22分団へ更新配置する。
	10月 8日	携帯用無線機(1W)2基を土浦消防署及び並木出張所へ更新配置する。
	10月28日	自動車電話を南分署、並木出張所及び荒川沖消防署の救急自動車へ設置、運用開始する。
	11月29日	消防無線基地局に全国波を導入、運用開始する。
平成6年 (1994年)	3月23日	水槽付消防ポンプ自動車(水-型)を土浦消防署南分署へ更新配置する。
	3月24日	消火栓10基を増設する。(白鳥町外) 防火水槽(40t)5基を増設する。(木田余外)
	3月25日	第5分団車庫を新築する。
	4月 1日	消防吏員1名を採用する。(実員155名)
	6月 1日	土浦市幼少年婦人防火委員会が発足する。
平成7年 (1995年)	2月 3日	消火栓10基を増設する。(沖宿町外)
	2月14日	高規格救急自動車(トヨタ)を荒川沖消防署へ新規配置する。
	2月20日	車載型無線機(10W)7基を土浦消防署、神立消防署及び並木出張所へ更新配置する。
	2月20日	携帯用無線機(10W)7基を通信指令室及び南分署へ更新配置する。
	3月15日	消防ポンプ自動車(CD-型)を第11分団へ更新配置する。
	3月15日	防火水槽(40t)5基を増設する。(手野町外)
	3月15日	第26分団車庫を新築する。
	4月 1日	消防長に成嶋耀就任する。(9代)
	9月 5日	緊急消防援助隊に登録される。(救急部隊)
	10月24日	車載型無線機(10W)4基を土浦消防署、荒川沖消防署及び神立消防署へ更新配置する。
	10月24日	可搬型無線機(10W)1基を通信指令室へ更新配置する。
	10月24日	携帯用無線機(1W)2基を通信指令室及び荒川沖消防署へ更新配置する。
	12月12日	消防ポンプ自動車(CD-型)を第14分団へ更新配置する。
平成8年 (1996年)	2月 2日	消防ポンプ自動車(CD-型)を土浦消防署へ更新配置する。
	2月13日	第28分団車庫を新築する。
	2月15日	高規格救急自動車(トヨタ)を神立消防署へ新規配置する。
	2月22日	消火栓10基を増設する。(笠師町外)
	3月15日	防火水槽(40t)5基を増設する。(荒川沖南区外)
	4月 1日	消防吏員3名を採用する。(実員155名)
	5月22日	連絡車(ニッサンADバン)を消防本部へ更新配置する。
	8月 7日	可搬式小型消防ポンプ(トーハツV20CS)1台を土浦消防署へ新規配置する。
	9月 4日	携帯電話(震災対策用)7台を新規購入する。
	11月28日	車載型無線機(10W)2基を土浦消防署及び神立消防署へ更新配置する。

	11月28日	可搬型無線機（10W）3基を通信指令室、荒川沖消防署及び神立消防署へ更新配置する。
	11月28日	携帯用無線機（1W）2基を通信指令室及び土浦消防署へ更新配置する。
	12月20日	震災対策用資器材（エンジンカッター、パール等）を各消防署所及び各分団へ新規配置する。
	12月25日	震災対応型査察広報車（イスズRV）を土浦消防署へ新規配置する。
平成9年 （1997年）	2月20日	震災対応型高規格救急自動車（トヨタ4WD）を南分署へ新規配置する。
	3月10日	消防ポンプ自動車（CD-型）を第24分団へ更新配置する。
	3月18日	消火栓10基を増設する。（白鳥町外）
	3月27日	削岩機（マルゼンMM-78）1機を神立消防署へ新規配置する。
	3月28日	防火水槽（40t）5基を増設する。（立田町外）
	4月1日	消防吏員3名を採用する。（実員156名）
	4月1日	消防団長に松本好祐再任される。
	6月30日	消防職員定数を151名から156名に改定する。
	7月28日	車載型無線機（10W）1基を神立消防署へ更新配置し、携帯用無線機（1W）2基を土浦消防署及び神立消防署へ更新配置する。
	12月22日	水槽付消防ポンプ自動車（水-型）を神立消防署へ更新配置する。
平成10年 （1998年）	3月24日	高規格救急自動車（トヨタ）を並木出張所へ新規配置する。
	3月25日	防火水槽（40t）4基を増設する。（荒川沖南区外）
		消火栓15基を増設する。（菅谷町外）
	4月1日	消防吏員2名を採用する。（実員156名）
	4月1日	消防本部機構を整備する。 総務課の経理係と施設係を統合し財務係、救急救助課の救急係と救助係を統合し救急救助係とする。 消防署の救急係と救助係を統合し救急救助係を設置、5係とする。
	10月26日	携帯用無線機（1W）2基を土浦消防署及び神立消防署へ更新配置する。
	10月26日	震災対策用資器材（可搬式小型消防ポンプ、チェーンソー、発電機、ガス検知器等）を各消防署所及び各分団へ新規配置する。
平成11年 （1999年）	1月13日	防火水槽（40t）5基を増設する。（並木五丁目外）
	2月8日	消防ポンプ自動車（CD-型）を第3分団へ更新配置する。
	2月28日	水槽付消防ポンプ自動車（水-型）を土浦消防署並木出張所へ更新配置する。
	3月24日	消火栓10基を増設する。（沖宿町外）
	4月1日	消防吏員2名を採用する。（実員156名）
	4月1日	消防長に宮本満雄就任する。（10代）
	11月20日	卓上型消防用基地局（10W）1基を通信指令室へ更新配置、携帯用無線機（1W）2基を土浦消防署へ更新配置する。
平成12年 （2000年）	1月19日	高規格救急自動車（トヨタ）を土浦消防署へ更新配置する。
	2月8日	防火水槽（40t）5基を増設する。（大字小山崎外）
	2月9日	消防ポンプ自動車（CD-型）を第1分団へ更新配置する。
	3月10日	消防ポンプ自動車（CD-型）を荒川沖消防署へ更新配置する。

	<p>3月10日 第17分団車庫を新築する。</p> <p>3月17日 消火栓10基を増設する。(荒川沖南区外)</p> <p>4月1日 消防団長に渡邊忠就任する。(8代)</p> <p>9月19日 消防ポンプ自動車(CD-型)を第15分団へ更新配置する。</p> <p>12月19日 通信指令室の救急基地局(10W)を更新配置、携帯無線機(1W)1基を土浦消防署へ更新配置する。</p>
平成13年 (2001年)	<p>2月26日 はしご付消防ポンプ自動車(18m級)を土浦消防署へ更新配置する。</p> <p>3月15日 風向風速計を荒川沖消防署へ更新配置する。</p> <p>3月15日 消火栓10基を増設する。(大字右羽外)</p> <p>3月22日 防火水槽(40t)4基を増設する。(大字佐野子外)</p> <p>4月1日 消防長に飯田雅男就任する。(11代)</p> <p>4月1日 消防吏員2名を採用する。(実員152名)</p> <p>5月18日 資材搬送車(三菱)を消防本部へ新規配置する。</p> <p>8月27日 査察広報車(三菱)を土浦消防署へ更新配置する。</p> <p>12月28日 水難救助用ゴムボート(かすみ2)1艇を土浦消防署へ更新配置する。</p>
平成14年 (2002年)	<p>3月15日 消火栓10基を増設する。(栗野町外)</p> <p>3月26日 防火水槽(40t)3基を増設する。(田村町外)</p> <p>3月27日 水槽付消防ポンプ自動車(水型8,000ℓ)を土浦消防署へ更新配置する。</p> <p>3月29日 消防ポンプ自動車(CD-型)を第4分団へ更新配置する。</p> <p>4月1日 消防吏員3名を採用する。(実員154名)</p> <p>4月1日 マイクロバス(三菱)が消防本部へ移管される。</p> <p>7月5日 土浦市防火管理協会から寄贈された連絡車(スズキ)を消防本部に配置する。</p> <p>11月6日 消防ポンプ自動車(CD-型)を第17分団へ更新配置する。</p> <p>12月3日 消防ポンプ自動車(CD-型)を神立消防署へ更新配置する。</p>
平成15年 (2003年)	<p>1月30日 第23分団車庫を新築する。</p> <p>3月12日 消火栓6基を増設する。(神立町外)</p> <p>3月19日 防火水槽(40t)2基を増設する。(西根南三丁目外)</p> <p>4月1日 消防吏員2名を採用する。(実員155名)</p> <p>4月1日 (財)日本消防協会から寄贈された指令車(三菱)を土浦消防署に配置する。</p> <p>11月19日 消防ポンプ自動車(CD-型)を第2分団,第16分団へ更新配置する。</p> <p>12月18日 防火水槽(40t)2基を増設する。(田中町外)</p>
平成16年 (2004年)	<p>1月15日 第11分団車庫を新築する。</p> <p>3月29日 消火栓7基を増設する。(富士崎一丁目外)</p> <p>4月1日 消防吏員4名を採用する。(実員155名)</p> <p>4月1日 消防団長に渡邊忠再任される。</p> <p>5月26日 連絡車(ホンダ)を消防本部へ更新配置する。</p>

<p>平成17年 (2005年)</p>	<p>2月3日 2月10日 2月28日 3月23日 3月25日 4月1日 4月1日 4月1日 4月1日 5月24日 6月16日</p>	<p>防火水槽(40t)2基を増設する。(矢作町外) 通信指令棟竣工する。 高規格救急自動車(トヨタ)を荒川沖消防署へ更新配置する。 消火栓10基を増設する。(神立東一丁目外) 消防ポンプ自動車(CD-1型)を第26分団へ更新配置する。 消防長に篠崎民雄就任する。(12代) 消防吏員8名を採用する。(実員155名) 新消防緊急通信指令システムを運用開始する。 連絡車(トヨタ)を消防本部へ移管配置する。 連絡車(日産)を消防本部へ更新配置する。 消火栓10基を増設する。(東真鍋町他)</p>
<p>平成18年 (2006年)</p>	<p>1月18日 2月14日 2月20日 2月20日 2月20日 2月20日 2月20日 2月20日 2月20日 3月10日</p>	<p>高規格救急自動車(トヨタ)を神立消防署へ更新配置する。 消防ポンプ自動車(CD-1型)を第6分団,第27分団へ更新配置する。 土浦市に新治村が編入する。 合併により消防職員の定数を156名から185名に改定する。 合併により新治地方広域事務組合消防本部から消防吏員25名を採用する。(実員180名) 合併により新治村消防団3箇分団19部団員定数367名を新治支団として編入し、土浦市消防団を20箇分団19部に、団員定数を679名に改定する。 広報車(クラウン)を並木出張所へ新規配置する。 消防ポンプ自動車(CD-1型)を新治消防署へ新規配置する。 水槽付消防ポンプ自動車(水型2,000ℓ)を荒川沖消防署へ更新配置する。</p>
<p>平成19年 (2007年)</p>	<p>1月17日 2月22日 3月12日 4月1日 4月1日 4月1日 4月1日</p>	<p>消火栓10基を増設する。(殿里他) 消防ポンプ自動車(CD-1型)を第23分団へ更新配置する。 水槽付消防ポンプ自動車(水型2,000ℓ)を土浦消防署へ更新配置する。 消防長に中川新衛就任する。(13代) 消防本部機構を整備する。警防課と救急救助課を統合し、警防救急課を設置、4課7係とする。 消防署の消防係と機械係を統合し、消防係を設置、4係とする。 消防吏員3名を採用する。(実員176名) 新治支団第2分団第6部(高岡新田)を廃止し、20箇分団19部から20箇分団18部に改定する。</p>

消防機関の所在地

消 防 本 部 〒300-0045 TEL 029(821)0119(代)
土浦市文京町1番46号 FAX 029(825)3166

土 浦 消 防 署 〒300-0045 TEL 029(821)0119(代)
土浦市文京町1番46号 FAX 029(825)3166

南 分 署 〒300-0832 TEL 029(823)0119(代)
土浦市桜ヶ丘町13番1号 FAX 029(826)1565

並 木 出 張 所 〒300-0068 TEL 029(824)0119(代)
土浦市西並木町3580番地の1 FAX 029(826)1567

荒 川 沖 消 防 署 〒300-1175 TEL 029(841)0119(代)
土浦市中荒川沖町27番12号 FAX 029(841)1344

神 立 消 防 署 〒300-0011 TEL 029(831)0119(代)
土浦市神立中央五丁目32番6号 FAX 029(831)2706

新 治 消 防 署 〒300-4111 TEL 029(862)4577(代)
土浦市大畑46番地 FAX 029(862)5110

土 浦 市 消 防 年 報

平成18年版

発 行 平成19年4月

土 浦 市 消 防 本 部